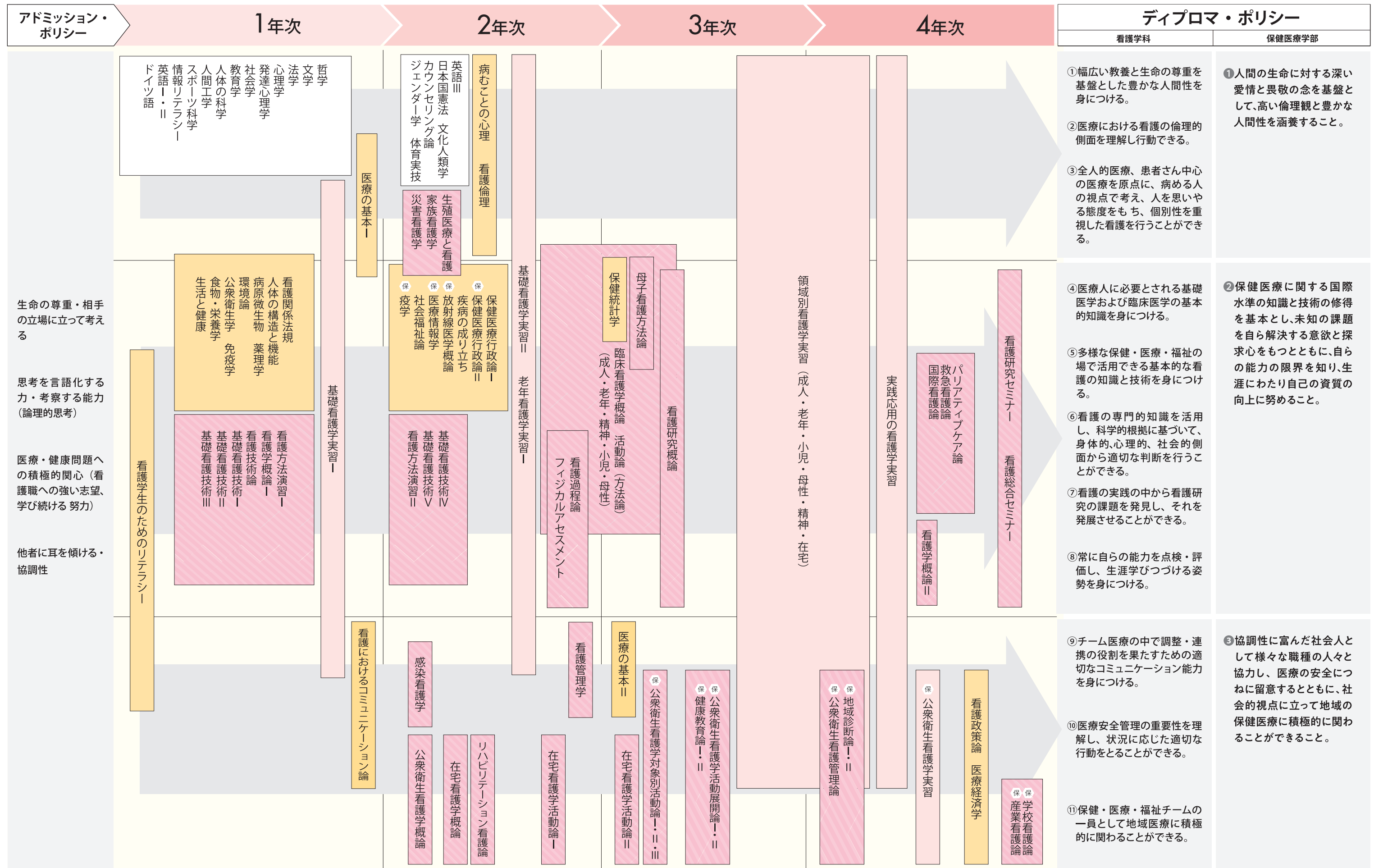




【令和7年度 看護学科1年次 時間割表】

<前期>

*：選択科目

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30	スポーツ科学* (古泉) 看1・工1 合同	ドイツ語* (マルクス)	食物・栄養学Ⅰ (伴場)	心理学* (大野)	情報リテラシー (是村)	
			食物・栄養学Ⅱ (伴場)	発達心理学 (大野)		
2 10:40 ～ 12:10	哲学* (ジリオ) 看1・工1・理1 合同	文学* (芳賀) 看1・検1 合同	看護における コミュニケーション論 (大賀)	心理学* (大野)	情報リテラシー (是村)	
				発達心理学 (大野)		
3 13:10 ～ 14:40	人体の構造と機能Ⅰ (金子)	看護学概論Ⅰ (横山)	人体の構造と機能Ⅰ (金子)	看護技術論 (山崎)	英語Ⅰ (上滝)	
	人体の構造と機能Ⅱ (金子)	基礎看護技術Ⅰ (関根)	人体の構造と機能Ⅱ (金子)			
4 14:50 ～ 16:20	看護学生のためのリテラシー (関根)	看護学概論Ⅰ (横山)		看護技術論 (山崎)		
		基礎看護技術Ⅰ (関根)	人体の構造と機能Ⅱ (金子)		生活と健康 (藤村)	
5 16:30 ～ 18:00			社会学* (勝野)			

<後期>

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 9:00 ～ 10:30			薬理学 (牧野)	看護関係法規 (加藤)		
2 10:40 ～ 12:10	英語Ⅱ (上滝)		医療の基本Ⅰ (辻)	人体の科学* (下岡)		
3 13:10 ～ 14:40	人体の構造と機能Ⅲ (金子)	免疫学* (小野川)	基礎看護技術Ⅲ (関根)		看護方法演習Ⅰ (横山)	
		人間工学* (澤田)			基礎看護技術Ⅱ (山崎)	
4 14:50 ～ 16:20			基礎看護技術Ⅲ (関根)	公衆衛生学 (与五沢)	看護方法演習Ⅰ (横山)	
			環境論* (富永)		基礎看護技術Ⅱ (山崎)	
5 16:30 ～ 18:00	法学* (植田) 看1・検1・工1 合同			教育学* (田垣内)	病原微生物学 (佐藤正) 看1・理2 合同	

・基礎看護学実習Ⅰ(横山)

※日程の詳細は、シラバスにて確認すること。

目 次

科目名(科目責任者)

<生活している人間の理解>

—人文科学系—

哲学（ジリオ、インマヌエル・ダビデ）	9
文学（芳賀 祥子）	15
法学（植田 俊太郎）	18
心理学（大野 美佐子）	21
発達心理学（大野 美佐子）	24

—社会科学系—

社会学（勝野 有美）	27
教育学（田垣内 義浩）	31

—自然科学系—

人体の科学（下岡 聡行）	35
人間工学（澤田 豊）	38
スポーツ科学（古泉 一久）	41
情報リテラシー（是村 利幸）	45

—外国語—

英語Ⅰ（上滝 圭介）	49
英語Ⅱ（上滝 圭介）	53
ドイツ語（マルクス・フォン・フライベルク）	58

<看護の対象としての人間の理解>

—医療と人間—

看護におけるコミュニケーション論（大賀 淳子）	61
医療の基本Ⅰ（辻 美隆）	65
看護学生のためのリテラシー（関根 由紀子）	69

—人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進—

人体の構造と機能Ⅰ（金子 優子）	73
人体の構造と機能Ⅱ（金子 優子）	84
人体の構造と機能Ⅲ（金子 優子）	103
食物・栄養学Ⅰ（伴場 裕巳）	122
食物・栄養学Ⅱ（伴場 裕巳）	125
病原微生物学（佐藤 正夫）	128
免疫学（小野川 傑）	132
薬理学（牧野 好倫）	134

—健康支援と社会保障制度—

環境論（富永 信子）	138
生活と健康（藤村 博恵）	141
公衆衛生学（与五沢 真吾）	144
看護関係法規（加藤 巳佐子）	148

<看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得>

—看護専門分野—

看護学概論Ⅰ（看護の基本的概念）（横山 ひろみ）	151
看護技術論（山崎 美智子）	155
基礎看護技術Ⅰ（活動・休息の援助技術）（関根 由紀子）	158
基礎看護技術Ⅱ（健康状態の観察技術）（山崎 美智子）	162
基礎看護技術Ⅲ（清潔・衣生活の援助技術）（関根 由紀子）	166
看護方法演習Ⅰ（横山 ひろみ）	170

<臨地実習>

基礎看護学実習Ⅰ（横山 ひろみ）	174
------------------	-----

講義名	哲学		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ GIGLIO Emanuele Davide	非常勤教員（大学外部）

担当教員	ジリオ、インマヌエル・ダビデ
科目の目標	医療の世界でも「哲学的な知識は専門的な知識と同じように大事で不可欠である」という意識が高まりつつある（医学書院の公式HP『医学界新聞』より：対談「医療と哲学の交差点で対話を育む」、行岡 哲男氏（東京医科大学名誉教授）等）。 本講義では、古代から現代にいたる哲学者たちの思想に触れることで、次のような内容について受講生と共に考えていく： ○「哲学（すべての分野にその基本概念と方法論を提供してくれる最も基礎的な営み、すべての学問を基礎づける特別な学問、すべてのサイエンスを繋げ統一できる特別なサイエンスとしての哲学）」、○「感覚（＝万物の変化と多様性を捉える能力、「パーツ」を個別に扱う能力）」と「理性（＝論理的思考を用いて不変の真実を捉える能力、全体的なものを捉える能力としての理性）」、○「感性（＝感覚器官を通して環境からの刺激を外部データとして集め整理する能力）」と「知性（＝外部データを様々な概念に統一し「手段」または「道具」として理解する能力）」、○「存在（今あるモノと、そこから可能になっていく物事の総体）」という謎、○「認識（目に見えるモノと目に見えないモノの認識を可能にしてくれる先験的な要素）」という謎、「言語（＝思考を可能にしてくれるもの）」という謎、「歴史（＝世界と人間存在の真実が明らかになっていく道のりとしての歴史）」など。
学習の具体的な目標	1) 「哲学」、「感覚」と「理性」、「感性」と「知性」、「存在」の謎、「認識」の謎、「言語」の謎、「歴史」など（＝人間の最も基本的な知識）について自分の言葉で説明できる。 2) 「哲学をする」という営みに関する基礎知識を習得する。 3) 批判精神（＝自分の様々な考え方の根拠・妥当性の範囲・リミットをチェックする能力）、自由思考（＝自分の時代と文化の様々な制約と影響を超えたところで考える能力）、問題解決能力などを身につけ、思想の多様性を理解する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	哲学とは何か？哲学の誕生；ソクラテス以前の思想家たち：一元論的自然観：ミレトス学派、ピュタゴラス；ヘラクレイトスとパルメニデス；「多元論的自然観」の思想家たち；ソフィストたち。		
	授業内容			

「哲学は知への愛！探求！チャレンジ！」「哲学の様々な領域（11つ）」「ルネサンス期以降の哲学：「理性の科学」という専門分野」「哲学の誕生（通説）：哲学は古代ギリシアの港町とアテナイの道端で生まれた！」「哲学と宗教の違い」「哲学の出発点：古代ギリシアの詩人たち、神話と密教的な宗教が設定した、いくつかの根本的な問い」；

「「万物の根源」への関心」「「自然学的な博識としての哲学：「一元論」「物活論」「汎神論」（自然科学の起源）」「最も古い進化論的な発想」「最も古い機械論的な発想（物理学の始まり）」「純粋に論理的な（抽象的な）数学の誕生：靈魂を浄化していくための「救いの手段」としての数学」「すべてを数字で捉えることができるという立場の起源と問題点」「万物の変化と多様性を捉える「感覚」VS 不変の真実を捉える「理性」」「科学思想のベース：いつのどこの誰とでもシェアできる確かな知識にたどり着きたいなら、「感覚」は信用できない！「理性」に頼るしかない！！」「「感覚」と「理性」は世界について正反対のことを伝えている！」「万物の構成元素：いくつかの説」「構成元素を結合させたり分離させたりする力は、宇宙の優れた知性のような合理的な力だ！」最初の「原子論」と「唯物論」」「「職業教師」の登場と文化の普及」「「相対主義（＝「絶対の真実は存在しない」「すべての意見には同じ重さと同じ価値がある」という立場）」の起源と問題点」「レトリック（弁論術）と「言語学」の誕生」などについて共に考える。

※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	ソクラテス（前470年／前469年-前399年）とプラトン（前427年-前347年）：『ソクラテスの弁明』『クリトン』『クラテュロス』『エウテュデモス』『パイドロス』『国家』『シンポジオン（饗宴）』『テアイテス—知識について』『パルメニデス—イデア論について』『ソピステス—「存在」について』『ティマイオス』『政治家』『法律』。		
	授業内容	「世界で最も賢い人はどんな人？（デルフォイのお巫女さんの予言）」「ソクラテスの登場：哲学をする方法が変わる！」「道ばたで人をとめて子供のような質問をするソクラテス」「自分の知識の「前提」について誰も答えられない！」「「無知の知（自分は何も知らないということをよく知ること）＝哲学をする条件」「逃げていく真実」「ソクラテスの方法：「エイロネイア」（「アイロニー」＝何も知らないふりをする）と「マイエウティケ（産婆の術）」「エデュケーション（人間教育＝真実を人の中から引き出すという方法）の誕生」「善と悪とは何か？」「ソクラテスの死とその意味」； 「大学の誕生：プラトンの「アカデメイア（アカデミー）」」「「科学」の誕生：いつのどこの誰とでもシェアできる知識＝客観的な知識、これを「科学」と呼ぶ」「理性が捉える「イデア（観念）」とは何か？（諸事物の理想的な姿）」「「イデアの世界（超天上界）はどこにあるのか？」「「二元論」：世界は二つ（地上と超天上界）、知識も二種類！（地上的なものを捉える「感覚」による「意見」と、観念的なものや諸事物の理想的な姿を捉える「理性」による「知識」）」「イデアの種類（4つ）」「「理想」と「現実」の関わり＝地上の万物と超天上界のイデアたちとの関わり：「ミメシス（真似／不完全な複写）」「「学ぶことは思い出すことだ！（「メテムサイコシス（輪廻転生）」と「アナムネシス（思い出すこと）」）」「プラトンの「神」（デミウルゴス）：イデアに基づいて物質を形づける「宇宙形成の原理」」「靈魂の三分説：理性、意志と欲望」「プラトンの国家論：理想的な共和国とその三つの社会階級」「経済的なことをやっている人たちは好きなように生きていい；しかし、政治に関わってはいけない！」「哲人王思想：政治は哲人にしかできない！」「哲人が送るべき生活様式：プラトンの共産主義」「政治家を目指す哲人のカリキュラム：少なくとも50歳まで「理論哲学」と「応用哲学」を勉強しなきゃ！」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	アリストテレス（前384年-前322年）：『オルガノン』『形而上学』『自然学』『靈魂論』『ニコマコス論理学』。		
	授業内容	「高校の誕生：アリストテレスの「リュケイオン」」「何かについて考えたいなら、まず「考えることとは何か」からスタートすべきだ！」「「考えること」とは頭の中で言語で喋ることだ！」「すべての学問のベースとなった論理学：「考える行為」は何で出来ているのか？概念⇒命題⇒論法！」「「三段論法（最も完璧な論法）」「最初に「妥当な前提」を見つけることの重要性」「モノの定義をつくるための方法（2つ）：Aの定義＝Aが所属するジャンル＋他のスピーシスとの違い；Aの「実体（本質的な特徴）を直観的に特定すること」「形而上学：「存在」というものの様々な表現（「実体」「偶有性」「原因」「可能態」と「現実態」等）」「万物の変化（生成）とその進み方：「可能性」⇒「現実」」「可能性＝まだ特定のかたちをとっていない物質」「現実＝物質的なものが一つのかたちになった状態」「目に見えるもの（現実）は、目に見えないところ（可能性）から来ている！」「「神」：すべてを動かす「不動の動者」」「最後は、すべてが「神（これ以上の可能性がない、すべてが完成した最終的な「かたち」）」になる！」「自然学＝場所移動の科学」「靈魂の三つの機能：植物と動物にも靈魂がある！」「倫理：欲望を制限するための「倫理的な卓越性」、すべての極端を避けるための「中庸（「思考の卓越性）」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	T. ホッブス（1588-1679）の自然法思想：『リヴァイアサン』（1651）、『市民について』（1642）、『身体について』（1642）、『人間について』（1648）。		

授業内容		「「人権」のもと：自然に与えられた「自然権（自然法）」と、人間たちが一緒に決めた「人定権（人定法）」」「自然法思想の起源：ソフィストのヒッピアス」「自然法思想が16世紀と17世紀にのみがえった原因：M.ルターの宗教改革、イギリスの「清教徒革命」と「無血革命」」「ユートピア（理想郷）の思想」「ホッブスの政治論の前提：理性と言語の関わり」「演繹法（最初から分かっている原因から可能な結果を予想していく方法／最初から決めた前提から様々な結論を論理的に引き出す方法）」とそれに基づいている諸学問：数学、倫理学、政治学」「帰納法（結果から原因を仮説的に推定していく方法）」とそれに基づいている諸学問：自然科学、物理学、ケミストリー等」「ホッブスの「機械論的唯物論」」「ホッブスから見た「自由」と「善と悪」の問題」「政治論：人間の本质に関する最も確かな公理（「自然の欲求」と「自然の理性」）」」「「自然状態」：万人の、万人に対する戦い」「国家形成の根本原理（3つ）」「絶対主義国家：リヴァイアサンという恐ろしい怪物としての国家」「ホッブスが考えた社会契約の特徴」「ホッブスにおける社会契約と国家の権力の関わり」「自然法思想の他の思想家たちとの違い」「国家の権力とそのリミット」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年05月19日（月）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	R. デカルト（1596-1650）：『世界論』（1633）、『みずからの理性を正しく導き、もろもろの学問において真理を探究するための方法についての序説およびこの方法の試論（方法序説）』（1637）、『情念論』（1649）。		
	授業内容	「歴史的背景：科学革命の時代」「デカルト：近世合理主義の父」「学生時代のデカルトの不満足：学校は最も大事なこと（考えること、生きること）を教えてください！」「デカルトの目的：「何にでも使える万能な方法」とそのルール」「デカルトが最初に採用した立場：方法的懐疑（懐疑主義）」「私たちは、考える主体性としては間違いなく存在している！（我思う、故に我在り）」「私たちの「考える主体性」：「思考する実体（精神）」「私たちの「考える主体性」以外のもの：延長する実体（身体とその他の物質的なもの）」「観念の種類（3つ）：「人為観念」「外来観念」「生得観念」 「神が存在する合理的な証拠」にいたるデカルトの考察」「自然学：延長と運動、宇宙定数：質量と運動量」「遠距離で働く力」に対する、デカルトとガリレオ・ガリレイの抵抗感」「神を必要としない科学の始まり：神が世界と諸事物を創造した後、世界と諸事物はそれぞれで（神の関与なしで）動き始めたんだ！」「現在の医療文化のベース：「心身二元論」「延長する実体（身体）」は生物的なマシーンと考えていいんだ！」「思考する実体（精神）」と「延長する実体（物質的なもの）」はどこでやり取りをしているのか？（松果体の役割）」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年05月26日（月）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	J. J. ルソー（1712-1778）の自然法思想：『学問芸術論』（1750）、『人間不平等起源論』（1755）、『社会契約論』（1762）。		
	授業内容	「歴史的背景：「啓蒙思想」の時代」「ルソーの「退歩史観」：人間の「学問」と「芸」はすべて、人間の悪徳から生まれた！学問と技術にこのまますべてをかければ、人間の歴史はどんどん悪くなっていく！」「ルソーが考えた「原初の自然人（最初の人間）」の特徴：「自愛心」と「隣人愛」」「最初の人間は自然に善い人間だった！」「最初の人間は欲求が少なめで満たしやすく、自然に幸せな人間だった！」「現代人は不自然で無駄な欲求が多すぎて不幸だ！」「人間の悪いところ：自分の状況をよりよくしたいという自然の衝動」「最初の社会契約＝「欺瞞の不平等条約」：最初の社会契約は、すでにあった不平等を正規化したものに過ぎない！」「最初の「欺瞞の不平等条約」にいたるまでの歴史（「退歩」の三段階）」「新しい社会契約：不平等を無くすための社会契約」「国家のベースは法律ではない！政治組織としての「人民」だ！」「「理性」と「利益」の関わり：政治でも、数学のような「純粋理性」を使うべきだ！」「「純粋理性」を活用することの目的：「総意（／一般意思）」＝「共通善」にたどり着くこと」「「純粋理性」は皆にある！皆で「純粋理性」を選ぶことは皆が自分自身を選ぶことだ！」「ルソーが考えた「総意」の特徴」「初めての「人民主権」の理論」「自然法思想の他の思想家たちとの違い」「直接民主制のすすめ」「人民代表」と、単なる執行部としての政府の関わり」「国会」よりも「人民総会」がいい！」「社会主義思想への影響」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年06月02日（月）	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	I. カント（1724-1808）：『可感界と可想界の形式と原理』（1770）、『純粋理性批判』と『学として現れるであろうあらゆる将来の形而上学のための序論（プロレゴメナ）』（1771）。		
	授業内容			

「デカルトの「合理主義」（＝「理性」だけで充分だという立場）のリミット」「ニュートンの物理学が描いた世界観（＝「空間」と「時間」と「因果関係」は絶対だ！人間がいてもいなくても、宇宙で客観的なものとして存在している！という世界観）の問題点」「イギリス経験論（「経験主義」＝私たちには「生得観念」などない！人間は「外の世界」に書き込まれていく白紙の状態だ！という立場）の問題点」「カントの「批判主義」：理性は自分を自分で裁判にかけろべだきだ！（理性のリミットを理性でチェックする！）」「カントの認識論：「時間」と「空間」と「因果関係」は、「外の世界」の特徴ではない！私たちが最初から持っている「先験的な認識形式」（頭の中の「フィルター」や頭の中の「引き出し」のようなもの）だ！」「人間の3つの認識能力：感性と知性と理性」「重要な区別：「現象（＝私たちの頭の中で出来ていく物のイメージ）」と「物自体」」「人間たちの知識の「客観性」と「妥当性」は人間たちの世界に限られている！（自然科学のリミット）」「哲学のコペルニクスの転回（哲学革命）：「客観的」だと思っていたものは、すべて「主観的」なものだった！」「人間の主体性こそ自然界の立法者（コ・クリエーター）だ！」「人間的な知識（数学的な知識、自然科学的な知識と従来の存在論）の根拠と妥当性の範囲」「「全体的なもの」を評価しようとする「理性」とそこから生まれた「存在論」：「理性は根拠のない認識能力だ！」「「存在論」は「科学」にはなれない！（従来の存在論のリミット）」「哲学は、人間の「先験的な認識形式」だけを研究すべきだ！という結論」などについて共に考える。

※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	G. W. F. ヘーゲル（1770-1831）：『精神現象学』（1807）、『哲学体系の百科事典（エンチクロペディー）』（1817-1830）。		
	授業内容	「歴史的背景：「ロマン主義」と「観念論哲学」の時代」「ロマン主義：すべてのリミットを超えたい！すべてにリミットをつけようとする「理性」は頼りにならない！何にもリミットをつけない「感情」のほうがいい！」「ヘーゲル哲学の前提：「有限なもの（パーツ）」と「無限なもの（全体的なもの＝宇宙）」との関わり」「「全体的なもの」だけがリアル！個別に存在しているような「パーツ」は私たちが一方的に抽象していく「リアルでない」もの！」「リアルなもの（＝全体的なもの）は100%合理的なものだ！」「「理性（＝「無限なもの」の全体性・無限性・合理性を捉える能力）」と「現実」の関わり」「在ること＝在るべきこと：世界と歴史と人生のすべては「計画的」で合理的だ！」「「絶対精神」（／「宇宙精神」＝宇宙という巨大な、優れた知性）とはどのようなものなのか？」「宇宙という巨大な、優れた知性の中から捉えた「人間」：人間は宇宙の話ができる宇宙の一つの活動だ！人間は宇宙の「自己意識」だ！」「世界と歴史と人生が進んでいく合理的な法則：「弁証法」とその三つの段階」「カントは間違っていた！全体的なもの（「宇宙精神」）との一致の体験は可能だ！」「励ましの哲学：自分を動かしている「精神（個性）」は「宇宙精神」の一側面だ！自分の「夢」は宇宙的な計画の一側面だ！」「「宇宙精神」の全体性・無限性・合理性が人間の心に現れてくる三つの段階：意識⇒自己意識⇒理性」「世界（全体的なもの）は世界（全体的なもの）としてしか変わらない！一人だけで世界を変えることはできない！」「哲学の役割は、まず世界の合理性を解説することだ！」「私たちに最も近い「全体的なもの」：「倫理性」としての国家（全体的なものとの一致の体験はまず共同体として実現されていく！）」「「宇宙精神」は「文化」というかたちでどのようにその全体性・無限性・合理性を段階的に表現していくのか：物質的なもので「宇宙精神」の無限性等を表現しようとする「芸術」⇒精神的な内容を物語で伝えようとする「宗教」⇒純粋に観念的なものだけで「宇宙精神」の全体性・無限性等を解説してくれる「哲学」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	K. マルクス（1818-1883）：『独仏年誌』『共産党宣言』（1848）、『資本論』（1867）。		
	授業内容	「自由主義社会への批判」「労働者たちが体験していく4種類の「自己疎外」とその原因：「生産手段」は誰が独占しているのか？」「唯物史観（／史的唯物論）：歴史を「労働の歴史」として見るべきだ！」「社会の経済的なベースとしての「構造（＝生産力と生産関係）」と「上部構造（その上に建っている「抽象的なもの」＝「文化」「道徳」「宗教」等）」」「ヘーゲル批判：先に抽象的なものがあるってそれが世界の諸事物に具体化していくのではなく、先に具体的な（物質的なもの＝労働者の経済的な状況等）があって、抽象的なものは後から出てくるんだ！」「「生産力」と繋がる社会階級と「労働協約」と繋がる社会階級との「階級闘争」の歴史」「歴史の合理性と必然性：「生産力」と繋がる社会階級は必ず次の支配階級になる！」「資本制生産の様々な欠陥：資本制生産と資本主義社会は自滅する運命だ！」「「商品」と「価値」の関わり：商品自体にはなんの価値もない！」「「商品」に価値を与えるもの：労働の量（労働者たちすら気づいていない「労働者たちの重要性」）」「「お金⇒生産物⇒お金＋αというプロセスで発生する「$+\alpha$」：「剰余価値（資本家の利益）」」「資本制生産は労働者たちの労働力の「搾取」に基づいている！」「革命のプロセスの二つの段階：生産手段の所有を国に返す「社会主義的段階」と、革命が成功した後に始まるはずの「共産主義的段階」の特徴」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	F. ニーチェ（1844-1900）：『悲劇の誕生』（1872）、『反時代的考察』（1873-1876）『悦ばしき知識』（1882）、『ツアラトゥストラはこう語った』（1883-1885）、『道徳の系譜』（1887）。		

授業内容	「ニーチェの「変わったスタイル（野蛮な思想、ハリケーンのような文章等）」「ニーチェ哲学の様々な段階」「アポロンの精神（理性）」と「デュオニソスの精神（カオス、諸事物の多義性と汎用性など）」の関わり」「ソクラテス以降の哲学と西洋文明に対する批判：西洋文明は「理性」のみの文明！自分の本当の起源を忘れてしまった文明だ！」「ショーペンハウエルとこれまでの「道徳」に対する批判：「命の本当の本質（溢れること、制限がないこと）」を否定する道徳ばかりだ！」「これまでの歴史観（3つ）はすべて問題だらけだ！」「人間たちが成し遂げなければならない次の進化：これまでの歴史の重みにつぶされた「ラクダのような人間」⇒古い価値観をすべて吹っ飛ばす「ライオンのような人間」⇒自分で新しい価値と世界をつくる「新しい人類の赤ん坊」「神は死んだ！しかし、これはどういう意味か人間たちはまだ分かっていない！」「人類の次の進化：新しい人類の赤ん坊としての「超人」「超人」の能力：「力への意志（＝常に自分を超えたいという意志＝命そのものの根本的な衝動）」「超人」が生きている時間＝「永劫回帰」：一人一人の人生と人類の歴史は永遠に同じように繰り返されていく！」「永劫回帰」が存在しているかのように生きなさい！どの瞬間も楽しめるようにしなさい！」「これまでの「反生命主義的道徳」を誰がなぜつくったのか：歴史的な「司祭階級」の「負の感情」とそれによる「価値の転動」「これまでの道徳は「奴隷たちのための道徳」だ！「奴隷的道徳」だ！」「古い価値観が減びて、新しい価値観が生まれるまでの間：「ニヒリズム（虚無主義）」の時代」「ニヒリズム」をどう乗り越えるか？「ニヒリズム」の様々な種類」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）				
	11	年月日（曜日）	令和 7年06月30日（月）	時限	2限
	講義室	講堂2F			
	担当者	ジリオ			
	テーマ	L. ヴィトゲンシュタイン（1889-1951）：『論理哲学論考』（1921）。			
授業内容	「ヴィトゲンシュタイン：謎の多い思想家」「事実」とは何か？」「言語」と「事実」との関わり：言語は「モノ」ではなく「事実（モノの今の状態が続いていること）」を指し示すものだ」「言語」は「世界」の論理的写像だ！」「言語」と「世界」の関わり：言語と世界は同形だ！」「価値観」と「意味」は「事実」ではない！よって、表出不能なものだ！」「原子的事実」と「複合的事実」「人間の「命題」はどのように機能しているのか？」「意味」と「真実」の違い」「完全な自然科学」：意味を持ち、同時に本当である命題の集合」「反科学者のヴィトゲンシュタイン：「因果関係」は「事実」ではない！様々な「事実」との関わりだ！よって、「因果関係」は存在しない！」「特殊な種類の命題：「矛盾」と「ナンセンス」「世界の本質」は「事実」ではない！」「ナンセンス」の代表的な例：哲学の命題（反科学者のヴィトゲンシュタイン）」「哲学を「言語批判としての哲学」に生まれ変わるべきだ！」「意味を持たない問い（哲学的な問い）には答えがない！黙るしかない！」「言い表せないもの：不可思議なるものは沈黙の中で体験するしかない！」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）				
12	年月日（曜日）	令和 7年07月07日（月）	時限	2限	
	講義室	講堂2F			
	担当者	ジリオ			
	テーマ	E. フッサール（1859-1938）：『算術の哲学—論理的かつ心理学的研究』（1891）、『論理学研究』（1900-1901）、『純粹現象学、および現象学的哲学のための考察イデー』（1913）、『ヨーロッパ諸学の危機と超越論的現象学』（1953）。			
	授業内容	「現代での哲学の「居場所」と「必要性」：科学は「方法の学」、哲学は「観念（＝本質）の学」だ！」「科学は諸事物の「可変で偶発的な特徴」を研究する；哲学は諸事物の「不変で本質的な特徴（観念）」を研究する！」「諸事物の「観念」：諸事物の「本質的な特徴」が人間の意識に現れてくるイメージ（諸事物の観念＝諸事物の本質）」「モノの本質（観念的なもの）は、どのような意味で人間たちの意識に現れてくるのか：「現象学」としての哲学の誕生」「エポケー」という実践：現象の、時代と地域によって変化する部分を取り除くこと」「エポケーを行ったところ：残るものは常に変わらない「現象学的な剰余（＝最も本質的なもの）」「万物のそれぞれの本質（観念的なもの）は人間たちの意識の中でどのように関わっているのか？」「意識」とは何で出来ているのか：何かを意識する主体性（＝「ノエシス」）＋意識されたもの（＝「ノエマ」）」「ノエマ」：可変で偶発的な「事実的なもの（所与）＋不変で本質的なもの（「観念的なもの」）の結合」「最後に残る「意識の最も根本的な行為」は「モノの本質を直観する行為」だ！」「我々の意識は何に影響されているのか：「真意の地平線」「体験の地平線」（＝我々の「背景」にあるもの＝個人の歴史、文化の歴史、スピーシスとしての進化の歴史等）」「科学はモノの「目的」と「意味」については何も言えない！それは「哲学」の仕事だ！」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 （予習時間30分、復習時間30分）			
	13	年月日（曜日）	令和 7年07月14日（月）	時限	2限
	講義室	講堂2F			
	担当者	ジリオ			
	テーマ	M. ハイデッガー（1889-1976）：『存在と時間』（1927）。			
	授業内容				

「ナチス政権との関わり」「存在」の問題：「存在」は構造的に定義不能だ！」「人間は「現存在」で、「世界内存在」だ！今ここで世界に投げ込まれているものだ！」「実存論的分析」：人間の研究は「存在」そのものの研究に入るための手段だ！」「現存在（＝人間）は「可能性」である！」「人生は「選択」「企画」である！」「人間の特徴：「理解」ができること、「可能性」であること」「二種類の「理解」：「存在的理解（日常的、感覚的理解）」と「存在論的理解（生活の具体性を越えた、「存在」そのものの理解）」」「二種類の存在様式：「存在的存在（深くは考えないで存在しているだけという在り方）」と「存在論的存在（「存在」そのものについて考えながら生きていくという在り方）」」「モノの理解と用具性：人間は何かを理解している時、「道具」として理解している！」「人間は「超越的」！人間の視点は本質的に操作的で技術的だ！」「人間によるモノのケア：モノを自分の企画性に含んでいくこと」「他者のケア：他者が、自分で自分の選択肢を行えるように、他者を助けてあげること；他者が、自分で自分の責任をとれるように、他者を助けてあげること」「他者への「非真正なケア」：他者の代わりに他者の企画と選択肢まで自分で背負ってしまうこと」「企画」と「先理解」：人間は自分の計画に合わせてモノの意味を事前に決めている！」「非真正な生活」「非人称的な生活」：みんながそうするなら自分もそうしよう；みんながそう考えるなら自分もそう考えよう（＝どの可能性も選ばない；自分の行動の責任もとらない）」「真正な生活」：自ら考えて、自ら決める！」「非真正な生活」：無駄な好奇心、噂話、曖昧さに支配された生活」「真正な生活」：死を念頭においておく生活（「死のための生活」）」「死」と「不安」」「存在」は、「存在を否定するもの（死）」を通して人間たちに語り掛けてくる」「時間：「現存在（＝人間）」が生活をしている基本的な次元」などについて共に考える。
※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。
（予習時間30分、復習時間30分）

14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	女性哲学者・H. アーレント（1906-1975）：『全体主義の起源』（1951）、『活動的生活—人間の条件について』（1958）、『悪の凡庸さ』（1963）。		
	授業内容	「悪の凡庸さ：自分の行動の結果に関して責任を持たないこと、深く考えないこと＝悪の正体」「全体主義：現代社会の文化が生んだ現象」「全体主義の原因：「反ユダヤ主義（自民族中心主義、排外主義）」と「帝国主義の危機」」「全体主義の特徴：「恐怖」と「イデオロギー」（＝すべてを簡単に解説しようとする分かりやすい理論）」」「恐怖」と「イデオロギー」がもたらす結果：「体制順応（迎合主義）」と「孤立」」「人間の本性の二つの側面：「活動的生活」と「観照的生活」」「活動的生活」の3つの形式：「労働（人間の動物性が表現される場）」と「仕事（人間の創造性が表現される場）」と「活動（人間の「政治的な共同体的な生き物としての本性」が表現される場）」」「公共性（世界観レベルで他者と関わること＝自己の「生存」のための戦いと生活の物質的な側面を超えた次元）」と「プライベート（「労働」と「仕事」＝自己の「生存」が中心になっている次元）」」「労働」と「仕事」：「必然性」に支配された次元；「活動」：自由を得られる次元」「労働」と「仕事」（技術的な営み）：人々が必然的に「個人主義」と「エゴイズム」に仕向けられる次元」「技術」が支配的なこと＝「労働」と「仕事」ばかりの生活になること＝人間の共同体的な在り方（「活動」）がなくなること」「私生活に還元された公共性」「公共性（共同体的な在り方）の喪失、「孤立」、「意味のなさ」と「虚しさ」の体験」「現代社会での「虚しさ」等を利用しようとする全体主義的な現象とイデオロギー」などについて共に考える。 ※まとめを「まとめクイズ（試験問題）」というかたちで提供する。 ※これまでの「まとめクイズ」の正解もお伝えする。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	ジリオ		
	テーマ	授業のまとめ（期末試験の練習）。		
	授業内容	先生自作の「試験問題集」で、期末試験の練習をする。 （予習時間30分、復習時間30分）		

評価方法	1. 定期試験期間内に筆記試験を行う（再試験は行わない）。 2. 定期試験100%で成績評価を行う。 ※ 定期試験を受験できるための条件は十分な受講率であるということを忘れないように！
教科書	竹田青嗣・西研『高校生のための哲学・思想入門』（筑摩書房）
参考書	授業中に適宜紹介する（例：先生自作のPowerPoint資料を使用した講義と試験問題集）。 ※毎回、その内容のまとめをクイズのかたちで提供する；期末試験の実際の試験問題はそこから選ぶ。 その他の参考書：行岡哲男『医療とは何か』『第三章 医療を哲学する—現象学と言語ゲームを手がかりに』（河出書房新社）
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に相談を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	予備知識は必要としませんが、授業後には学習内容を見直してください。

講義名	文学		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 芳賀 祥子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	芳賀 祥子
科目の目標	近現代文学や映像表象を中心に、病や死の場面を読むことを通して、人間理解を深める。それと共に、病や死の描写の文学的効果に意識的になることで、そうしたものの適切な距離の取り方を学ぶ。
学習の具体的な目標	1. 病や死を描くことの文学的な効果を説明できる。 2. 近現代文学における病や死の表象について、考察し分析できる。 3. 親しい人の死に向き合うこと、自分の死を思うことの表現を分析し、説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	ガイダンス／近現代文学と死、ケア		
	授業内容	1. 「ケア」の基礎概念を説明できる。 2. 「春を馬車に乗つて」を中心に、病やケアの描写を鑑賞する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	近現代文学と死、ケア／横光利一「春は馬車に乗つて」を起点として		
	授業内容	1. 「春は馬車に乗つて」を中心に、病やケアの描写を鑑賞する。 2. 文学における病やケアの様々な扱われ方について考察する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月26日(土)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核 1／徳富蘆花「不如帰」を読む		

授業内容		1. 「結核」のロマン化について説明できる。 2. メロドラマにおける死と病の表象を鑑賞する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核2／堀辰雄「風立ちぬ」を読む		
	授業内容	1. 「風立ちぬ」を中心に、結核とサナトリウムの描写を鑑賞する。 2. 文学における、サナトリウムや、結核の表象について考察できる (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核3／映像作品「風立ちぬ」を見る		
	授業内容	1. 文学が映像化したり、引用されたりする中で、病の表象がどう変容するのか鑑賞する。 2. メディアと表象の変質について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学と結核4／正岡子規「病床六尺」・葉山嘉樹「淫売婦」を読む		
	授業内容	1. 「病床六尺」「淫売婦」を中心に、苦しい病としての「結核」の表象を鑑賞する。 2. 「結核」表象の多様性について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病1／「北条民雄」という存在		
	授業内容	1. 隔離されていた病について知り、当事者が書くことについて考察できる。 2. ハンセン病について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病2／風見治「不在の街」を読む		
	授業内容	1. 戦後のハンセン病を巡る隔離政策について説明できる。 2. 社会復帰の難しさについて知り、その表象を分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病3／映像作品「あん」を鑑賞する		
	授業内容	1. 現代まで残る差別や忌避について知り、その表象を分析する。 2. 「東村山市」というトボスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	文学とハンセン病4／神谷美恵子「生きがいについて」を読む		
	授業内容	1. 医療従事者の側から残されたハンセン病についての文章を読み、その表象を分析する。 2. 医療従事者と病の関わりについて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	2限

講義室	講堂2F			
担当者	芳賀			
テーマ	文学とハンセン病5／ハンセン病患者の詩を読む			
授業内容	1. ハンセン病患者の詩を通して、病と書くことへの理解を深める。 2. 詩に込められた思いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学 1／菊池寛「愛児不死」で考えるグリーフケア		
	授業内容	1. 「グリーフケア」という概念をふまえて、文学作品を読む。 2. 作中の「グリーフケア」について分析・考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学 2／幽霊が語るもの		
	授業内容	1. 幽霊の実話や、ジェントルゴーストストーリーを読み、幽霊の表象を分析できる。 2. 幽霊の物語と、グリーフケアの関わりを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学 3／震災と怪談		
	授業内容	1. 東日本大震災における「怪談」を鑑賞する。 2. 幽霊について語ることが、どのように人の心をケアするのか説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	芳賀		
	テーマ	死と文学 4／井上ひさし「父と暮らせば」		
	授業内容	1. 「幽霊」を効果的に取り込んだ文学を鑑賞する。 2. 戯曲と映像作品を鑑賞し、幽霊の表象を分析できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 評価配分は以下の通り。 50% (提出物・授業態度) 50% (レポート) 2. レポートの再評価は行わない。 3. 提出されたレポートに対して、コメントを返す。			
教科書	授業中にプリントを配布する。			
参考書	1. 上野千鶴子『ケアの社会学——当事者主権の福祉社会へ』（太田出版 2011） 2. 坂口幸弘『死別の悲しみに向き合う——グリーフケアとは何か』（講談社現代新書 2012） 3. 米村みゆき・佐々木亜紀子編『〈介護小説〉の風景 高齢社会と文学〔増補版〕』（森話社 2015） 4. 福田真人『結核の文化史—近代日本における病のイメージ』（名古屋大学出版 1995）			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後、教室にて相談を受け付ける。			
履修上の注意、履修要件	授業前に当該時間で扱う作品（プリント配布）を読み、感想を持った上で、授業に参加することが求められる。また、放課後には学習内容の見直しを行うこと。余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けてほしい。			

講義名	法学		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 植田 俊太郎	非常勤教員（大学外部）

担当教員	植田俊太郎
科目の目標	この科目では、法の基本的な役割や仕組みを理解した上で、日本国憲法、民法、刑法の主要三法、さらに医療に関する法の基礎知識を学習する。各回の授業では、関連する身近なトピックを紹介することで、法が私たちの日常生活に深く関わっていることを実感しながら、社会生活上不可欠な法的知識・法的リテラシーを身に着けることを目指すとともに、法をめぐる現象を多角的に考察することで、ひととひとが関わりあう社会そのものへとまなざしを向け、人間にたいする理解を深めることも目的とする。
学習の具体的な目標	1) 法の基本的な仕組みを説明できる。 2) 主要三法の基本的事項を説明できる。 3) 医療に関わる法の基礎知識を習得し関連する様々な問題について考察できる。 4) いま社会でどのような問題が生じ誰が困っているかという視点で、日ごろのニュース（特に法律、政治、社会問題について）にアクセスでき、それらを法的な視点で考察できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	ガイダンス 法とは何か？		
	授業内容	1. 法とはどのようなもので、なぜ必要なのかを理解し、概略を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分） なお、授業冒頭では、半期間の講義の進め方、評価方法、試験に関するガイダンスを行う。		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	法のしくみ①		
	授業内容	1. 法と道徳、成文法と不文法、公法と私法等の違いについて理解し、説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	5限
	講義室	C401		

担当者	植田			
テーマ	法のしくみ②			
授業内容	1. 法の機能、法の効力関係、条文の読み方、法の解釈方法等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識①		
	授業内容	1. 近現代立憲主義の誕生と展開、日本国憲法制定史、日本国憲法の基本原則について理解し、説明できる。 2. 日本国憲法における人権分野の中で、特に自由権(精神的自由、経済的自由、身体的自由)と新しい人権等について、理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識②		
	授業内容	1. 日本国憲法における人権分野の中で特に社会権(生存権、教育を受ける権利、労働基本権等)と参政権について理解し、説明できる。 2. 日本国憲法25条と社会保障・保健医療制度の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月08日(土)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	日本国憲法の基礎知識③		
	授業内容	1. 日本国憲法と平和主義について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識①		
	授業内容	1. 民法の構成、基本原則及び基本的な考え方を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識②		
	授業内容	1. 日常生活における契約と法に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。 2. 制限行為能力者制度について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識③		
	授業内容	1. 家族と法に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	民法の基礎知識④		
	授業内容			

1. 民法以外で、日常生活において必要な、労働と法、企業と法等に関する基本的な考え方を理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識①		
	授業内容	1. 刑事法の基本的な考え方、犯罪とは何か、犯罪の種類、犯罪の成立プロセス等について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識②		
	授業内容	1. 裁判のシステムとルールについて理解し、説明できる。 2. 裁判員制度の特色・概要について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	刑法の基礎知識③		
	授業内容	1. 少年犯罪と法の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	医療と法①		
	授業内容	1. 医療事故によって、いかなる法的責任が問われ得るのかについて理解し、説明できる。 2. 終末期医療と法の関係について理解し、説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	5限
	講義室	C401		
	担当者	植田		
	テーマ	医療と法②		
	授業内容	1. 臓器移植に関する法律の内容について理解し、説明できる。 2. 法律における「死」の概念と脳死判定等の問題について理解し、考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 後期定期試験期間に、筆記試験を行う。 2. 試験において、持ち込みは一切不可とする。 3. 遅刻・欠席等、授業への参加態度を評価に含む。 4. 定期試験不合格者には、試験終了後に1回のみ再試験を行う。			
教科書	授業ごとに、内容に沿ったプリント・資料等を配布する。			
参考書	1. 『法律学への案内(第2版)』(八千代出版、2021年)金津謙、足立文美恵、佐々木彩、今出和利、齋藤美喜 著 2. その他、各回の授業内で重要と思われるものを紹介する。			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業内容関する質問等は、授業後に教室にて受け付ける。			
履修上の注意、履修要件	初学者を対象とする。 前もって配布したプリントを予習し、講義後は、学習内容の確認を行うこと。 また、日ごろのニュース(特に法律、政治、社会問題に関する報道)に積極的にアクセスすることを期待する。			

講義名	心理学		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
公認心理師/学校心理士	◎ 大野 美佐子	看護学科教員

担当教員	大野美佐子
科目の目標	1) 人間理解のための心理学の基礎的知識を学ぶ。人間を科学的に分析する心理学の諸理論を理解し、人間の行動について考察し、日常生活や将来の仕事場面で活かせることを目指す。 2) 心理学の学びを踏まえて、各自が自己理解を深めることを目指す。
学習の具体的な目標	授業形態としては、授業前に各自が疑問を持ち、講義中は知識を得て、自分の疑問に対する答えを能動的に探し、ワークで気づきを得る。授業後は、自己についての気づきを振り返り、各自が自己理解を進める。新たに獲得した知識を問題解決に適用するプロセス（PBL）を意識して授業を行う。 1) 感覚や知覚、記憶について、心（認知）のメカニズムとして説明することができる。 2) 環境に適応していくための人間の動機づけや学習について説明することができる。 3) 人間の性格や知能について学び、個人差について考察することができる。 4) 人と直接関わる臨床場面の心理学的技法について説明することができる。 5) 心の病等についてその特徴的症狀を説明することができる。 6) 社会の中でみられる心理学的現象を学び、日常場面と結び付けて考察することができる。 7) 自分自身の特徴について、心理学的な視点から説明することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	心理学とは		
	授業内容	1. 心理学の誕生と現代にいたるまでの流れについて説明できる。 2. 心理学を学ぶ意味について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	感覚と知覚		
	授業内容	1. 感覚の特徴を説明できる 2. 認知の働きとして、知覚のメカニズムについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	記憶		
	授業内容	1. 記憶の種類について説明できる 2. 人はどのように記憶しているのか、そのプロセスについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月24日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	学習と行動		
	授業内容	1. 条件付けなどの学習理論について説明できる 2. 学習が人の行動に与える影響を考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	性格		
	授業内容	1. 性格に関する理論(類型論と特製論)について説明できる。 2. 性格検査の種類と特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	知能と学力		
	授業内容	1. 知能とその測定方法について説明できる。 2. 知能と学力の違いについて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	動機づけと欲求		
	授業内容	1. 欲求の種類を列挙できる。 2. 人に行動を起こさせる動機づけについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	感情		
	授業内容	1. 感情について理論的に説明できる。 2. 感情のコントロール方法について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	ストレス		
	授業内容	1. ストレスの原因と反応の関連について説明できる。 2. ストレスコーピングについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		

テーマ	適応と話の聴き方			
授業内容	1. 適応と不適応の心理的メカニズム、防衛機制について説明できる。 2. 資料を基に話を聴くことについて考察し、自分の考えを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	精神的な疾患		
	授業内容	1. 主な精神疾患について、その特徴的症狀を説明できる。 2. 主な精神疾患の対応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	カウンセリングと心理療法		
	授業内容	1. カウンセリングの基本的な技法を説明できる。 2. 精神分析など代表的な心理療法の理論と特徴について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	対人関係と集団の心理		
	授業内容	1. 印象形成、対人認知について説明できる。 2. 集団や社会的役割が人の行動に及ぼす影響について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月29日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	他者の中の自己		
	授業内容	1. 自己理解の重要性について説明できる。 2. 自己を分析し自分自身について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	自己理解とまとめ		
	授業内容	1. 自分自身について、心理学的な視点で考察できる。 2. まとめとして、心理学を学ぶ意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 定期試験（多肢選択式と論述式）と提出物で評価する 定期試験（60％） 課題など提出物（40％） 2. 再試験は実施する			
教科書	毎回の授業の内容に沿ったプリントを配布する。			
参考書	『はじめて出会う心理学 第3版』 長谷川寿一他（著），有斐閣，2020 『心理学・入門』 サトウタツヤ他（著），有斐閣，2019 『新しい心理学へのアプローチ』 小林芳郎（編），保育出版社，2014 『心理学 第5版補訂版』 鹿取廣人他（編），東京大学出版会，2015			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 木曜日 授業後12時10分～13時10分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 メールアドレス：mohn@saitama-med.ac.jp			
履修上の注意、履修要件	心理学では、得た知識を自分の経験や今後に重ねて考えられる力を重要視します。学んだことを皆さん自身と結び付けて考える習慣をつけてください。 授業前には参考書等を用いて該当の内容に関して予習し、自分にとっての疑問を持って授業に臨んでください。授業後には学習内容を見直し、自分についての気づきをもとに、自己理解を深めるようにしてください。さらに余暇を利用して関連図書などを読み、理解を深めることを心がけてください。			

講義名	発達心理学		
(副題)	生活している人間の理解（人文科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
公認心理師/学校心理士	◎ 大野 美佐子	看護学科教員

担当教員	大野美佐子
科目の目標	人の心や行動は生涯にわたって変化していく。発達心理学は、その変化を扱う学問である。本科目では、心の認知的・社会的側面の発達を、発達の各段階（胎児期、乳児期、幼児期、児童期、青年期から成人期、老年期）について概観する。
学習の具体的な目標	(1) 発達の各時期の特徴を列挙できる (2) 発達に対する遺伝と環境の影響を説明できる (3) 生涯にわたる心身の発達を理論に即して考察できる (4) 発達障がいに関する基礎的な知識を理解し、当事者の状態を考察できる

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月05日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	人間の発達と発達心理学		
	授業内容	1. 発達心理学で何を学ぶか説明できる。 2. 人間の発達と発達段階について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	発達の規定要因		
	授業内容	1. 発達に対する遺伝と環境の影響を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	胎児期・乳児期の発達		

授業内容		1. 胎児期・乳児期の感覚・運動等の発達の特徴を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	乳児期の発達		
	授業内容	1. 乳児期の身体・心理面の発達の特徴を列挙できる。 2. 愛着の重要性を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月19日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	幼児期の発達1		
	授業内容	1. 幼児期の発達の特徴を列挙できる。 2. ピアジェの認知発達について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	幼児期の発達2		
	授業内容	1. 幼児期の社会性の発達の特徴を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月26日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	遊びと言葉の発達		
	授業内容	1. 遊びや言葉の発達について説明できる。 2. 幼児期の発達の特徴について具体的な場面で考察することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	児童期の発達		
	授業内容	1. 児童期の発達の特徴を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月03日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	青年期の発達		
	授業内容	1. 思春期・青年期の発達の特徴を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	こころの問題(情緒の発達)		
	授業内容	1. 心理的な問題について発達段階を踏まえて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	神経発達症の理解		

授業内容		1. 神経発達症の基礎的知識を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	神経発達症の支援		
	授業内容	1. 神経発達症の支援について、子ども～大人と発達段階にあわせて考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	成人期の発達		
	授業内容	1. 成人期の発達の特徴を列挙できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	老年期の発達		
	授業内容	1. 老年期の発達の特徴を列挙できる。 2. 老年期にみられる諸問題について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月24日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	大野		
	テーマ	発達と家族		
	授業内容	1. 自分と家族の発達について考察できる。 2. 人間が発達するとはどういうことか説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	定期試験（多肢選択と記述・論述）（70%）および授業中に課す小課題（30%）で評価する。 再試験は実施する。
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布する。
参考書	無藤隆・岡本祐子・大坪治彦（編）（2009）「よくわかる発達心理学 第2版」 ミネルヴァ書房
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 木曜日 授業後12時10分～13時10分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントを取ること。 メールアドレス：mohno@saitama-med. ac. jp
履修上の注意、履修要件	配布プリントに基づいて各回の授業内容を見直し、復習すること。また、必要に応じて、関連図書などを読み、理解を深めることを心がけてください。

講義名	社会学		
(副題)	生活している人間の理解（社会科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 勝野 有美	非常勤教員（大学外部）

担当教員	勝野 有美
科目の目標	社会の仕組みを観察したり社会問題を分析したりするための、基本的な枠組み・考え方を学ぶ。いくつかの具体的な領域をとりあげ、社会的存在としての人間がどのように関わり合い、どのようなシステムを運用しながら日常生活や社会生活を営んでいるのかを考察していく。それを通じて、日常生活・社会生活で直面しうる様々な問題の背景・構造を多面的に整理・分析する力を養う。 また、講義内で実施するショートレポートに主体的に取り組むことにより、自らがこれまで抱えてきた“あたりまえ”や“良きこと”を批判的に検討することの意義を体感し、正解を教わるのではなく様々な社会的課題について自らの考えを言語化することができる社会人・職業人となる土台を構築する。
学習の具体的な目標	1) 社会的存在としての個人が営む社会的相互作用、集団・組織・制度の定義を理解する。 2) 狭義の文化と広義の文化について、その内容を説明できる。 3) 社会化のプロセス・種類、個人と社会のそれぞれにとって持つ意味を踏まえ、今日的課題を考察する。 4) 近代家族の特質を理解し、その現代における変化について説明できる。 5) 社会的資源および社会移動の内容・特徴を理解し、それらをめぐる現代的話題を考察する。 6) 社会的弱者および社会的排除の概念を理解し、それらの現代の特徴について考察する。 7) 障害者の権利条約が提示した、障害の社会モデルおよび合理的配慮・社会的障壁の内容を説明できる。 8) ライフサイクルの変化と高齢期特有の課題の関係を分析し、現代社会における高齢期の意味を考察する。 9) 児童の権利条約の理念を理解し、子どもをめぐる今日的課題への取り組み方を考察する。 10) 性差を構成する要素について理解し、社会的性差や生殖に関する今日的課題について考察する。 11) 少数者の問題ではなくすべての人に関わる問題として、性の多様性について考察する。 12) 近代医学における病人役割と障害者役割の内容、医原病の性質と種類を説明できる。 13) 現代における病や健康の意味の変化を理解し、エンハンスメントの功罪や優生思想の現代的様相について考察する。 14) 専門職の特徴および現代的役割について説明できる。 15) 国民国家やエスニシティの概念を理解し、グローバリズムに伴う現代的諸問題について考察する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会学とは何か		
	授業内容			

1. 社会、相互行為などの概念説明を通じて、社会科学特有の視座や考え方の基本を理解する。
2. 地位・役割、制度、集団・組織などの概念を理解したうえで、社会の仕組みと個人の関わりについての社会学的な考え方を説明できる。
3. 社会学的想像力を持つ意義、批判的検討の意味を理解する。
(予習時間30分、復習時間20分)

2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	文化		
	授業内容	1. 文化の特質や内容、狭義の文化と広義の文化の区別を理解したうえで、複数の文化の関係性、異文化理解のプロセスについて説明できる。 2. ステレオタイプ、ラベリング、スティグマなどの概念を理解したうえで、偏見と差別の関係を考察する。 3. 情報化の歴史的変遷を踏まえて、情報が私たちの生活や社会のありように対して及ぼしている影響・問題を考察する。 4. 文化資本の概念を理解したうえで、世代を超えて受け継がれる構造を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会化		
	授業内容	1. 社会化の種類や段階を説明し、個人と社会のそれぞれにとっての社会化の意義を理解する。また社会化に欠かせないものは何かを考察する。 2. 規範の種類を学び、その社会学的意義について考える。 3. 現代社会に特有の、社会化をめぐる諸問題を考察する。そのうえで、子ども期のみならず生涯に渡って行われる、多様な学び・育ちについて考える。 (予習時間30分、復習時間20分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	家族		
	授業内容	1. 近代家族の特質および機能と、日本社会における成立過程および歴史的な変化を説明できる。 2. 個人および社会それぞれにとって家族が果たしてきた役割を考察する。 3. 現代の家族をとりまく様々な問題を、社会学的に分析する。 4. さまざまな形態の家族について説明し、現代における家族の役割や今後の展望を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会的資源		
	授業内容	1. 社会階層や社会階級の概念を説明できる。 2. 日常生活や社会生活を送るうえで必要な社会資源の内容・種類を理解し、その配分の仕方や社会移動のパターンについて分析を行う。 3. 現代の日本社会における不平等や格差について、社会学の観点から考察を行う。 (予習時間30分、復習時間20分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	社会福祉		
	授業内容	1. 社会福祉制度の歴史および基本的性質について説明できる。 2. 現代の社会福祉制度を分析する上でキーとなる概念について説明できる。 3. 社会的弱者の特徴、社会的排除と貧困の概念の違いを理解し、現代社会の変化との関係を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	障害・障害者		
	授業内容			

1. 障害者の権利条約の理念および概要を理解し、社会的障壁および合理的配慮の意味を説明できる。
2. 障害をめぐる個人/医療モデルと人権/社会モデルの違いを理解し、日本が国連から受けている総括所見・勧告の内容を読み解く。
3. 障害理解や当事者参加の意義・方法と今日的課題について考察する。
(予習時間30分、復習時間20分)

8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	高齢者		
	授業内容	1. 高齢者福祉制度の枠組み、日本の制度の特徴および今日的な課題について説明できる。 2. 現代社会における高齢期の特色を理解したうえで、家族の変質やライフサイクルの変化と高齢者福祉のありようとの関係を考察する。 3. 高齢者にやさしいまちづくりの実践、多世代共生の取り組みやエイジング教育の必要性について考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	子ども		
	授業内容	1. 児童の権利に関する条約の理念および要点を理解したうえで、子どもが持つ権利が行使されるために社会が考えるべきことを理解する。 2. 子ども基本法の成立およびそれに付随する制度的な動き、また子どもをめぐるニュースを概観しながら、子どもの福祉に関する今日的な課題を考察する。 3. 子どもアドボカシーの概念・手段を学んだうえで、子どもの最善の利益を追求するための方途を考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	性〔性差、生殖〕		
	授業内容	1. 性を定義するさまざまな概念の内容およびそれら相互の関係性を理解する。 2. 性を構成する要素のうち、文化的・社会的に規定される性差の考え方を理解する。また、現代における家族や労働、暮らしの変化と社会的性差・性別役割との関係を考察する。 3. 生殖をめぐるさまざまな問題を学び、その社会学的な課題を考察する。特に、生殖に関する権利の確立過程を理解するとともに、現代における家族の多様性や子どもの権利の観点から生殖の問題を分析する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	性〔多様性〕		
	授業内容	1. 選択可能な多様性とそうではない多様性を峻別したうえで、性の多様性を多面的に整理・分析し、グラデーションとして性を捉える考え方を理解する。 2. LGBTQsをめぐる今日的な課題を考察するとともに、SOGIという概念が用いられるようになった背景を理解する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	医学・医療〔近代編〕		
	授業内容	1. 近代医学の成り立ちと、医学・医療をめぐる諸問題を分析・評価するうえでキーとなる概念を説明できる。 2. 社会学的な分析枠組みを用いて医療者と患者の関係を考察し、患者役割および障害者役割の概念を理解するとともに、それらのモデルが生み出された背景を理解する。 3. 医療化と脱医療化の内容、医原病の定義と種類を説明できる。 (予習時間30分、復習時間20分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		

テーマ	医学・医療〔現代編〕			
授業内容	1. 現代における病や健康の意味の変化を理解し、その背景にある疾病構造や社会生活の変化について考察する。 2. エンハンスメントの意味、特に治療との違いを理解するとともに、具体的な事例を通じて、その功罪を検討する。 3. 現代において優生学的思想が持ちうる形を理解し、資本主義社会の特色との関係を説明することができる。 (予習時間30分、復習時間20分)			
14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	専門職		
	授業内容	1. 専門職の特質について社会学の観点から理解し、官僚制との共通点と相違点を説明できる。 2. 専門家主義の内容を理解し、特定の職業が専門職になることのメリットとデメリットについて考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	勝野		
	テーマ	国際化		
	授業内容	1. 地域・コミュニティ、都市、国民国家の概念を理解し、説明できる。 2. 民族・人種・エスニシティの概念を説明できる。 3. グローバル化がもたらしている今日的な課題について、社会学的な視点から考察する。 (予習時間30分、復習時間20分)		
評価方法	1. 前期末定期試験期間に、筆記試験を行う。 (1) 講義で取り上げた用語・概念について、論述筆記する(多肢選択式)。 ※講義で配布した資料を含む紙資料は、すべて持込み可 (2) 受講者の関心を踏まえた課題文を指定し ①論旨を理解しているか否かを問う ②課題文の論旨に対する考えを問う ※課題文は、履修者の関心を踏まえて選定し、第15回講義までに事前配布する 2. 出席状況も評価対象に含める。 3. 講義内で実施するショートレポートの評価を加味して総合的に成績をつける。 4. 本試験の結果が合格点に満たない学生に対しては、必要に応じて、定められた期間中に再試験を実施する。			
教科書	授業ごとに、内容に沿った参考資料・補足資料を配布する。			
参考書	1. 森下伸也『社会学がわかる事典』日本実業出版社、2000年 2. 浅野智彦(編著)『考える力が身につく社会学入門』中経出版、2010年 3. 坏洋一ら『問いからはじめる社会福祉学 -不安・不利・不信に挑む』有斐閣、2016年 4. 松波めぐみ『「社会モデルで考える」ためのレッスン』生活書院、2024年 5. 日高庸晴『LGBTQ+の健康レポート』医学書院、2024年			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業および課題等に対する質問はメールにて受けつける。 E-mail : katsunoy@gmail.com			
履修上の注意、履修要件	1. 受講者の関心や講義理解の程度に応じた講義展開のため、講義内で適宜ショートレポートを実施する。主体的に取り組むことができる学生の履修が望ましい。 2. 配布する参考資料・参考論文を読んで講義内容の理解に努め、受講後には、講義資料を見返す、図書館を利用するなどして各自、自身の関心を踏まえて十分に学習を深めること。			

講義名	教育学		
(副題)	生活している人間の理解（社会科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 田垣内 義浩	非常勤教員（大学外部）

担当教員	田垣内義浩
科目の目標	本講義では、教育と社会に関する理論や概念を応用することを通じて、（現代）日本でみられる教育の諸現象・諸問題について、それを取り巻く社会との関係性の網の中で理解していくことを目指す。その際には、時代比較・地域比較などのアプローチを用いることで、現代日本における教育の「当たり前」となっている諸現象を相対化し、そうではない教育の在り方についても議論する予定である。講義では、教育学や教育社会学の理論・概念を獲得するにとどまらず、それを踏まえたグループワークやディスカッションを行うことによりその理解を深めていく。
学習の具体的な目標	受講者が作成する授業ごとや期末のレポートおよびその内容に関するディスカッションを通じて、以下を達成する。 1. 教育と社会に関する基本的な理論や概念を現代日本社会における応用例とともに理解し、具体的に説明することができる。 2. 教育に関する社会の諸現象について、個人の思い込みや常識を相対化する視点を持ち、統計的資料やデータをもとに説得的に議論することができる。 3. 図表や公的資料などで示されたデータを正確に分析・解釈し、適切に論じることができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	ガイダンス		
	授業内容	1. 教育と社会との関係という視点から教育学や教育社会学の考え方や主要な論点について説明できる。 2. 日本における学校教育の拡大の歴史を説明し、「学歴社会」と形容されるに至った社会的背景をその実態とともに提示することで、教育学や教育社会学の捉え方について説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		

テーマ	社会階層と教育			
授業内容	1. 学力や進路が社会階層に規定されている実態について時代比較・国際比較のアプローチを用いて説明できる。 2. 社会階層による格差・不平等が生じる背景について、経済資本とともに文化資本・社会関係資本という概念を用いて説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。			
3	年月日（曜日）	令和 7年10月16日（木）	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	家族と教育		
	授業内容	1. 社会階層による子育てスタイルの違いと、それが学校内部での子どもの行動にもたらす影響を説明できる。 2. 現在、当然視されている子どもという存在が、実は歴史的に構築されてきたものであることを子ども期の誕生という視点を用いて説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
4	年月日（曜日）	令和 7年10月23日（木）	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	ジェンダーと教育		
	授業内容	1. 男女の「らしさ」はいかなる経路を通じて身体化されていくのか説明できる。 2. 教育機会や労働市場におけるジェンダーギャップがなぜ生じているのか、諸外国との比較も交えつつ説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
5	年月日（曜日）	令和 7年10月30日（木）	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	地域と教育		
	授業内容	1. 教育に関する諸事象は地域的な文脈で異なる現れ方をすることが多い。近隣効果や社会関係資本などの概念や研究知見をもとに説明できる。 2. 地域で異なる進路やライフチャンスの実態やそのメカニズムについて、統計的資料や事例を用いて説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
6	年月日（曜日）	令和 7年11月06日（木）	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	進路選択とトラッキング		
	授業内容	1. 主に国際比較を通じて日本の教育制度の特徴を把握し、それが進路選択といかに関係するか「加熱」と「冷却」など教育学や教育社会学の諸概念とともに説明できる。 2. 同じ日本ではあっても、地域によって偏差値輪切りの学校格差という制度的特徴は異なる現れ方をし、それにより進路選択や進路指導の在り方も一様でないことを説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
7	年月日（曜日）	令和 7年11月13日（木）	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	教育と労働市場		
	授業内容			

1. 高卒就職と大卒就職のふたつの側面から学校から職業への移行に関する諸特徴を過去と現在の比較から説明できる。
2. フリーターやニートに対するありうる見方を相対化し、社会的な側面から捉えた時には異なる見方ができることを説明できる。

〈事前事後の学習〉

予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。

復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。

8	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	教師		
	授業内容	1. 教師になる人はどのような特徴があるのか、教師はいかなる社会的な特徴をもっているか、データをもとに説明できる。 2. 教師—生徒関係について、その学校の置かれた社会的な文脈との絡み合いの中で理解する視座を説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	カリキュラム		
	授業内容	1. 学習指導要領などの変遷を追うことで、顕在的なカリキュラムがどのように時代とともにどのように変化してきたのか、そしてカリキュラムの変化は子どもにどう影響したか説明できる。 2. 「隠れたカリキュラム」が、学校教育内部や外部社会においてどのような影響をもたらしているか説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	学校教育と健康格差(1)		
	授業内容	1. 教育と健康の間に存在する格差について、基本的なデータに基づいて、どういう論点が存在するかを説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	学校教育と健康格差(2)		
	授業内容	1. 高い教育段階を受けることが健康を増進させることについて、個人の経済的側面から説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	学校教育と健康格差(3)		
	授業内容			

- (1) 高い教育段階を受けることが健康を増進させることについて、個人の非経済的な側面から説明できる。
- (2) 高い教育段階を受けることが健康を増進させることについて、個人間のネットワークという観点から説明できる。

〈事前事後の学習〉

予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。

復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。

13	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	マイノリティと教育		
	授業内容	1. 移民の子どもなどを例として、現代日本におけるマリノリティと（学校）教育の関係性を説明できる。 2. マイノリティの子どもの排除と包摂の在り方と課題について、マジョリティの特権という視座との関わり合いから説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	教育問題		
	授業内容	1. 不登校やいじめなどの教育問題に向き合う際に、「心の問題」から理解してしまうことの限界について示し、社会とのつながりからアプローチする視座を説明できる。 2. 不登校やいじめが生じるメカニズムについて、教育学や教育社会学の研究知見を用いて説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	5限
	講義室	C402		
	担当者	田垣内		
	テーマ	講義のまとめ		
	授業内容	1. これまで学んできた教育と社会に関する諸概念を振り返りつつ、教育に関する諸現象をどのように捉えていくべきか、その主要な論点について説明できる。 〈事前事後の学習〉 予習（30分）：授業のテーマの参照資料に目を通しておく。 復習（60分）：授業内容の復習と課題の問題を解く。		

評価方法	講義の予習及び復習課題（50%）と期末レポート（50%）で評価する。期末レポートの出題内容については授業中に提示し、出題意図とともに説明する。
教科書	毎回の講義で資料を配布するが、以下の本については購入しておくことが望ましい。 中村高康・松岡亮二編，2021，『現場で使える教育社会学—教職のための「教育格差」入門』 ミネルヴァ書房。 相澤真一・伊佐夏美・内田良・徳永智子，2023，『これからの教育社会学』 有斐閣。
参考書	何回かの講義で紹介するが、講義での理解促進のための参考文献として、以下が挙げられる。 岩井八郎・近藤博之，2010，『現代教育社会学』 有斐閣ブックス。 酒井朗・中村高康・多賀太編，2012，『よくわかる教育社会学』 ミネルヴァ書房。 内田良，2021，『部活動の社会学』 岩波書店。
連絡先/オフィスアワー	講義終了後に教室で質問を受け付ける。また、必要がある場合は電子メールでも質問を受け付ける。 なお、連絡先メールアドレスについては授業で提示する。
履修上の注意、履修要件	講義前日には授業のテーマの参照資料をもとに予習をし、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることを心掛けてください。 また、講義ごとの課題については、講義の最後に課題の概要を説明したうえで、Google Formを利用して受講者の回答をオンラインで収集する。なお、課題については、次回の講義で取り上げた上でフィードバックを行う。

講義名	人体の科学		
(副題)	生活している人間の理解（自然科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 下岡 聡行	臨床工学科教員

担当教員	下岡 聡行・脇田 政嘉・田邊 一郎
科目の目標	ヒトは物理・化学の法則が支配する自然界に生きる生物であり、ヒトを理解するためには基本的な自然科学の原理を理解している必要がある。本科目では、化学や細胞学および力学や電磁気学や熱力学の基礎を統合的に学び理科的思考力の修得を目指す。
学習の具体的な目標	1) 熱力学の法則に従う物質の移動について説明できる。 2) 化学結合と化学反応を理解し、酸性とアルカリ性について説明できる。 3) ニュートンの3つの運動法則を理解し、力のつり合いを説明できる。 4) オームの法則を使って電圧・電流・抵抗間の計算ができる。 5) 細胞の機能から、老化やがんについて理解できる。 6) 遺伝子治療や再生医療について説明できる。 7) 物理量と単位系について理解し、単位の組み立てや変換の計算ができる。 8) 理科的思考をもって看護の学習に取り組むことができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	脇田		
	テーマ	物質と物質の移動		
	授業内容	1. 原子や分子などミクロな粒子について説明できる。 2. 溶液の濃度について基本的計算ができる。 3. 自然の法則にしたがう物質や熱の移動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	脇田		
	テーマ	化学反応と生体		
	授業内容	1. 分子の構造と化学結合について説明できる。 2. 身近な物質の構造と化学反応について説明できる。 3. 酸性・アルカリ性・pHについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	下岡		
	テーマ	力学と生体		
	授業内容	1. 力や速度などのベクトル量について説明できる。 2. 作用反作用の法則と慣性の法則について説明できる。 3. 力と運動の関係および仕事とエネルギーの概念を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	下岡		
	テーマ	電気現象と生体		
	授業内容	1. 正と負の電荷の起源を説明できる。 2. オームの法則を用いた計算ができる。 3. 電気と磁気の関係について概要を説明できる。 4. 生体の電気現象の例を挙げて、簡単に説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	下岡		
	テーマ	単位と単位系		
	授業内容	1. 基本的物理量について単位の組み立てを説明できる。 2. 大気圧や血圧や気道圧やポンペ圧を例に単位の変換ができる。 3. 指数と対数について簡単な計算ができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田邊		
	テーマ	病気と細胞		
	授業内容	1. 細胞の構成と働きについて説明できる。 2. DNAやRNAの持つ情報の意味およびタンパク質合成について説明できる。 3. 遺伝病やがんについて理解できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	田邊		
	テーマ	死と細胞		
	授業内容	1. 免疫系や内分泌系を中心に、ヒトの老化について理解できる。 2. 死とは何かを、細胞学的見地から理解できる。 3. 再生医療について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	2限
	講義室	C405		
	担当者	下岡		
	テーマ	総括		
	授業内容	1. 上記7回の授業内容をまとめて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		定期試験の成績(70%)および授業の出欠(30%)で評価する。		
教科書		講義毎にプリントを配布する。		
参考書		1. Clinical Study 2012年5月増刊号、「やさしく学ぶ 看護のための理科」、メヂカルフレンド社		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【下岡】 木曜日4限		

	上記の時間帯以外は事前にメールにてアポイントメントをとること。 Email : shimooka@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	放課後には学習内容の見直しを十分に行うこと。 さらに余暇を利用して図書館での参考書等の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 授業中に理解するように努め、疑問点は教員を訪ねて遠慮なく質問すること。

講義名	人間工学		
(副題)	生活している人間の理解（自然科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
理学療法士	◎ 澤田 豊	理学療法学科教員

担当教員	澤田 豊・森田 泰裕
科目の目標	患者・看護師にとって“快適”かつ“効率的”な援助技術を考察するために、人間工学の基礎的な知識を習得する。看護動作を助けるボディメカニクスや、看護技術で使用する機器・機械等を、人間の解剖学的・生理学的・心理学的な特性に適合するように設計・調整されていることを学習する。
学習の具体的な目標	1) 人間工学について説明できる。 2) 生活環境と人間工学の関係について説明できる。 3) 看護と人間工学の関係について説明できる。 4) 看護と人間工学の関係について意見を述べ討議することが出来る。 5) 姿勢と動作による身体的影響について説明できる。 6) ボディメカニクスの意味を説明できる。 7) ボディメカニクスにおける力学的法則（ベクトル・てこ・力のモーメント）を説明できる。 8) 人間工学的知識を活用した看護技術を説明できる。 9) 看護技術における人間工学的知識の利用について意見を述べ討議することが出来る。 10) 医療安全と人間工学との関係を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	生活環境における人間と道具・器具の使用		
	授業内容	1. 人間工学の概念を説明できる。 2. 看護・介護と人間工学の関係について説明できる。 3. 人間工学の日常生活への応用について説明できる。 4. 看護における人間工学の必要性・意義を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	森田・澤田		
	テーマ	身体運動のメカニズム		
	授業内容			

1. 身体運動のメカニズムについて説明できる。 2. 身体運動による人の生理的変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
3	年月日(曜日)	令和 7年12月09日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	姿勢と動作による身体的影響		
	授業内容	1. 姿勢や動作とバイオメカニクスについて説明できる。 2. 道具や機器を使用と熟練度の関係について説明できる。 3. 動作や道具と個人差について説明できる。 4. 道具や機器の使いやすさ・使いづらさに影響を与える因子について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	森田・澤田		
	テーマ	人間工学と看護動作 1		
	授業内容	1. 看護師の姿勢と動作について説明できる。 2. 患者の姿勢と動作について説明できる。 3. 看護・介助作業と人間工学について説明できる。 4. 看護と人間工学の関係について意見を述べ討議することが出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年12月16日(火)	時限	4限
	講義室	C405		
	担当者	森田・澤田		
	テーマ	人間工学と看護動作 2		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年12月23日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	看護師をとりまく環境と設備		
	授業内容	1. 患者を取り巻く医療環境と設備について説明できる。 2. 看護・介助者を取り巻く医療環境と設備について説明できる。 3. 看護・介護のための機器や補助具について説明できる。 4. 人間工学の実践とユニバーサルデザインについて説明できる。 5. 看護技術における人間工学的知識の利用について意見を述べ討議することが出来る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年01月06日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	森田・澤田		
	テーマ	看護における情報伝達と人間工学		
	授業内容	1. 情報の伝達と人間工学の関係について説明できる。 2. 看護・介護における情報とその伝達方法について説明できる。 3. 情報の使われ方について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年01月13日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	澤田・森田		
	テーマ	看護における事故と安全		
	授業内容	1. 看護・介護の事故の種類と原因について説明できる。 2. 医療事故がもたらすものについて説明できる。 3. 事故防止の方策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 課題レポート、演習態度(参加状況、出席状況等)などを総合的に評価する。講義終了後に提出されたレポートに対し、E-mailでコメントする。 2. 再試験の有無：有		

教科書	看護動作を助ける基礎人間工学、小川鑛一、東京電機大学出版局 1999
参考書	講義にて適宜紹介する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【澤田】 月曜日・金曜日 13:00-16:00 それ以外の時間は、メール連絡。 Email: ysawada@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	受講前に教科書の該当範囲を予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに空き時間を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めること。 看護技術と人間工学の結びつきについて興味を持って取り組めるよう、デモンストレーションや実験などを交え講義を進める予定である。 演習を行う際には、動きやすい服装を必要とする場合もある。

講義名	スポーツ科学		
(副題)	生活している人間の理解（自然科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 古泉 一久	非常勤教員（大学外部）

担当教員	古泉 一久
科目の目標	医療従事者としてスポーツ、運動、トレーニングや、健康との関わりについて正しい知識を習得する。
学習の具体的な目標	本授業は講義形式で行う。 1) スポーツにおける科学の在り方、考え方について説明できる。 2) トレーニングによる筋肉の肥大について理論的に説明できる。 3) 体重を減量するための運動と、その評価方法について説明できる。 4) 運動時のエネルギー代謝について説明できる。 5) 運動時に産生される乳酸と筋肉の疲労との関係について考察できる。 6) スポーツ技術を習得する過程について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	授業のガイダンス スポーツにとって科学的とは		
	授業内容	1. 基礎教育科目における本授業の位置づけについて説明できる。 2. 本授業の目標、内容、計画、評価の方法などについて説明できる。 3. スポーツにおける科学の在り方について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	ヒトにとって筋肉とは何か		
	授業内容	1. 筋肉の増殖、抑制に関わる因子について説明できる。 2. スポーツ選手におけるドーピングについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	1限

講義室	講堂2F			
担当者	古泉			
テーマ	スポーツと筋線維組成との関係			
授業内容	1. 筋線維の構造について説明できる。 2. スポーツ選手における種目別の筋線維組成の違いについて説明できる。 3. トレーニングによる筋線維タイプの変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	筋肉をつけるには(肥大させる、見栄えを良くする)どうすればよいか		
	授業内容	1. 筋肉が大きくなるためのプロセスについて説明できる。 2. 筋力トレーニングの強度とその効果について説明できる。 3. これまで行われてきた様々なトレーニング方法について説明できる。 4. 筋肥大を誘発する理論について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	筋肉痛と筋収縮の様式について		
	授業内容	1. EMSによるトレーニングの長所、短所について説明できる。 2. 筋肉痛発症の機序について説明できる。 3. 筋肉痛についての誤った認識について説明できる。 4. 筋収縮の様式の違いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ種目別の筋力特性		
	授業内容	1. 等速性筋力の測定について説明できる。 2. スポーツ選手別の筋力特性について説明できる。 3. 筋力と収縮速度との関係について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	身体組成の評価について		
	授業内容	1. 身体のエネルギー量の出納について説明できる。 2. 肥満とはどのような状態なのか説明できる。 3. 身体組成の評価方法について説明できる。 4. 身体に対する体脂肪の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	減量するための運動(体脂肪を減らす)とは		
	授業内容	1. 脂肪細胞による生理活性物質の役割について説明できる。 2. 脂肪細胞の種類とその特徴について説明できる。 3. 筋肉における脱共役タンパク質の役割について説明できる。 4. 減量のための運動について効果的な方法とは何か説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	乳酸は身体の疲労の原因である?!		
	授業内容			

1. 運動時のエネルギー代謝について説明できる。
 2. 乳酸が産生される状況について説明できる。
 3. 乳酸の代謝のされ方について説明できる。
 4. 筋疲労の要因について考えられている知見について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ能力のパラメーターとしての呼吸機能と心拍数		
	授業内容	1. 呼吸機能の測定について説明できる。 2. 運動時の呼吸機能の変化について説明できる。 3. 無酸素性作業閾値について説明できる。 4. 運動強度としての心拍数の算出方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	運動中の突然死について		
	授業内容	1. 心臓震盪について説明できる。 2. スポーツ心臓について説明できる。 3. 運動中の突然死における対策について考察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	運動の技術はどのように身につけることができるのか		
	授業内容	1. 運動の巧みさの要素について説明できる。 2. ヒトの状況把握能力について説明できる。 3. 動作の自動化(身体で覚えるとは何か)について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手の“見る”能力		
	授業内容	1. 動体視力について説明できる。 2. 中心視と周辺視について説明できる。 3. 滑動性追従眼球運動について説明できる。 4. 視覚に関する脳内での情報処理過程について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手にみられる潜在的知覚とは		
	授業内容	1. 錯視について説明できる。 2. 潜在的知覚と運動行動との関係について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	古泉		
	テーマ	スポーツ選手の「ゾーンに入る」とは		
	授業内容	1. 「ゾーンに入る」とはどのような状況をいうのか説明できる。 2. 兵法書としての不動智神妙録とは何かを説明できる。 3. 古武術とは何かを説明できる。 4. 古武術の動きとスポーツ技術の接点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	定期試験（論述及び選択式）の成績で評価する。100点満点中60点以上を合格とする。 定期試験で合格に満たない場合再試験を実施する。
教科書	資料を授業ごとに配布する。
参考書	「身体トレーニング 運動生理学からみた身体機能の維持・向上」、宮村実晴編集、真興交易
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業終了後に質問、相談を受付ける。
履修上の注意、履修要件	授業終了後には当日配布された資料などで学習内容の見直しを行うこと。 疑問、質問点などがある場合には、次回授業時に質問できるように考えをまとめておくこと。 履修者はスポーツ科学に興味のあることが望ましい。 （予習時間30分、復習時間30分）

講義名	情報リテラシー		
(副題)	生活している人間の理解（自然科学系）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 是村 利幸	共通教育部門教員

担当教員	是村 利幸・水谷 諭史・川合 美奈・工藤 岳夫・齋藤美奈子
科目の目標	情報を効果的に取扱えるように、コンピュータの一般的なソフトを用いて修得する。コンピュータを用いて自分の考えを他者に伝達する力を養う。また、情報に関する知識およびコンピュータシステム、ネットワークについての知識を併せて学修する。なお、本科目の一部は、全学共通データサイエンスAI学修プログラムになっている。全学共通データサイエンスAI学修プログラムは、データサイエンス・AI・数理への関心を高め、かつそれを適切に理解し活用する基礎的な能力を育成することを目的としている。
学習の具体的な目標	＜基礎知識＞ 1) 情報の基本的な性質を説明できる。 2) コンピュータシステムの構成とその役割を説明できる。 3) ネットワークの基本的な利用法を説明できる。 4) 情報の安全管理の基本的な考え方を説明できる。 ＜基礎技術＞ 1) OSの基本的な操作ができる。 2) 文書作成ソフトの基本的な操作ができる。 3) 表計算ソフトの基本的な操作ができる。 4) プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる。 5) プレゼンテーション資料を作成できる。 6) 適切な情報を収集できる。 ＜全学共通データサイエンスAI学修プログラム＞ データサイエンス・AI・数理を医療の現場で利活用するために必要な基礎的な素養を身につける。 1) 医療におけるデータサイエンス・AIの必要性を説明できる。 2) AI等を扱う際に、人間中心の適切な判断を行うための倫理等について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	オリエンテーション/データサイエンスの役割		
	授業内容			

1. マルチメディア教室のコンピュータや周辺機器を正しく扱うことができる。
 2. 現代社会とデータサイエンスの結びつきを説明できる。
 3. データの種類や性質について説明できる。
 4. データサイエンスの実例を示すことができる。
 5. 医学におけるデータサイエンスの必要性を説明できる。
- 準備：自分の身の回りで、AIが使われていると思われるものを3つ程度あげられるように考えておく。
(予習時間30分、復習時間60分)

2	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	パソコンの基本操作／Microsoft office®の基本操作		
	授業内容	1. WindowsOSの基本的な操作ができる。 2. キーボードとマウスを操作することができる。 3. 日本語変換システムを操作することができる。 4. OSとアプリケーションソフトの役割を述べるることができる。 5. 文書作成ソフトの基本操作ができる。 6. 表計算ソフトの基本操作ができる。 7. プレゼンテーション作成ソフトの基本操作ができる。 8. メールを正しく送ることができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	コンピュータの仕組み		
	授業内容	1. コンピュータシステムの仕組みと働きを説明できる。 2. 電子計算機について説明できる。 3. ハードウェアについて説明できる。 4. ソフトウェアについて説明できる。 5. プログラムの実行形式について説明できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	ネットワークの仕組み		
	授業内容	1. ネットワークの構成について説明できる。 2. 通信プロトコルについて説明できる。 3. ネットワークセキュリティについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	表計算処理 1		
	授業内容	1. 数式を使った計算ができる。 2. 関数を使って計算することができる。 3. 作表することができる。 4. 見やすく使いやすい表を作成できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	表計算処理2／統計・データ処理		
	授業内容	1. ワークシートでグラフを作成できる。 2. データを指定された表現方法に加工できる。 3. Excelの機能を活用して、効率よく作業を進めることができる。 4. 統計とは何か説明できる。 5. 統計の種類について説明できる。 6. ワークシート上で統計計算ができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		

担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤			
テーマ	文書処理 1			
授業内容	1. 読みやすい文書を作成することができる。 2. 効率良く文書を作成することができる。 (予習時間30分、復習時間60分)			
8	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	文書処理 2		
	授業内容	1. 表や図を使って文書を作成することができる。 2. 文書にオブジェクトを利用した多彩な文章を作ることができる。 3. 特殊な機能を使うことができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	プレゼンテーション 1		
	授業内容	1. プレゼンテーション資料作成の要点を述べることができる。 2. 簡単なプレゼンテーション資料①を作成することができる。 3. 文書資料とプレゼンテーション資料の相違を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	プレゼンテーション 2 / プレゼンテーション資料②		
	授業内容	1. 一つのテーマについて、わかりやすいプレゼンテーション資料を作成できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	ネットリテラシー／データサイエンスと情報倫理		
	授業内容	1. ネットリテラシーとは何か説明できる。 2. ネットリテラシーについて事例を挙げ、自分の考えを述べることができる。 3. 個人情報保護・情報の秘匿・暗号について説明できる。 4. データの利活用に関するルールを守ることができる。 5. 情報漏洩の危険性を説明できる。 6. 情報を適切に管理する方法を説明できる。 7. インターネットを利用する際のマナーを説明できる。 準備：インターネットを使う時の注意点を3つ程度挙げられるように考えておく。 (予習時間30分、復習時間60分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	情報の収集方法		
	授業内容	1. インターネット上の情報を正しく収集できる。 2. 検索エンジンの使い方を説明できる。 3. 国が公表している統計データを取得できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	プレゼンテーション 3 / 他己評価		
	授業内容	1. ほかの学生のプレゼンテーション資料②を適切に評価できる。 (予習時間30分、復習時間60分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	2限

講義室		MM教室		
担当者		是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
テーマ		まとめ課題		
授業内容		1. これまで学修してきたソフト（Word、Excel、PowerPoint）を用いて課題を処理できる。 （予習時間30分、復習時間60分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年07月25日（金）	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	是村・水谷・川合・工藤・齋藤		
	テーマ	プレゼンテーション4／発表		
	授業内容	1. プレゼンテーション資料②を用いて自分の考えを発表できる。 2. 発表内容をもとに学生同士で意見交換ができる。 （予習時間30分、復習時間60分）		
評価方法		以下を総合的に判断して評価する。 1. 演習課題 2. 学習態度（演習に取り組む姿勢や課題の提出状況など） 3. 再試験：有		
教科書		基礎からわかる情報リテラシー 奥村晴彦・森本尚之 著 技術評論社		
参考書		1. 情報リテラシー入門 中川祐治ほか 日経BP 2. 看護・医療系のための情報科学入門 新訂版 第2版 椎橋実智男・鈴木康文 著 サイオ出版 3. 教養としてのデータサイエンス 内田誠一・川崎能典ほか 講談社		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 下記の時間帯に訪問することが難しい場合には、メールにて事前にアポイントメントをとること。 ○ 是村 利幸 火曜・金曜の昼休み（12:00-13:00）E-mail：kore@saitama-med.ac.jp ○ 水谷 諭史 金曜の昼休み（12:00-13:00）E-mail：mizutani@saitama-med.ac.jp ○ 川合 美奈 木曜の昼休み（12:10-13:00）E-mail：kawaim@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		知識の学習と情報処理技術を体得する授業です。コンピュータ操作を身につけるには、授業時間外の練習も必要です。授業内容を理解する上での予習と授業によって身に付けた技術を忘れないためにも、授業終了後も継続してコンピュータを使うように心掛けてください。 この科目では、教室のコンピュータを使用できますが、授業時間外の課題もありますので、使い慣れている自分のコンピュータを持っている場合には、持参するようにしてください。		

講義名	英語 I		
(副題)	生活している人間の理解（外国語）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 上滝 圭介	共通教育部門教員

担当教員	上滝 圭介・青木 啓子・オニヤヌシ ビオラ・深山 美樹
科目の目標	国際語としての英語を運用するための基礎的な力を養うことを科目の目標とする。基本的な文法を整理、確認しつつ、使用頻度の高い基本的な英語表現の習得を目指す。基本文法・表現を十分に活用して、基礎的なリスニング、リーディング、ライティング、スピーキング技能の充実を図る。 また、体の部位、臓器など基礎的な医療用語の学習も行う。
学習の具体的な目標	1) 基本的な英語語彙を覚えて、正しく運用できる。 2) 英文を読み、全体の内容を説明できる。 3) 日常的な場面で用いられる様々な英語を聴き取ることができる。その内容を日本語で説明できる。 4) ある程度の長さの英文を正確に読むことができる。 5) 状況に応じた、英語での受け答えができる。 6) 医療関係の現場で用いられる基礎的な英語の綴りを正しく綴ることができる、また意味を日本語で答えられる。 授業形態 プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション、PBLなど

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	3限
	講義室	C301		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Orientation: 高校までの英語で学んだ発音や文法項目の確認と第2回から第15回までにむけてのOrientation		
	授業内容	1. 高校までで学んだ発音項目の復習を行い、正確な発音ができる。 2. 高校までで学んだ文法項目の復習を行い、それらを応用して正確に作文ができる。 3. 次回以降の授業にむけてシラバスにあわせて準備ができる。また、定期試験にむけての学習計画を立てることができる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月18日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		

テーマ	Chapter 1: Laughter Is a Miracle Medicine／現在形			
授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 2: Florence Nightingale: Pioneer of Modern Nursing／過去形		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 3: Pearls of Wisdom／名詞・代名詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 4: Love Is Powerful／接続詞・前置詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 5: Land Farms for Fish／形容詞・副詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 6: The Key to Success／助動詞		
	授業内容			

1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。
2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。
3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。
4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。
(予習時間および復習時間は各30分程度)

8	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 7: The Power of Positive Thinking／動名詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月06日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 8: A Dog Is Man's Best Friend／不定詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月13日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 9: Mushrooms Are a Miracle Food!／比較		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月20日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 10: Protecting Man's Best Friend／分詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月27日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 11: "Rice" from the Ocean／未来形・be going to～		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		

13	年月日(曜日)	令和 7年07月04日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 12: Ocean-aged Wines／受動態		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月11日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 13: Angry People Aren' t Happy People／完了形		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月18日(金)	時限	3限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・オニヤヌシ・深山		
	テーマ	Chapter 14: Fast Fashion Is a “Mixed” Blessing／関係詞		
	授業内容	1. Vocabularyの語彙について、発音、品詞、意味などをリサーチできる。 2. Focus on Grammarで取り扱われる文法事項を、Grammar ExercisesやWriting Challengeで応用できる。 3. Reading Passageの大意をつかみ、要約して説明できる。 4. DialogueやReading Passageの音声を正確に聞きとり、発音ができる。また、それらの表現を会話のアクティビティやWriting Challengeで応用できる。 (予習時間および復習時間は各30分程度)		
評価方法		1. 前期定期試験内での筆記試験 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況 3. 授業内の小テスト、レポートなどの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する) 4. 再試験の有無: 有		
教科書		1. 『Good Grammar, Better Communication』Joan McConnell+山内圭: 成美堂 2. プリント教材(医療英語やコミュニケーション英語を含む)		
参考書		1. マーク ピーターセン『日本人の英語』岩波書店 1988年 2. 里中哲彦『英文法の魅力』中央公論新社 2012年 3. 永本義弘『冠詞と基本動詞がわかれば、英語がわかる』南雲堂 2012年		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【上滝】 オフィスアワー: 月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールでアポイントメントを取ることを。 Eメール: kamitaki@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、間違えた箇所をもう一度自分で確認・整理して、それでも理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。		

講義名	英語Ⅱ		
(副題)	生活している人間の理解（外国語）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 上滝 圭介	共通教育部門教員

担当教員	上滝 圭介・青木 啓子・尼子 充久・オニヤムシ ビオラ
科目の目標	英語Ⅰで学習した基礎的な英語力をよりいっそう充実させ、さらに応用的な英語学習を進めて、英語の言語知識と運用能力を発展・向上させる。教科書を用いて語彙の増強、英文読解力および英作文能力の強化を図る。教科書だけではなく、適宜、補助的な教材を用いて医療現場、医療に関連した分野で用いられる英語語彙、表現の習得も目指す。
学習の具体的な目標	1) 英文（一文）を日本語に正しく訳すことができる。 2) 文章全体の意味を日本語で分かりやすく説明できる。 3) 英文を聞いて、その内容を日本語で説明できる。 4) 聞き取った英文を文字で表記できる。あるいは概要や要点を英語で書くことができる。 5) 様々な英語語彙、表現を正しく運用（書く、話すことが）できる。 6) 医療の現場および関連した状況で用いられる英語語彙、表現を運用（書く、話すことが）できる。 授業形態 プレゼンテーション、グループワーク、ディスカッション、PBLなど

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤムシ		
	テーマ	授業ガイダンス、英語Ⅰの学習内容の確認		
	授業内容	1. 英語Ⅰで学んだ文法・表現・発音の復習を通して、医療の内容を含む基本的な英語を読む、書く、聞く、発話することができる (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤムシ		
	テーマ			

Unit 1 What Country Is the Fattest in the World?
 トピック：肥満
 Listening Tips：英語のリズム
 Reading Activity：Meeting the Challenge of Obesity
 Communication：Summer review / Medical matters
 医療関連英語：症状

授業内容
 1. 肥満に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
 2. 肥満に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
 3. 英語のリズムに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
 4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
 (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月18日(土)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 2 What Do We Know about Sleep Talking? トピック：睡眠 Listening Tips：「内容語」と「機能語」のリズム Reading Activity：Understanding Sleep Talking Communication：Summer review / Medical matters 医療関連英語：症状		
	授業内容	1. 睡眠に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 睡眠に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 「内容語」と「機能語」のリズムに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 3 Why Are Bug Bites Dangerous トピック：ウィルス感染 Listening Tips：機能語andの音変化 Reading Activity：Unfamiliar Infectious Disease Communication：Summer review / Medical matters 医療関連英語：症状		
	授業内容	1. ウィルス感染に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. ウィルスに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 機能語andの音変化に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月27日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 4 What Kind of Bacteria Can Be Found in the Great Barrier Reef? トピック：バクテリア Listening Tips：音の融合同化 Reading Activity：The Risk of Eating Sea Food Communication：Summer review / Medical matters 医療関連英語：症状		
	授業内容	1. バクテリアに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. バクテリアに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 音の融合同化に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病気の症状に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月03日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 5 How Much Caffeine Can We Take?
 トピック：カフェインの大量摂取
 Listening Tips：音の連結
 Reading Activity：Caffeine Intake and Sleepless problems
 Communication：Meeting patients / directions within a hospital
 医療関連英語：病名

授業内容
 1. カフェインの大量摂取に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
 2. カフェインの大量摂取に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
 3. 音の連結に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
 (予習時間30分、復習時間30分)

7	年月日(曜日)	令和 7年11月10日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 6 How Does the Love Hormone Oxytocin Work to Improve Relationship? トピック：ホルモン Listening Tips：音の脱落 Reading Activity：Love and the Brain Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. ホルモンに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. ホルモンに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 音の脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月17日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 7 What Can Happen When You' re Too Clean? トピック：衛生 Listening Tips：音の同化、連結、脱落 Reading Activity：Adequate Hygiene Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. 衛生に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 衛生に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 音の同化、連結、脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 8 Does Gender Affect Cancer Susceptibility? トピック：癌とジェンダー Listening Tips：h音の脱落 Reading Activity：Gender Differences in Cancer Susceptibility Communication：Meeting patients / directions within a hospital 医療関連英語：病名		
	授業内容	1. 癌とジェンダーに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 癌とジェンダーに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. H音の脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 病名に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 9 Why Do many of Us Develop Fear of heights with Age?
 トピック：恐怖症
 Listening Tips：同化、連結、脱落
 Reading Activity：Perception and Fear of Heights
 Communication：Interview in English
 医療関連英語：医療器具類

授業内容
 1. 恐怖症に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。
 2. 恐怖症に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。
 3. 音の同化、連結、脱落に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。
 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。
 (予習時間30分、復習時間30分)

11	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 10 What Are the dangers of a Sweltering Summer? トピック：熱中症、夏バテ Listening Tips：-ingの発音されない音 Reading Activity：Excessive Heat Can Be Dangerous Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	1. 熱中症、夏バテに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 熱中症、夏バテに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. -ingの発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

12	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 11 Which Makes a Better Athlete, Being a Night Owl or an Early Bird? トピック：睡眠と活動 Listening Tips：/t/と発音されないt Reading Activity：Your Biological Clock Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	1. 睡眠と活動に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 睡眠と活動に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. /t/と発音されないtに注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

13	年月日(曜日)	令和 8年01月05日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	Unit 12 How Better to Release Your Stress? トピック：ストレス Listening Tips：英語らしい発音(1) Reading Activity：Silent Killer Communication：Interview in English 医療関連英語：医療器具類		
	授業内容	1. ストレスに関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. ストレスに関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 英語らしい発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

14	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ			

Unit 13 What Are the Differences between Real and Robotic Pets? トピック：高齢化社会 Listening Tips：英語らしい発音(2) Reading Activity：Live Happily with Pets 医療関連英語：医療器具類				
授業内容		1. 高齢化社会に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で聞き取ることができる。 2. 高齢化社会に関する英文を読み大意を日本語で説明できる、要約文を英語で書ける。 3. 英語らしい発音に注意を払って聞き取ることができる、発話することができる。 4. 医療器具、装置に関する英語表現を日本語で答えられる、日本語を英語で表現できる、英語で発話できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	2限
	講義室	C405・C406・C407・C408・C409		
	担当者	上滝・青木・尼子・オニヤヌシ		
	テーマ	第1回から第14回までのまとめ		
	授業内容	1. 第1回から第14回までの学習内容を振り返り、身についたこと、理解できていない点を確認する (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 後期定期試験内での筆記試験 2. 授業への出席状況、授業内の練習状況 3. 授業内の小テスト、レポートなどの課題(課題の内容に応じて添削や採点を行ったうえで返却する) 4. 再試験の有無：有		
教科書		1. 『Good Health, Better Life』西原俊明、西原真弓、Pino Cutrone：金星堂 2. プリント教材(医療英語やコミュニケーション英語を含む)		
参考書		1. マーク ピーターセン『日本人の英語』岩波書店 1988年 2. 里中哲彦『英文法の魅力』中央公論新社 2012年 3. 永本義弘『冠詞と基本動詞がわかれば、英語がわかる』南雲堂 2012年		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【上滝】 オフィスアワー：月曜日12:10-13:10 上記時間帯での訪問が難しい場合は、Eメールにてアポイントメントを取ること。 Eメール：kamitaki@saitama-med.ac.jp		
履修上の注意、履修要件		予習については、教材をよく読んで、分からない箇所をまとめておく。復習については、間違えた箇所をもう一度自分で確認・整理して、それでも理解できない箇所は次の授業で質問できるようにまとめておくこと。		

講義名	ドイツ語		
(副題)	生活している人間の理解（外国語）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ Markus Alexander Heinrich Freiherr von Freyberg	非常勤教員（大学外部）

担当教員	マルクス・フォン・フライベルク
科目の目標	この授業では、ドイツ語の基礎文法と旅行中に使える簡単な会話のバリエーションを学びながら、EU圏の牽引役とも言えるドイツの言語と文化についての理解を深めていきます。 ドイツ語圏に生活する人々の日常や四季折々のイベント事などについての知識も語学を学びながら修得できます。
学習の具体的な目標	①ドイツ語で簡単な日常会話を行える。 ②ドイツ語の平易な文章が読めるようになる。 ③ドイツ語圏の文化の特徴を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語圏の重要都市を地図で紹介 ドイツ語のアルファベットと発音		
	授業内容	・ドイツ語のアルファベットを発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	ドイツ語での挨拶と自己紹介		
	授業内容	・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		

テーマ	食事・買い物 1			
授業内容	・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 ・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	食事・買い物 2		
	授業内容	・注意すべき母音の綴りを正しく発音できる。 ・注意すべき子音の綴りを正しく発音できる。 ・ドイツ語で一人で買い物ができるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	レストランにて		
	授業内容	・ドイツ語で一人でレストランでの注文と支払いができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で 1		
	授業内容	・現地で一人で街を歩くことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	町中で 2		
	授業内容	・現地で一人で街を歩くことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業 1		
	授業内容	・職業をドイツ語で説明できるようになる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	職業 2		
	授業内容	・職業についてドイツ語で質問することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	衣服		
	授業内容	・ドイツ語で衣服について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	1限
	講義室	C406		

担当者	マルクス			
テーマ	色			
授業内容	・ドイツ語で色について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
12	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	身体		
	授業内容	・ドイツ語で体の各部分について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月22日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	健康		
	授業内容	・ドイツ語で健康状態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	1限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	病気		
	授業内容	・ドイツ語で具合の悪い部分や症状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月29日(火)	時限	4限
	講義室	C406		
	担当者	マルクス		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	・14回の授業で学んだことを復習する。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	授業への貢献度（50％）、最終授業時のテスト（50％）で総合的に評価します。
教科書	授業毎に、内容に沿った資料を配布します。
参考書	アクセス独和辞典(三修社) アポロン独和辞典(同学社) クラウン独和辞典(三省堂) キャンパス独和辞典(同学社)
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問や相談などは、授業前後に教室にて受け付けます。
履修上の注意、履修要件	この授業では各回の復習が重要になります。 この演習は主に語学力を培うための授業ですが、言語は諸外国の文化に触れるための重要なツールであることを意識してもらえればと思います。ドイツに限らず、諸外国の文化や生活・風土に興味関心のある学生の受講を期待しています。 また、演習形式の授業ということもありますので、疑問・質問などについて積極的な発言を期待しています。

講義名	看護におけるコミュニケーション論		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師/養護教諭	◎ 大賀 淳子	看護学科教員

担当教員	大賀 淳子・山崎美智子
科目の目標	対人的援助に従事する看護職者は、自分自身を媒体として対象と関わりをもち看護援助につなげる。その過程においてコミュニケーションは重要な役割を果たしている。本科目では、看護におけるコミュニケーションの意義について理解し、コミュニケーション能力を高めていくための基本的スキルを修得する。
学習の具体的な目標	1) コミュニケーションについて説明できる。 2) 看護者がコミュニケーションについて学ぶ意味を説明できる。 3) さまざまなコミュニケーションの手段と意味について説明できる。 4) 自己のコミュニケーション能力を向上させるために必要なスキルについて説明できる。 5) 日常生活において、さまざまなコミュニケーション手段を活用することができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	オリエンテーション		
	授業内容	1. 本科目の目標、各回のテーマについて説明することができる。 2. 各回の進め方（講義、エクササイズ、グループディスカッション、発表、個人レポート作成）について説明することができる。 3. エクササイズを通してグループメンバーを知り、メンバーを他者に紹介することができる。 4. 本科目における自身の抱負を述べることができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	コミュニケーションとは		
	授業内容			

1. 講義を受けて、コミュニケーションの役割、手段、方法について説明することができる。
 2. エクササイズを通して、いつもより困難な条件でのコミュニケーションを体験することができる。
 3. ディスカッションを通して、エクササイズで工夫したこと、その成果について考えることができる。
 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。
 5. 演習での学びを述べることができる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	ミスコミュニケーションはなぜ起こるのか		
	授業内容	1. エクササイズを通して、ミスコミュニケーションがなぜおこるのか、体験することができる。 2. ディスカッションをととして、正しく情報をやりとりするための留意点について考えることができる。 3. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 4. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	情報を正確に伝える		
	授業内容	1. 前回の学びを、本日のエクササイズに活かすことができる。 2. エクササイズを通して、情報を伝え、受け止める体験をすることができる。 3. ディスカッションで、情報を正しく伝えるために必要なことについて考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	聴くということ		
	授業内容	1. 講義を受けて、コミュニケーションにおける「聴く」行動の意味について説明することができる。 2. エクササイズを通して、複数の聞き方で聞く、聞いてもらう、両方の立場を体験することができる。 3. ディスカッションを通して、どのように表現したら相手に「聴く姿勢」が伝わるか、考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	話すということ		
	授業内容	1. 講義を受けて、コミュニケーションにおける「話す」行動の意味、「相手にとどく話し方」について説明することができる。 3. エクササイズで、自身の話しぶりをグループメンバーに聞いてもらう体験をする。 4. ディスカッションを通して、自身の話し方についての今後の課題について考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	第一印象と思い込み		
	授業内容	1. エクササイズを通して、第一印象がどのようにつくられるのか、考えることができる。 2. ディスカッションを通して、身近にある思い込みと、それがコミュニケーションに及ぼす影響について考えることができる。 3. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 3. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		

担当者	大賀・山崎			
テーマ	価値観の相違			
授業内容	1. 講義を受けて、価値観とは何か、説明することができる。 2. エクササイズを通して、メンバーの価値観に相違があることを知ることができる。 3. ディスカッションを通して、価値観の違う者同士がコミュニケーションを図る際に考慮すべきことについて考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
9	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	集団による意思決定		
	授業内容	1. 講義を受けて、集団による意思決定方法のひとつであるコンセンサス法について説明することができる。 2. エクササイズを通して、コンセンサス法を用いたグループの意思決定を体験することができる。 3. ディスカッションを通して、コンセンサス法のメリット、デメリットについて考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	相手を活かすコミュニケーション		
	授業内容	1. 講義を受けて、人の基本的構え(4つの分類)を説明することができる。 2. エクササイズを通して、周りの人および自己に対する肯定的な構えを強化することができる。 3. ディスカッションを通して、相手を活かすコミュニケーションにおける留意事項について考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	アサーション・トレーニング		
	授業内容	1. 講義を通して、アサーティブなコミュニケーションとは何か、看護師がアサーティブなコミュニケーションをとることの意義について説明することができる。 2. エクササイズを通して、3つのタイプのコミュニケーション(アグレッシブ、ノンアサーティブ、アサーティブ)を体験する。 3. ディスカッションを通して、アサーティブなコミュニケーションを目指しての自分たちの課題について考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	共感		
	授業内容	1. 講義を受けて、人を理解する4つの方法、共感について説明することができる。 2. エクササイズを通して、「相手の気持ちを受け止め、言葉に置き換えて、気持ちをこめて返す」体験をすることができる。 3. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 4. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	効果的な指示の出し方		
	授業内容			

1. 講義を受けて、相手の自立度に応じて指示の出し方が異なることを説明することができる。
2. エクササイズを通して、指示を出す側、受ける側、両方の立場を体験することができる。
3. ディスカッションを通して、効果的な指示の出し方に関する自身の課題について考えることができる。
4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。
5. 演習での学びを述べることができる。
(予習時間30分、復習時間30分)

14	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	タッチング		
	授業内容	1. 講義を受けて、看護におけるタッチングの目的、方法、効果、留意点を説明することができる。 2. エクササイズを通して、タッチングをする側、される側、両方の立場を体験することができる。 3. ディスカッションを通して、タッチングの効果、留意点について考えることができる。 4. 他グループの発表を聞いて、学びを深めることができる。 5. 演習での学びを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	大賀・山崎		
	テーマ	看護現場でのコミュニケーション		
	授業内容	1. 講義を受けて、ケースに応じたコミュニケーションのポイントを説明することができる。 2. エクササイズを通して、患者・家族の状況にあわせたコミュニケーションについて考えることができる。 3. 他グループの発表を聞き、学びを深めることができる。 4. 初回に書いた抱負を読み返し、現在の自身の到達点を評価して、今後の課題を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	出席状況、授業態度、毎時間毎のレポートと最終レポートで総合的に評価する。
教科書	毎回プリントを配布
参考書	看護コミュニケーション 基礎知識と実際、福沢 周亮 他 編著、教育出版 仲間とみがく看護のコミュニケーション・センス、大森武子他著、医歯薬出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【大賀】 火曜日3・4限 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email : ogaju@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日までに参考書等で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習終了後はレポートを提出すること。演習終了後のレポートは、原則、授業当日の17:00までに提出し、翌週の授業時に返却します。 「看護におけるコミュニケーション論」は、看護の目標を達成するための基本となるものです。したがって、知識を実践に生かすことが重要です。日常生活における自分と他者とのかわりを思い出しながら授業を受けてください。

講義名	医療の基本 I		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	2限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 辻 美隆	共通教育部門教員

担当教員	辻 美隆・嶋崎 晴雄・大野美佐子・是村 利幸
科目の目標	豊かな人間性と社会性を備え、患者さんの視点で痛みや苦しみをとらえられる医療人となるために、医学や医療の抱える様々な倫理的問題を、自ら考え、理解するとともに、医療人としての適正な倫理観のもとに、病める人の気持ちを理解し共感できる素地を修得する。
学習の具体的な目標	1) 医学・医療に関連する倫理的問題を分類し、概説できる。 2) ジュネーブ宣言、医の倫理の国際綱領、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、看護者の倫理綱領、インフォームド・コンセント、ターミナルケア、緩和医療、尊厳死と安楽死、医学研究と動物愛護について説明できる。 3) 移植医療、再生医療、生殖医療、妊娠中絶、出生前遺伝子診断、出生前胎児治療、遺伝子組み換え作物、遠隔医療、乗り物内での救急患者への対応、性転換医療の利点と欠点を列举し、これらの医療・技術に関する自分の考えを述べるができる。 4) 患者さんと医療人とが良好な関係を構築することの意義を説明できる。 5) 患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびそれへの対応について説明できる。 各主題について、グループワークののちプレゼンテーションを行いお互いに評価する。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係1：良い医療人と悪い医療人1		
	授業内容	1. まず教室で今回のテーマとKJ法について説明する。 2. ついで、学生を5-6名の16グループに分ける。 3. 各自がこれまでに見聞きした「良い医療人」と「悪い医療人」についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成するとともに、「理想の医療人とは」を箇条書きにする。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係2：良い医療人と悪い医療人2		

授業内容		1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、患者さんと医療人との好ましい関係について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係3: 医療人の話		
	授業内容	1. 看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士および薬剤師の現役医療人各1名ずつを招聘し、各職場における患者さんとのかかわりとその失敗例、困った患者さんへの対応などについて、講演と質疑応答を行う。 2. これらの事例を通して、患者さんと医療人との好ましい関係について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係4: 無口になったAさん1		
	授業内容	1. まず教室で今回のテーマについて説明する。 2. ついで、学生を5-6名の16グループに分ける。 3. Aさんの事例における問題点とその解決策についてKJ法を用いて討論し、各グループでプロダクトを作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	2限
	講義室	C401		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係5: 無口になったAさん2		
	授業内容	1. 各グループ5分の持ち時間でプロダクトを発表した上で、全体討論を行う。 2. この作業を通じて、患者さんと医療人との関係に破綻を招く種々の要因およびその対応について考える。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	患者 - 医療人関係6: まとめ/医の倫理1: オリエンテーション		
	授業内容	1. 患者さんー医療人関係についての振りかえり、まとめ 2. 医の倫理(医療倫理)、臨床倫理、医学研究の倫理および生命倫理の名称を整理し、各々のカテゴリーで探求される様々な項目について概説する。 3. ヒポクラテスの誓い、ナイチンゲール誓詞とジュネーブ宣言とを対比して、医療人に求められる態度・行動規範について考える。 4. みやすい発表用資料(パワーポイント)、配布用資料(ハンドアウト)の作成について解説する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理2: 情報収集		
	授業内容	1. 学生を16グループに分ける。 2. 医の倫理の国際綱領、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、看護師の倫理綱領、インフォームド・コンセント、ターミナルケア、緩和医療、尊厳死と安楽死、医学研究と動物愛護についてグループごとに担当し、その背景、内容とその意味、現時点での問題点などについて情報収集と整理・分析を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理3: 情報収集・資料作成		
	授業内容	1. 得られた情報を整理統合してハンドアウト(ワード・ファイル)を作成し、それをもとに発表用資料を作成する。 * 完成したハンドアウトを、11月22日(土)までに、辻宛てにメールに添付して提出する。 (携帯への転送処理が済んでいれば、着いたかどうか確認メールを送ります) (予習時間30分、復習時間30分)		

9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理4：発表1		
	授業内容	1. ハンドアウトの配布 2. 4-5グループが、それぞれ10分の持ち時間で発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理5：発表2		
	授業内容	1. 残りのグループも同様に発表、討論を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理6：発表3/情報収集		
	授業内容	1. 残りのグループも同様に発表、討論を行う。 2. 学 生を16グループに分ける。 3. 移植医療、再生医療、生殖医療、妊娠中絶、性転換医療、出生前遺伝子診断、出生前胎児治療、遺伝子組み換え作物(生物)、遠隔医療、乗り物内での救急患者への対応について、グループごとに、その背景、内容とその意味、現時点での問題点などについて情報収集と整理・分析を行う。 4. 得られた情報を整理統合して、配布用のハンドアウトを作成する。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理7：情報収集・資料作成		
	授業内容	1. ハンドアウトを参照しながら、発表用のパワーポイントを作成する。 *ハンドアウトは12月22日(月)までに辻宛てに提出 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理8：発表1		
	授業内容	1. ハンドアウトの配布 2. 4-5グループが、それぞれ10分の持ち時間で発表し、全体討論を通じてこれらの問題に対する理解を深める。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理9：発表2		
	授業内容	1. 残りのグループも同様に発表、討論を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	辻・嶋崎・大野・是村		
	テーマ	医の倫理10：発表3		
	授業内容	1. 残りのグループも同様に発表、討論を行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 定期試験（MCQ）の成績、出席状況などをもって総合的に評価する。作成したプロダクトおよび発表については、学生による同僚評価も実施し、評価の集計をフィードバックする。なお、授業回数の4/5以上に出席しなければ不合格となる。（遅刻は0.5回相当） 2. 再試験：なし
教科書	プリント教材を適宜配布する。
参考書	なし
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【辻 美隆】 月曜・水曜・木曜の12：15～13：00、 木曜・金曜の17：00～18：00 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 メールによる質問等は随時受け付けます。 メールアドレス：ytsuji@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日にはシラバスの該当部分を確認し、記載されたテーマについて図書館やインターネットで予習、また授業後には自ら調べた資料の整理・分析、発表用資料の構成検討、発表の練習などを怠らないこと。

講義名	看護学生のためのリテラシー		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（医療と人間）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 関根 由紀子	看護学科教員

担当教員	関根由紀子・千田みゆき・金子 優子
科目の目標	看護学科の学生として4年間の学修生活を意義あるものとするため、自ら学び、根拠に基づき論理的に思考する態度を身につけるとともに、看護に関連する各科目を学ぶ上で必要とされる基本的な知識と技能を修得する。具体的には、専門職としての成長に必要な自己洞察、生涯学習、援助的コミュニケーション、根拠に基づいた看護の重要性を学び、看護実践の根拠となる情報の検索方法、看護実践に必要な数学と理科の応用、論理的記述の方法について学修する。
学習の具体的な目標	授業形態：グループワーク、発表、ディスカッション、ディベート 1. 成人の学習の特徴を述べ、自己洞察と生涯学習を続けることの意義を説明できる。 2. 他者の意見を聞き、立場を理解し、かつ自分の意見をわかりやすく述べることができる。 3. 論理的な思考をもとに根拠に基づいた看護を実践することの意義を説明できる。 4. 医療関連の文献や統計資料の検索方法を説明できる。 5. 数学や理科の知識を応用し、輸液量や速度、輸液中の薬物濃度などを演算し説明できる。 6. レポートや論文の定型的な構成を述べ、作成上の留意点を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	看護に必要な基礎的知識と学習方法：看護学の学び方、計算力・国語力の基礎		
	授業内容	1. 看護学の学習形態（講義、演習、実習）を説明できる。 2. 授業の受け方、資料の活用方法、課題の提出方法、グループワークやシミュレーション学習の留意点を説明できる。 3. 計算力、国語力等の基礎的知識が適切な看護実践につながることを説明できる。（小テスト） （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	看護に必要な数学と理科(1) 単位とグラフ		
	授業内容			

1. 国際基本単位と単位の接頭語について説明できる。
2. 基本単位と実用的な単位の換算について説明できる。
3. 看護に関係の深い表やグラフの書き方や読み方を説明できる。(課題)
(予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	千田・関根		
	テーマ	看護の心		
	授業内容	1. ナイチンゲール等看護の先達の言葉から、看護の心について自己の考えを深め、自身の看護観を述べる ことができる。 2. 看護学科の3ポリシーとカリキュラムマップを理解し、看護学生としての望ましい学習態度を述べる ことができる。(ポートフォリオ) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	成人学習理論と主体的学びの重要性		
	授業内容	1. 学習者の捉え方であるアンドラゴジーとペタゴジーについて説明できる。 2. 社会人基礎力を理解し、成人学習者として看護学を主体的に学ぶ姿勢について説明できる。 3. 学士力を理解し、大学で看護を学ぶことの意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	自己洞察と生涯学習の意義		
	授業内容	1. 看護職の職業的アイデンティティと看護学生のアイデンティティについて説明できる。 2. 看護専門職者が自己洞察により自己の課題を把握し、生涯学び続けることの意味について説明でき る。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	援助的コミュニケーション(1) 言葉と態度		
	授業内容	1. 倫理観を基盤に援助的人間関係を築くことの意味を説明できる。 2. 援助的関係を築くために必要な看護専門職者におけるコミュニケーション能力の重要性について説 明できる。 3. 看護の対象が多様な背景を持つことを理解し、看護の対象者を安心させる挨拶・言葉遣い(敬語含 む)や態度を適切に行うことができる。(ロールプレイ) (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	千田・関根		
	テーマ	援助的コミュニケーション(2) ICTの使い方と手紙の書き方		
	授業内容	1. 倫理観に基づくICTの使い方、ネットリテラシーの重要性を述べる ことができる。 2. 用途に応じた手紙の書き方を学び、自己の考えや気持ちを手紙として表現することができる。(課 題) (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	文献や統計資料の検索と活用		
	授業内容	1. 科学的根拠となる文献や統計資料の探し方を説明できる。 2. 文献や統計資料の活用方法と引用方法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	4限
	講義室	C402		

担当者	千田・関根			
テーマ	レポートの構成と書き方			
授業内容	1. レポートの定型的な構成と、作成上の留意点を述べることができる。 2. 作成上の留意点に沿って、文章を校正することができる。(課題) (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	千田・関根		
	テーマ	論文の構成と研究倫理		
	授業内容	1. 研究論文の構成と作成上の留意点を説明できる。 2. 研究における倫理的配慮について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	看護に必要な数学と理科(2) 知識と応用		
	授業内容	1. 濃度について説明できる。 2. 圧力について説明できる。 3. 輸液量や速度、輸液中の薬物濃度の計算ができる。 4. 酸素ポンベの残量の計算ができる。(小テスト) (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	看護に必要な数学と理科(3) 図表の読み取りとグラフの作成		
	授業内容	1. 看護に関係の深い統計資料(表やグラフ)を読み取り、意味を説明できる。 2. 看護に関係の深いデータをもとに、グラフを作成できる。(課題、小テスト) (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	看護における論理的思考と根拠の重要性(1) ディベートの資料作成		
	授業内容	1. 科学における論理的思考、批判的思考の重要性を説明できる。 2. 根拠に基づいた看護を実践することの重要性を説明できる。 3. 自己の考え・思考の根拠となる資料を集め、整理することができる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	看護における論理的思考と根拠の重要性(2) ディベート		
	授業内容	1. 他者に耳を傾け、自己の意見を資料を用いて論理的にわかりやすく説明できる。(ディベート) (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	関根・千田		
	テーマ	自己成長のためのディスカッション		
	授業内容	1. これまでの学習を振り返って、学習目標の達成度や学んだことについて話し合うことができる。 (グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション) 2. 「今の私、4年後の私、そのために学びたいこと」について発表し、レポートを作成することができる。(課題) (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		定期試験、課題を含むポートフォリオ、授業中の小テストやレポート、授業態度を総合的に評価する。		
教科書		看護に必要なやりなおし数学・物理、時政孝行、照林社、2013.		

参考書	看護学生のためのレポート書き方教室、江原勝幸、照林社、2015. 1日20分10日のできる看護計算ドリル 第2版、菊池よしこ、照林社、2018. 看護に必要なやりの生物・化学、時政孝行、照林社、2013.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【関根】 月曜日16：30～17：30 上記の時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail：sekiney@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	シラバスを見て予習し、授業内での小テストや課題を復習してください。配布資料、授業中の小テスト、課題等は最後にポートフォリオとして、ファイルに綴じて提出します。綴じ方は、授業内での指示に従ってください。課題はコメントをつけて返却するので、提出期限は厳守のこと。授業は、主にグループワークをしながら進めるので、欠席をしないでください。

講義名	人体の構造と機能 I		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 金子 優子	看護学科教員

担当教員	金子 優子・藤原 智徳・山岸 敏之・小野 公嗣・山本 梓司
科目の目標	「人体の構造と機能」はヒトの体が正常ではどうできていてどう働くのかを理解することを目的とする。この学問は将来、看護師として「病む」ということに向き合う際の知的基盤、および今後学ぶさまざまな看護・医療行為の科学的根拠を理解する基盤を形成する。「人体の構造と機能I」では、まず物理・化学の法則が支配する自然界とその中で生きるヒトについて概観し、次いでヒトの細胞・組織・器官、皮膚と膜、骨格系、筋系と神経系についての基礎的知識を修得する。
学習の具体的な目標	以下の項目の幾つかについては実習・演習授業も行う。 1) ヒトの細胞と組織の基本的構造と機能について説明できる。 2) 体液との関連で、酸とアルカリ、浸透圧、イオンと電荷について説明できる。（実習・演習授業含む） 3) ホメオスタシスと負のフィードバックについて説明できる。 4) 皮膚と体内の膜について構造と働きを説明できる。 5) 主要な骨格をあげ、その働きを説明できる。（実習・演習授業含む） 6) 主要な筋をあげ、その働きを説明できる。 7) ヒトが感じ運動する仕組みを神経系の働きから概説できる。（実習・演習授業含む） 8) 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 9) 筋が収縮する仕組みを説明できる。

授業計画表				
人体A1班				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 1. 人体の成り立ち（1章、巻末資料）		
	授業内容	1. 人体の階層性を説明できる。 2. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 3. 生体内部環境の恒常性（ホメオスタシス）を保つ機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C402		

担当者	山岸			
テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 2. 細胞と組織（1章、巻末資料）			
授業内容	1. 細胞の基本的構造を説明できる。 2. 細胞－組織－器官－系の関係を説明できる。 3. 上皮組織、支持結合組織、筋組織、神経組織を説明できる。 4. 漿膜と粘膜の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年04月16日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 3. 浸透圧、細胞膜を通過する輸送（1章、巻末資料）		
	授業内容	1. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 2. 細胞膜を通過する輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年04月21日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系（構造と機能1） 骨の構造と関節（7章、11章）		
	授業内容	1. 骨の基本的構造と機能を説明できる。 2. 骨の発生と成長・再生について説明できる。 3. 関節の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系（構造と機能2） 全身の骨格（7章、11章）		
	授業内容	1. 脊柱を構成する骨格を説明できる。 2. 胸郭、骨盤を構成する骨格を説明できる。 3. 上肢・下肢を構成する骨格を説明できる。 4. 頭部を構成する骨格を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年04月23日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋・神経系概論（1章、7章、8章A）		
	授業内容	1. 神経細胞（ニューロン）と筋細胞の働きを説明できる。 2. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 3. 自分の意志で手足を動かすときの脳から筋に至る情報の流れの概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年04月28日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系（機能1）筋の働き1（7章）		
	授業内容	1. 筋の働きを説明できる。 2. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 3. 神経と筋の接合部における電気現象や伝達物質を説明できる。 4. 筋収縮のメカニズムをミクロな構造に基づいて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年04月30日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	筋系（構造）骨格筋の構造（7章、11章）		

授業内容		1. 骨格筋の構造を説明できる。 2. 身体のいろいろな動作と筋の呼称について説明できる。 3. 頭部の筋を説明できる。 4. 体幹と頸部の筋を説明できる。 5. 上肢の筋を説明できる。 6. 下肢の筋を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系(機能2)筋の働き2(7章)		
	授業内容	1. 筋の活動と筋電図の関連について説明できる。 2. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 3. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造実習：骨格をみる		
	授業内容	1. 全身の骨を同定し、名称を述べることができる。 2. 関節の構造を説明できる。 3. 関節を構成し、筋の作用により生じる動作をしらべ、それを自分の体に想定して説明できる。 4. 体表から触知できる骨の部位の名称を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	外皮系(9章A)		
	授業内容	1. 皮膚の構造と機能を説明できる。 2. 皮膚の付属器の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：半透膜		
	授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 4. 輸液の浸透圧濃度について説明できる。 5. 膜電位の発生について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅰ：まとめ		

授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅰ」で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)
------	---

人体A2班

1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 1. 人体の成り立ち (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. 人体の階層性を説明できる。 2. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 3. 生体内部環境の恒常性 (ホメオスタシス) を保つ機構について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 2. 細胞と組織 (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. 細胞の基本的構造を説明できる。 2. 細胞－組織－器官－系一系の関係を説明できる。 3. 上皮組織、支持結合組織、筋組織、神経組織を説明できる。 4. 漿膜と粘膜の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 3. 浸透圧、細胞膜を通過する輸送 (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 2. 細胞膜を通過する輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系 (構造と機能1) 骨の構造と関節 (7章、11章)		
	授業内容	1. 骨の基本的構造と機能を説明できる。 2. 骨の発生と成長・再生について説明できる。 3. 関節の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系 (構造と機能2) 全身の骨格 (7章、11章)		
	授業内容	1. 脊柱を構成する骨格を説明できる。 2. 胸郭、骨盤を構成する骨格を説明できる。 3. 上肢・下肢を構成する骨格を説明できる。 4. 頭部を構成する骨格を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋・神経系概論 (1章、7章、8章A)		
	授業内容			

1. 神経細胞（ニューロン）と筋細胞の働きを説明できる。
2. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。
3. 自分の意志で手足を動かすときの脳から筋に至る情報の流れの概要を説明できる。
（予習時間30分、復習時間30分）

7	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系（機能1）筋の働き1（7章）		
	授業内容	1. 筋の働きを説明できる。 2. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 3. 神経と筋の接合部における電気現象や伝達物質を説明できる。 4. 筋収縮のメカニズムをミクロな構造に基づいて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	筋系（構造）骨格筋の構造（7章、11章）		
	授業内容	1. 骨格筋の構造を説明できる。 2. 身体のいろいろな動作と筋の呼称について説明できる。 3. 頭部の筋を説明できる。 4. 体幹と頸部の筋を説明できる。 5. 上肢の筋を説明できる。 6. 下肢の筋を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系（機能2）筋の働き2（7章）		
	授業内容	1. 筋の活動と筋電図の関連について説明できる。 2. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 3. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造実習：骨格をみる		
	授業内容	1. 全身の骨を同定し、名称を述べるができる。 2. 関節の構造を説明できる。 3. 関節を構成し、筋の作用により生じる動作をしらべ、それを自分の体に想定して説明できる。 4. 体表から触知できる骨の部位の名称を述べるができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	外皮系（9章A）		
	授業内容	1. 皮膚の構造と機能を説明できる。 2. 皮膚の付属器の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		

テーマ	機能実習：半透膜			
授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 4. 輸液の浸透圧濃度について説明できる。 5. 膜電位の発生について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
14	年月日(曜日)	令和 7年05月16日(金)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅰ：まとめ		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅰ」で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体B1班

1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 1. 人体の成り立ち (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. 人体の階層性を説明できる。 2. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 3. 生体内部環境の恒常性 (ホメオスタシス) を保つ機構について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 2. 細胞と組織 (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. 細胞の基本的構造を説明できる。 2. 細胞－組織－器官－系の関係を説明できる。 3. 上皮組織、支持結合組織、筋組織、神経組織を説明できる。 4. 漿膜と粘膜の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識 3. 浸透圧、細胞膜を通過する輸送 (1章、巻末資料)		
	授業内容	1. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 2. 細胞膜を通過する輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系 (構造と機能1) 骨の構造と関節 (7章、11章)		
	授業内容			

1. 骨の基本的構造と機能を説明できる。
 2. 骨の発生と成長・再生について説明できる。
 3. 関節の構造を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

5	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系(構造と機能2) 全身の骨格(7章、11章)		
	授業内容	1. 脊柱を構成する骨格を説明できる。 2. 胸郭、骨盤を構成する骨格を説明できる。 3. 上肢・下肢を構成する骨格を説明できる。 4. 頭部を構成する骨格を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋・神経系概論(1章、7章、8章A)		
	授業内容	1. 神経細胞(ニューロン)と筋細胞の働きを説明できる。 2. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 3. 自分の意志で手足を動かすときの脳から筋に至る情報の流れの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系(機能1)筋の働き1(7章)		
	授業内容	1. 筋の働きを説明できる。 2. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 3. 神経と筋の接合部における電気現象や伝達物質を説明できる。 4. 筋収縮のメカニズムをミクロな構造に基づいて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	筋系(構造)骨格筋の構造(7章、11章)		
	授業内容	1. 骨格筋の構造を説明できる。 2. 身体のいろいろな動作と筋の呼称について説明できる。 3. 頭部の筋を説明できる。 4. 体幹と頸部の筋を説明できる。 5. 上肢の筋を説明できる。 6. 下肢の筋を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系(機能2)筋の働き2(7章)		
	授業内容	1. 筋の活動と筋電図の関連について説明できる。 2. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 3. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習: 半透膜		
	授業内容			

1. 半透膜の性質について説明できる。
 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。
 3. 浸透圧について説明できる。
 4. 輸液の浸透圧濃度について説明できる。
 5. 膜電位の発生について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

11	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	外皮系(9章A)		
	授業内容	1. 皮膚の構造と機能を説明できる。 2. 皮膚の付属器の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造実習：骨格をみる		
	授業内容	1. 全身の骨を同定し、名称を述べるができる。 2. 関節の構造を説明できる。 3. 関節を構成し、筋の作用により生じる動作をしらべ、それを自分の体に想定して説明できる。 4. 体表から触知できる骨の部位の名称を述べるができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅰ：まとめ		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅰ」で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体B2班

1	年月日(曜日)	令和 7年04月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識1. 人体の成り立ち(1章、巻末資料)		
	授業内容	1. 人体の階層性を説明できる。 2. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 3. 生体内部環境の恒常性(ホメオスタシス)を保つ機構について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識2. 細胞と組織(1章、巻末資料)		

授業内容		1. 細胞の基本的構造を説明できる。 2. 細胞－組織－器官－系の関係を説明できる。 3. 上皮組織、支持結合組織、筋組織、神経組織を説明できる。 4. 漿膜と粘膜の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能を学ぶための基礎知識3. 浸透圧、細胞膜を通過する輸送(1章、巻末資料)		
	授業内容	1. ヒトが生命を維持するために必要な機能や物質、環境について説明できる。 2. 細胞膜を通過する輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系(構造と機能1) 骨の構造と関節(7章、11章)		
	授業内容	1. 骨の基本的構造と機能を説明できる。 2. 骨の発生と成長・再生について説明できる。 3. 関節の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	骨格系(構造と機能2) 全身の骨格(7章、11章)		
	授業内容	1. 脊柱を構成する骨格を説明できる。 2. 胸郭、骨盤を構成する骨格を説明できる。 3. 上肢・下肢を構成する骨格を説明できる。 4. 頭部を構成する骨格を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋・神経系概論(1章、7章、8章A)		
	授業内容	1. 神経細胞(ニューロン)と筋細胞の働きを説明できる。 2. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 3. 自分の意志で手足を動かすときの脳から筋に至る情報の流れの概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年04月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系(機能1) 筋の働き1(7章)		
	授業内容	1. 筋の働きを説明できる。 2. 骨格筋、平滑筋、心筋の働きの特徴について説明できる。 3. 神経と筋の接合部における電気現象や伝達物質を説明できる。 4. 筋収縮のメカニズムをミクロな構造に基づいて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	筋系(構造) 骨格筋の構造(7章、11章)		
	授業内容			

1. 骨格筋の構造を説明できる。 2. 身体のいろいろな動作と筋の呼称について説明できる。 3. 頭部の筋を説明できる。 4. 体幹と頸部の筋を説明できる。 5. 上肢の筋を説明できる。 6. 下肢の筋を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
9	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	筋系(機能2)筋の働き2(7章)		
	授業内容	1. 筋の活動と筋電図の関連について説明できる。 2. 筋収縮のエネルギーについて説明できる。 3. 等尺性収縮と等張性収縮の違いを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習: 半透膜		
	授業内容	1. 半透膜の性質について説明できる。 2. 生体膜を介した物質の輸送について説明できる。 3. 浸透圧について説明できる。 4. 輸液の浸透圧濃度について説明できる。 5. 膜電位の発生について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年05月09日(金)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月12日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	外皮系(9章A)		
	授業内容	1. 皮膚の構造と機能を説明できる。 2. 皮膚の付属器の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	3限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造実習: 骨格をみる		
	授業内容	1. 全身の骨を同定し、名称を述べることができる。 2. 関節の構造を説明できる。 3. 関節を構成し、筋の作用により生じる動作をしらべ、それを自分の体に想定して説明できる。 4. 体表から触知できる骨の部位の名称を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	4限
	講義室	B207		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅰ: まとめ		

授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅰ」で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)
評価方法	1. 期末試験（多肢選択式および論述式）を6月14日（土）に行う。その成績で評価する。 2. 期末試験の内容は、「人体の構造と機能Ⅰ」全範囲とする。 3. 期末試験不合格者については、前期の追・再試験期間に再試験を行う。ただし、再試験は1回のみとする。
教科書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能Ⅰ 第11版、坂井・岡田・宇賀著、医学書院 2. 2025年版「系統看護学講座」準拠・解剖生理学ワークブック、坂井・岡田・宇賀著、医学書院
参考書	1. トートラ人体解剖生理学 原著11版、トートラ・デリクソン著、佐伯他編訳、丸善出版 2. トートラ人体の構造と機能 第5版、トートラ・デリクソン著、桑木他編訳、丸善出版 3. 看護につなげる形態機能学 第2版、菱沼典子著、メヂカルフレンド社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 金子 優子 (yukaneko@saitama-med.ac.jp) : 火曜日の4,5限目 藤原 智徳 (tfuji@saitama-med.ac.jp) : 木曜日の3,4限目 山岸 敏之 (toshiya@saitama-med.ac.jp) : 月曜日・火曜日の12時～13時 小野 公嗣 (onok@saitama-med.ac.jp) : 月曜日・火曜日の12時～13時 山本 梓司 (shinjiy@saitama-med.ac.jp) : 水曜日の12時～13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員を訪ねて遠慮なく質問すること。授業後には教科書や参考書を確認し、学習内容の見直しを行うこと。 実習や演習の該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておくこと。また、実習や演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。レポートは実習・演習終了後、指示された期日までに提出すること。 レポートに対するフィードバック：各実習・演習のレポート提出に対しコメントを付け返却する。

講義名	人体の構造と機能Ⅱ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 金子 優子	看護学科教員

担当教員	金子 優子・藤原 智徳・山岸 敏之・小野 公嗣・山本 梓司
科目の目標	「人体の構造と機能」はヒトの体が正常ではどうできていてどう働くのかを理解することを目的とする。この学問は将来、看護師として「病む」ということに向き合う際の知的基盤、および今後学ぶさまざまな看護・医療行為の科学的根拠を理解する基盤を形成する。「人体の構造と機能II」ではヒトの筋・神経系、感覚器系、呼吸器系、内分泌系、血液とリンパ系、生体防御系についての基礎的知識を修得する。
学習の具体的な目標	以下の項目の幾つかについては実習授業も行う。 1) 神経系・筋系の情報伝達の仕組み、膜電位、活動電位、シナプス等を説明できる。(実習・演習授業含む) 2) 中枢神経系と末梢神経系の区分と機能を説明できる。 3) 感覚の生じる仕組みおよび手足を動かす仕組みを説明できる。(実習・演習授業含む) 4) 思考、記憶、学習、睡眠、感情等を起こす神経系について説明できる。 5) 交感神経と副交感神経の構造と機能について説明できる。 6) 特殊感覚器の構造について説明できる。(実習・演習授業含む) 7) 特殊感覚の生じる機構について、視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚ごとに説明できる。 8) 気道各部位の名称を列挙し、肺の構造について説明できる。(実習・演習授業含む) 9) 肺気量の意味、および肺と組織の間でのガス交換機構について説明できる。(実習・演習授業含む) 10) 呼吸運動の仕組みや呼吸中枢について説明できる。 11) 内分泌器官の構造を説明できる。(実習・演習授業含む) 12) ホルモンの作用機序および分泌調節について説明できる。 13) 血液の生成、血球の種類、その働きについて説明できる。 14) 生体防御にかかわる細胞の働きについて説明できる。 15) 免疫による生体防御の機構について説明できる。

授業計画表				
人体A1班				
1	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系（構造1） 神経組織、脳脊髄膜（8章）		
	授業内容	1. 神経組織を構成する細胞をあげ、その構造を説明できる。 2. 神経系（中枢神経系と末梢神経系）、脳と脊髄を区分できる。 3. 脳脊髄膜の構造と髄液の産生と流れについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

2	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造2) 中枢神経系の構造(8章)		
	授業内容	1. 終脳の各部の名称と構造を説明できる。 2. 間脳、脳幹(中脳・橋・延髄)、小脳の構造を説明できる。 3. 脳神経の名称と働きを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能1) 神経情報伝達(1章、8章)		
	授業内容	1. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 2. チャネルとは何か、どんな種類があるかについてイオンの流れも含めて説明できる。 3. 活動電位が軸索を伝導する仕組みを説明できる。 4. ニューロン間の情報伝達の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造3) 末梢神経系の構造(8章、6章A)		
	授業内容	1. 脊髄の構造を説明できる。 2. 脊髄神経と神経叢について説明できる。 3. 自律神経(交感神経と副交感神経)の走行を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能2) ニューロン連鎖と回路、運動系(8章)		
	授業内容	1. ニューロン間の情報伝達の仕組み特にシナプスと伝達物質について説明できる。 2. 興奮性ニューロンと抑制性ニューロンの役割について説明できる。 3. 膝蓋腱反射等の基本的な反射を例に取り、ニューロン回路について説明できる。 4. 手足を動かすとき、脳、脊髄、末梢神経で起こっている仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能3) 運動系と感覚系、高次脳機能(8章)		
	授業内容	1. 脳と脊髄の働きを説明できる。 2. 運動系と感覚系の働きを説明できる。 3. 感覚の種類・分類について説明できる。 4. 皮膚感覚の受容器について説明できる。 5. 末梢神経から中枢神経に至り触覚や痛覚が起こる仕組みについて説明できる。 6. 思考、記憶、学習等の場であるヒトの脳について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能4) 高次脳機能、自律神経系(8章、6章A)		
	授業内容	1. 睡眠や覚醒等を起こす脳や、脳波の意味について説明できる。 2. 食欲や性欲など本能行動を引き起こす脳について説明できる。 3. 自律神経系の働きについて、体性神経系との対比で説明できる。 4. 交感神経と副交感神経の働きについて例をあげて説明できる。 5. 自律神経系の伝達物質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	C402		

担当者	小野			
テーマ	特殊感覚（構造） 視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造（8章）			
授業内容	1. 眼球の構造を説明できる。 2. 視覚の伝導路を説明できる。 3. 外耳、中耳、内耳の構造を説明できる。 4. 聴覚の伝導路を説明できる。 5. 平衡覚の伝導路を説明できる。 6. 嗅覚器と味覚器の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
9	年月日（曜日）	令和 7年06月09日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚（機能1） 視覚（8章）		
	授業内容	1. 眼球の構造に基づいてその機能を説明できる。 2. 眼における明暗調節と遠近調節について説明できる。 3. 視細胞を含む網膜の働きを説明できる。 4. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚（機能2） 聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚（8章）		
	授業内容	1. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 2. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	呼吸器系（構造） 気道と肺の構造（3章A-B）		
	授業内容	1. 気道（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支）の構造について説明できる。 2. 肺の構造と血液—空気関門の微細構造について説明できる。 3. 肺の機能血管と栄養血管について説明できる。 4. 胸膜と縦隔について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年06月16日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能1） 呼吸運動（3章）		
	授業内容	1. ヒトは何のために呼吸をするかを説明できる。 2. 肺の拡大縮小（吸息と呼息）を引き起こす筋・神経系について説明できる。 3. 肺気量の意味と測定の仕方を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年06月18日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能2） ガス交換と呼吸調節（3章）		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス（酸素、二酸化炭素）交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する神経系について説明できる。 3. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年06月18日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（血液1） 血液の組成と機能（3章）		
	授業内容			

1. 血液の成分と機能を説明できる。
 2. 幹細胞からの血球分化を説明できる。
 3. 赤血球、ヘモグロビン、酸素運搬について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

15	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：筋電図・反応時間		
	授業内容	1. 自分および被験者から筋電図を記録できる。 2. 筋電図をもとに筋活動とそれを引き起こす神経活動の関係を説明できる。 3. 伸張反射と相反抑制について説明できる。 4. 筋電図を用いて音や光に対する反応時間を計測し、反応時間の意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液(血液2) 止血機構と血液型(3章)		
	授業内容	1. 止血機構について説明できる。 2. 凝固と線溶の関連を説明できる。 3. 血液型とは何か、血液型不適合はどうして起こるかを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	内分泌系(構造) 内分泌器の構造(6章)		
	授業内容	1. 内分泌腺と内分泌細胞の特徴を説明できる。 2. 視床下部、下垂体の位置と構造を説明できる。 3. 甲状腺、上皮小体の位置と構造を説明できる。 4. 副腎の位置と構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能1) ホルモン化学と作用機序(6章)		
	授業内容	1. 細胞間情報伝達方式について説明できる。 2. ホルモン名を列挙しそれらの構造的分類をすることができる。 3. ホルモンの一般的な作用機序を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能2) ホルモンの機能と分泌調節1(6章)		
	授業内容	1. 各種内分泌腺で産生されるホルモン名を列挙できる。 2. 各種内分泌腺で産生されるホルモンの機能を説明できる。 3. ホルモン分泌の調節の方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能3) ホルモンの機能と分泌調節2、内分泌疾患(6章)		

授業内容	1. ホルモン名を列挙しそれらの機能を説明できる。 2. 内分泌系異常の成因について説明できる。 3. 内分泌疾患の症状とその原因について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
22	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み1 リンパ系と免疫(4章F、9章)		
	授業内容	1. リンパ系の機能を説明できる。 2. 生体防御にかかわる細胞について説明できる。 3. 生体防御にかかわる生理活性物質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造演習: 器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 眼球、内耳のプレパートを観察し、感覚の受容器から中枢への伝導路を説明できる。 2. 内分泌腺のプレパートを観察し、外分泌腺との相違を説明できる。 3. 肺・気管のプレパートを観察し、実質性器官・中腔性器官の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み2 免疫による生体防御(4章F、9章)		
	授業内容	1. 免疫系の働きについて説明できる。 2. 抗体の種類を列挙できる。 3. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習: 呼吸とスパイロメトリー		
	授業内容	1. 肺気量の意味と測定の仕方およびスパイログラムの分画を説明できる。 2. 努力呼出曲線の1秒率と気道抵抗の関係を説明できる。 3. 肺気量の異常と病態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ: 機能系のまとめ1		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「筋電図・反応時間」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

29	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：構造系のまとめ		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ構造系の要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ2		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「呼吸とスパイロメトリー」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体A2班

1	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系（構造1） 神経組織、脳脊髄膜（8章）		
	授業内容	1. 神経組織を構成する細胞をあげ、その構造を説明できる。 2. 神経系（中枢神経系と末梢神経系）、脳と脊髄を区分できる。 3. 脳脊髄膜の構造と髄液の産生と流れについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系（構造2） 中枢神経系の構造（8章）		
	授業内容	1. 終脳の各部の名称と構造を説明できる。 2. 間脳、脳幹（中脳・橋・延髄）、小脳の構造を説明できる。 3. 脳神経の名称と働きを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能1） 神経情報伝達（1章、8章）		
	授業内容	1. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 2. チャネルとは何か、どんな種類があるかについてイオンの流れも含めて説明できる。 3. 活動電位が軸索を伝導する仕組みを説明できる。 4. ニューロン間の情報伝達の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系（構造3） 末梢神経系の構造（8章、6章A）		
	授業内容	1. 脊髄の構造を説明できる。 2. 脊髄神経と神経叢について説明できる。 3. 自律神経（交感神経と副交感神経）の走行を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能2） ニューロン連鎖と回路、運動系（8章）		
	授業内容			

1. ニューロン間の情報伝達の仕組み特にシナプスと伝達物質について説明できる。
 2. 興奮性ニューロンと抑制性ニューロンの役割について説明できる。
 3. 膝蓋腱反射等の基本的な反射を例に取り、ニューロン回路について説明できる。
 4. 手足を動かすとき、脳、脊髄、末梢神経で起こっている仕組みを説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

6	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能3) 運動系と感覚系、高次脳機能(8章)		
	授業内容	1. 脳と脊髄の働きを説明できる。 2. 運動系と感覚系の働きを説明できる。 3. 感覚の種類・分類について説明できる。 4. 皮膚感覚の受容器について説明できる。 5. 末梢神経から中枢神経に至り触覚や痛覚が起こる仕組みについて説明できる。 6. 思考、記憶、学習等の場であるヒトの脳について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能4) 高次脳機能、自律神経系(8章、6章A)		
	授業内容	1. 睡眠や覚醒等を起こす脳や、脳波の意味について説明できる。 2. 食欲や性欲など本能行動を引き起こす脳について説明できる。 3. 自律神経系の働きについて、体性神経系との対比で説明できる。 4. 交感神経と副交感神経の働きについて例をあげて説明できる。 5. 自律神経系の伝達物質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	特殊感覚(構造) 視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造(8章)		
	授業内容	1. 眼球の構造を説明できる。 2. 視覚の伝導路を説明できる。 3. 外耳、中耳、内耳の構造を説明できる。 4. 聴覚の伝導路を説明できる。 5. 平衡覚の伝導路を説明できる。 6. 嗅覚器と味覚器の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚(機能1) 視覚(8章)		
	授業内容	1. 眼球の構造に基づいてその機能を説明できる。 2. 眼における明暗調節と遠近調節について説明できる。 3. 視細胞を含む網膜の働きを説明できる。 4. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚(機能2) 聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚(8章)		
	授業内容	1. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 2. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	呼吸器系(構造) 気道と肺の構造(3章A-B)		
	授業内容			

1. 気道（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支）の構造について説明できる。
 2. 肺の構造と血液—空気関門の微細構造について説明できる。
 3. 肺の機能血管と栄養血管について説明できる。
 4. 胸膜と縦隔について説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

12	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能1） 呼吸運動（3章）		
	授業内容	1. ヒトは何のために呼吸をするかを説明できる。 2. 肺の拡大縮小（吸息と呼息）を引き起こす筋・神経系について説明できる。 3. 肺気量の意味と測定の仕方を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能2） ガス交換と呼吸調節（3章）		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス（酸素、二酸化炭素）交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する神経系について説明できる。 3. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（血液1） 血液の組成と機能（3章）		
	授業内容	1. 血液の成分と機能を説明できる。 2. 幹細胞からの血球分化を説明できる。 3. 赤血球、ヘモグロビン、酸素運搬について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：筋電図・反応時間		
	授業内容	1. 自分および被験者から筋電図を記録できる。 2. 筋電図をもとに筋活動とそれを引き起こす神経活動の関係を説明できる。 3. 伸張反射と相反抑制について説明できる。 4. 筋電図を用いて音や光に対する反応時間を計測し、反応時間の意味を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日(曜日)	令和 7年06月21日(土)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
17	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（血液2） 止血機構と血液型（3章）		
	授業内容	1. 止血機構について説明できる。 2. 凝固と線溶の関連を説明できる。 3. 血液型とは何か、血液型不適合はどうして起こるかを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	内分泌系（構造） 内分泌器の構造（6章）		

授業内容		1. 内分泌腺と内分泌細胞の特徴を説明できる。 2. 視床下部、下垂体の位置と構造を説明できる。 3. 甲状腺、上皮小体の位置と構造を説明できる。 4. 副腎の位置と構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能1) ホルモン化学と作用機序(6章)		
	授業内容	1. 細胞間情報伝達方式について説明できる。 2. ホルモン名を列挙しそれらの構造的分類をすることができる。 3. ホルモンの一般的な作用機序を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能2) ホルモンの機能と分泌調節1(6章)		
	授業内容	1. 各種内分泌腺で産生されるホルモン名を列挙できる。 2. 各種内分泌腺で産生されるホルモンの機能を説明できる。 3. ホルモン分泌の調節の方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能3) ホルモンの機能と分泌調節2、内分泌疾患(6章)		
	授業内容	1. ホルモン名を列挙しそれらの機能を説明できる。 2. 内分泌系異常の成因について説明できる。 3. 内分泌疾患の症状とその原因について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み1 リンパ系と免疫(4章F、9章)		
	授業内容	1. リンパ系の機能を説明できる。 2. 生体防御にかかわる細胞について説明できる。 3. 生体防御にかかわる生理活性物質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造演習: 器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 眼球、内耳のプレパラートを観察し、感覚の受容器から中枢への伝導路を説明できる。 2. 内分泌腺のプレパラートを観察し、外分泌腺との相違を説明できる。 3. 肺・気管のプレパラートを観察し、実質性器官・中腔性器官の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み2 免疫による生体防御(4章F、9章)		
	授業内容			

授業内容		1. 免疫系の働きについて説明できる。 2. 抗体の種類を列挙できる。 3. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：呼吸とスパイロメトリー		
	授業内容	1. 肺気量の意味と測定の方法およびスパイログラムの分画を説明できる。 2. 努力呼出曲線の1秒率と気道抵抗の関係を説明できる。 3. 肺気量の異常と病態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
27	年月日(曜日)	令和 7年07月17日(木)	時限	4限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ1		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「筋電図・反応時間」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：構造系のまとめ		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ構造系の要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ2		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「呼吸とスパイロメトリー」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体B1班

1	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造1) 神経組織、脳脊髄膜(8章)		
	授業内容	1. 神経組織を構成する細胞をあげ、その構造を説明できる。 2. 神経系(中枢神経系と末梢神経系)、脳と脊髄を区分できる。 3. 脳脊髄膜の構造と髄液の産生と流れについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造2) 中枢神経系の構造(8章)		
	授業内容			

1. 終脳の各部の名称と構造を説明できる。
2. 間脳、脳幹（中脳・橋・延髄）、小脳の構造を説明できる。
3. 脳神経の名称と働きを説明できる。
（予習時間30分、復習時間30分）

3	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能1） 神経情報伝達（1章、8章）		
	授業内容	1. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 2. チャネルとは何か、どんな種類があるかについてイオンの流れも含めて説明できる。 3. 活動電位が軸索を伝導する仕組みを説明できる。 4. ニューロン間の情報伝達の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系（構造3） 末梢神経系の構造（8章、6章A）		
	授業内容	1. 脊髄の構造を説明できる。 2. 脊髄神経と神経叢について説明できる。 3. 自律神経（交感神経と副交感神経）の走行を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能2） ニューロン連鎖と回路、運動系（8章）		
	授業内容	1. ニューロン間の情報伝達の仕組み特にシナプスと伝達物質について説明できる。 2. 興奮性ニューロンと抑制性ニューロンの役割について説明できる。 3. 膝蓋腱反射等の基本的な反射を例に取り、ニューロン回路について説明できる。 4. 手足を動かすとき、脳、脊髄、末梢神経で起こっている仕組みを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能3） 運動系と感覚系、高次脳機能（8章）		
	授業内容	1. 脳と脊髄の働きを説明できる。 2. 運動系と感覚系の働きを説明できる。 3. 感覚の種類・分類について説明できる。 4. 皮膚感覚の受容器について説明できる。 5. 末梢神経から中枢神経に至り触覚や痛覚が起こる仕組みについて説明できる。 6. 思考、記憶、学習等の場であるヒトの脳について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能4） 高次脳機能、自律神経系（8章、6章A）		
	授業内容	1. 睡眠や覚醒等を起こす脳や、脳波の意味について説明できる。 2. 食欲や性欲など本能行動を引き起こす脳について説明できる。 3. 自律神経系の働きについて、体性神経系との対比で説明できる。 4. 交感神経と副交感神経の働きについて例をあげて説明できる。 5. 自律神経系の伝達物質について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	特殊感覚（構造） 視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造（8章）		
	授業内容			

1. 眼球の構造を説明できる。
 2. 視覚の伝導路を説明できる。
 3. 外耳、中耳、内耳の構造を説明できる。
 4. 聴覚の伝導路を説明できる。
 5. 平衡覚の伝導路を説明できる。
 6. 嗅覚器と味覚器の構造を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

9	年月日(曜日)	令和 7年06月09日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚(機能1) 視覚(8章)		
	授業内容	1. 眼球の構造に基づいてその機能を説明できる。 2. 眼における明暗調節と遠近調節について説明できる。 3. 視細胞を含む網膜の働きを説明できる。 4. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚(機能2) 聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚(8章)		
	授業内容	1. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 2. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	呼吸器系(構造) 気道と肺の構造(3章A-B)		
	授業内容	1. 気道(鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支)の構造について説明できる。 2. 肺の構造と血液—空気関門の微細構造について説明できる。 3. 肺の機能血管と栄養血管について説明できる。 4. 胸膜と縦隔について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年06月16日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液(呼吸器機能1) 呼吸運動(3章)		
	授業内容	1. ヒトは何のために呼吸をするかを説明できる。 2. 肺の拡大縮小(吸息と呼息)を引き起こす筋・神経系について説明できる。 3. 肺気量の意味と測定の仕方を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液(呼吸器機能2) ガス交換と呼吸調節(3章)		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス(酸素、二酸化炭素)交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する神経系について説明できる。 3. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液(血液1) 血液の組成と機能(3章)		
	授業内容	1. 血液の成分と機能を説明できる。 2. 幹細胞からの血球分化を説明できる。 3. 赤血球、ヘモグロビン、酸素運搬について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年06月23日(月)	時限	3限

講義室	C402			
担当者	金子			
テーマ	呼吸と血液（血液2） 止血機構と血液型（3章）			
授業内容	1. 止血機構について説明できる。 2. 凝固と線溶の関連を説明できる。 3. 血液型とは何か、血液型不適合はどうして起こるかを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
16	年月日（曜日）	令和 7年06月25日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	内分泌系（構造） 内分泌器の構造（6章）		
	授業内容	1. 内分泌腺と内分泌細胞の特徴を説明できる。 2. 視床下部、下垂体の位置と構造を説明できる。 3. 甲状腺、上皮小体の位置と構造を説明できる。 4. 副腎の位置と構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
17	年月日（曜日）	令和 7年06月25日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系（機能1） ホルモンの化学と作用機序（6章）		
	授業内容	1. 細胞間情報伝達方式について説明できる。 2. ホルモン名を列挙しそれらの構造的分類をすることができる。 3. ホルモンの一般的な作用機序を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年06月28日（土）	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：筋電図・反応時間		
	授業内容	1. 自分および被験者から筋電図を記録できる。 2. 筋電図をもとに筋活動とそれを引き起こす神経活動の関係を説明できる。 3. 伸張反射と相反抑制について説明できる。 4. 筋電図を用いて音や光に対する反応時間を計測し、反応時間の意味を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
19	年月日（曜日）	令和 7年06月28日（土）	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
20	年月日（曜日）	令和 7年06月30日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系（機能2） ホルモンの機能と分泌調節1（6章）		
	授業内容	1. 各種内分泌腺で産生されるホルモン名を列挙できる。 2. 各種内分泌腺で産生されるホルモンの機能を説明できる。 3. ホルモン分泌の調節の方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
21	年月日（曜日）	令和 7年07月02日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系（機能3）ホルモンの機能と分泌調節2、内分泌疾患（6章）		
	授業内容	1. ホルモン名を列挙しそれらの機能を説明できる。 2. 内分泌系異常の成因について説明できる。 3. 内分泌疾患の症状とその原因について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日（曜日）	令和 7年07月07日（月）	時限	3限

講義室	C402			
担当者	金子			
テーマ	生体防御の仕組み1 リンパ系と免疫（4章F、9章）			
授業内容	1. リンパ系の機能を説明できる。 2. 生体防御にかかわる細胞について説明できる。 3. 生体防御にかかわる生理活性物質について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
23	年月日（曜日）	令和 7年07月09日（水）	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：呼吸とスパイロメトリー		
	授業内容	1. 肺気量の意味と測定の方法およびスパイログラムの分画を説明できる。 2. 努力呼出曲線の1秒率と気道抵抗の関係を説明できる。 3. 肺気量の異常と病態について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
24	年月日（曜日）	令和 7年07月09日（水）	時限	4限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
25	年月日（曜日）	令和 7年07月14日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み2 免疫による生体防御（4章F、9章）		
	授業内容	1. 免疫系の働きについて説明できる。 2. 抗体の種類を列挙できる。 3. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
26	年月日（曜日）	令和 7年07月16日（水）	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 眼球、内耳のプレパラートを観察し、感覚の受容器から中枢への伝導路を説明できる。 2. 内分泌腺のプレパラートを観察し、外分泌腺との相違を説明できる。 3. 肺・気管のプレパラートを観察し、実質性器官・中腔性器官の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
27	年月日（曜日）	令和 7年07月16日（水）	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
28	年月日（曜日）	令和 7年07月21日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ1		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「筋電図・反応時間」の実習で学んだことの要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
29	年月日（曜日）	令和 7年07月23日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：構造系のまとめ		

授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ構造系の要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
30	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ2		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「呼吸とスパイロメトリー」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体B2班

1	年月日(曜日)	令和 7年05月19日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造1) 神経組織、脳脊髄膜(8章)		
	授業内容	1. 神経組織を構成する細胞をあげ、その構造を説明できる。 2. 神経系(中枢神経系と末梢神経系)、脳と脊髄を区分できる。 3. 脳脊髄膜の構造と髄液の産生と流れについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造2) 中枢神経系の構造(8章)		
	授業内容	1. 終脳の各部の名称と構造を説明できる。 2. 間脳、脳幹(中脳・橋・延髄)、小脳の構造を説明できる。 3. 脳神経の名称と働きを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能1) 神経情報伝達		
	授業内容	1. 静止膜電位、活動電位の発生機序について説明できる。 2. チャネルとは何か、どんな種類があるかについてイオンの流れも含めて説明できる。 3. 活動電位が軸索を伝導する仕組みを説明できる。 4. ニューロン間の情報伝達の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月26日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	神経系(構造3) 末梢神経系の構造(8章、6章A)		
	授業内容	1. 脊髄の構造を説明できる。 2. 脊髄神経と神経叢について説明できる。 3. 自律神経(交感神経と副交感神経)の走行を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系(機能2) ニューロン連鎖と回路、運動系(8章)		
	授業内容	1. ニューロン間の情報伝達の仕組み特にシナプスと伝達物質について説明できる。 2. 興奮性ニューロンと抑制性ニューロンの役割について説明できる。 3. 膝蓋腱反射等の基本的な反射を例に取り、ニューロン回路について説明できる。 4. 手足を動かすとき、脳、脊髄、末梢神経で起こっている仕組みを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年06月02日(月)	時限	3限
	講義室	C402		

担当者	金子			
テーマ	神経系（機能3） 運動系と感覚系、高次脳機能（8章）			
授業内容	1. 脳と脊髄の働きを説明できる。 2. 運動系と感覚系の働きを説明できる。 3. 感覚の種類・分類について説明できる。 4. 皮膚感覚の受容器について説明できる。 5. 末梢神経から中枢神経に至り触覚や痛覚が起こる仕組みについて説明できる。 6. 思考、記憶、学習等の場であるヒトの脳について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
7	年月日（曜日）	令和 7年06月04日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	神経系（機能4） 高次脳機能、自律神経系（8章、6章A）		
	授業内容	1. 睡眠や覚醒等を起こす脳や、脳波の意味について説明できる。 2. 食欲や性欲など本能行動を引き起こす脳について説明できる。 3. 自律神経系の働きについて、体性神経系との対比で説明できる。 4. 交感神経と副交感神経の働きについて例をあげて説明できる。 5. 自律神経系の伝達物質について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年06月04日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	特殊感覚（構造） 視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器の構造（8章）		
	授業内容	1. 眼球の構造を説明できる。 2. 視覚の伝導路を説明できる。 3. 外耳、中耳、内耳の構造を説明できる。 4. 聴覚の伝導路を説明できる。 5. 平衡覚の伝導路を説明できる。 6. 嗅覚器と味覚器の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年06月09日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚（機能1） 視覚（8章）		
	授業内容	1. 眼球の構造に基づいてその機能を説明できる。 2. 眼における明暗調節と遠近調節について説明できる。 3. 視細胞を含む網膜の働きを説明できる。 4. 視覚の生じる機構を眼から脳を含めた総体として説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	特殊感覚（機能2） 聴覚と平衡覚、味覚と嗅覚（8章）		
	授業内容	1. 聴覚と平衡感覚の生じる機構を内耳から脳を含めた総体として説明できる。 2. 嗅覚と味覚の生じる機構を感覚細胞から脳を含めた総体として説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年06月11日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	小野		
	テーマ	呼吸器系（構造） 気道と肺の構造（3章A-B）		
	授業内容	1. 気道（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支）の構造について説明できる。 2. 肺の構造と血液—空気関門の微細構造について説明できる。 3. 肺の機能血管と栄養血管について説明できる。 4. 胸膜と縦隔について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年06月16日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		

テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能1） 呼吸運動（3章）			
授業内容	1. ヒトは何のために呼吸をするかを説明できる。 2. 肺の拡大縮小（吸息と呼息）を引き起こす筋・神経系について説明できる。 3. 肺気量の意味と測定の仕方を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
13	年月日（曜日）	令和 7年06月18日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（呼吸器機能2） ガス交換と呼吸調節（3章）		
	授業内容	1. 肺および組織におけるガス（酸素、二酸化炭素）交換の仕組みを説明できる。 2. 呼吸中枢の役割および呼吸運動を調節する神経系について説明できる。 3. 呼吸機能障害を起こす様々な要因を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年06月18日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（血液1） 血液の組成と機能（3章）		
	授業内容	1. 血液の成分と機能を説明できる。 2. 幹細胞からの血球分化を説明できる。 3. 赤血球、ヘモグロビン、酸素運搬について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年06月23日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	呼吸と血液（血液2） 止血機構と血液型（3章）		
	授業内容	1. 止血機構について説明できる。 2. 凝固と線溶の関連を説明できる。 3. 血液型とは何か、血液型不適合はどうして起こるかを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年06月25日（水）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	内分泌系（構造） 内分泌器の構造（6章）		
	授業内容	1. 内分泌腺と内分泌細胞の特徴を説明できる。 2. 視床下部、下垂体の位置と構造を説明できる。 3. 甲状腺、上皮小体の位置と構造を説明できる。 4. 副腎の位置と構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
17	年月日（曜日）	令和 7年06月25日（水）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系（機能1） ホルモンの化学と作用機序（6章）		
	授業内容	1. 細胞間情報伝達方式について説明できる。 2. ホルモン名を列挙しそれらの構造的分類をすることができる。 3. ホルモンの一般的な作用機序を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年06月28日（土）	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：筋電図・反応時間		
	授業内容	1. 自分および被験者から筋電図を記録できる。 2. 筋電図をもとに筋活動とそれを引き起こす神経活動の関係を説明できる。 3. 伸張反射と相反抑制について説明できる。 4. 筋電図を用いて音や光に対する反応時間を計測し、反応時間の意味を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
19	年月日（曜日）	令和 7年06月28日（土）	時限	4限

講義室	B205			
担当者	金子・藤原・山本			
テーマ	"			
授業内容	"			
20	年月日(曜日)	令和 7年06月30日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能2) ホルモンの機能と分泌調節1(6章)		
	授業内容	1. 各種内分泌腺で産生されるホルモン名を列挙できる。 2. 各種内分泌腺で産生されるホルモンの機能を説明できる。 3. ホルモン分泌の調節の方法を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	内分泌系(機能3) ホルモンの機能と分泌調節2、内分泌疾患(6章)		
	授業内容	1. ホルモン名を列挙しそれらの機能を説明できる。 2. 内分泌系異常の成因について説明できる。 3. 内分泌疾患の症状とその原因について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年07月07日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み1 リンパ系と免疫(4章F、9章)		
	授業内容	1. リンパ系の機能を説明できる。 2. 生体防御にかかわる細胞について説明できる。 3. 生体防御にかかわる生理活性物質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	3限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習:呼吸とスパイロメトリー		
	授業内容	1. 肺気量の意味と測定の仕方およびスパイログラムの分画を説明できる。 2. 努力呼出曲線の1秒率と気道抵抗の関係を説明できる。 3. 肺気量の異常と病態について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 7年07月10日(木)	時限	4限
	講義室	C409		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
25	年月日(曜日)	令和 7年07月14日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生体防御の仕組み2 免疫による生体防御(4章F、9章)		
	授業内容	1. 免疫系の働きについて説明できる。 2. 抗体の種類を列挙できる。 3. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		

テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる			
授業内容	1. 眼球、内耳のプレパラートを観察し、感覚の受容器から中枢への伝導路を説明できる。 2. 内分泌腺のプレパラートを観察し、外分泌腺との相違を説明できる。 3. 肺・気管のプレパラートを観察し、実質性器官・中腔性器官の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
27	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	小野・山岸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
28	年月日(曜日)	令和 7年07月21日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ1		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「筋電図・反応時間」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：構造系のまとめ		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ構造系の要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 7年07月28日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・藤原		
	テーマ	人体の構造と機能Ⅱ：機能系のまとめ2		
	授業内容	1. 「人体の構造と機能Ⅱ」で学んだ 機能系の要点を説明できる。 2. 「呼吸とスパイロメトリー」の実習で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 前期定期試験（多肢選択式および論述式）の成績で評価する。 2. 試験内容は、「人体の構造と機能Ⅱ」全範囲とする。 3. 定期試験不合格者については、前期の追・再試験期間に再試験を行う。ただし、再試験は1回のみとする。			
教科書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1 第11版、坂井・岡田・宇賀著、医学書院 2. 2025年版「系統看護学講座」準拠・解剖生理学ワークブック、坂井・岡田・宇賀著、医学書院			
参考書	1. トートラ人体解剖生理学 原著11版、トートラ・デリクソン著、佐伯他編訳、丸善出版 2. トートラ人体の構造と機能 第5版、トートラ・デリクソン著、桑木他編訳、丸善出版 3. 看護につなげる形態機能学 第2版、菱沼典子著、メヂカルフレンド社			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 金子 優子 (yukaneko@saitama-med.ac.jp)：火曜日の4,5限目 藤原 智徳 (tfuj@saitama-med.ac.jp)：木曜日の3,4限目 山岸 敏之 (toshiya@saitama-med.ac.jp)：月曜日・火曜日の12時～13時 小野 公嗣 (onok@saitama-med.ac.jp)：月曜日・火曜日の12時～13時 山本 梓司 (shinjiy@saitama-med.ac.jp)：水曜日の12時～13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。			
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員を訪ねて遠慮なく質問すること。授業後には教科書や参考書を確認し、学習内容の見直しを行うこと。 実習や演習の該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておくこと。また、実習や演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。レポートは実習・演習終了後、指示された期日までに提出すること。 レポートに対するフィードバック：各実習・演習のレポート提出に対しコメントを付け返却する。			

講義名	人体の構造と機能Ⅲ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	2	時間	60.00
代表曜日	月曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/60時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 金子 優子	看護学科教員

担当教員	金子 優子・藤原 智徳・山岸 敏之・小野 公嗣・山本 梓司
科目の目標	「人体の構造と機能」はヒトの体が正常ではどうできていてどう働くのかを理解することを目的とする。この学問は将来、看護師として「病む」ということに向き合う際の知的基盤、および今後学ぶさまざまな看護・医療行為の科学的根拠を理解する基盤を形成する。「人体の構造と機能III」ではヒトの消化器系、栄養と代謝、心臓・血管系、腎・尿路系、生殖系、発生と遺伝、成長と老化についての基礎的知識を修得する。
学習の具体的な目標	以下の項目のうち幾つかは実習授業も行う。 1) 消化器の構造、その働きを説明できる。（実習・演習授業含む） 2) 各種食物を消化するメカニズムについて説明できる。 3) 炭水化物、脂肪、タンパク質の代謝について説明できる。 4) 心臓と血管系について基本構造と働きを説明できる。（実習・演習授業含む） 5) 心臓、肺、動脈、静脈、組織間の血液の循環について説明できる。 6) 心臓の自律的リズム生成のメカニズムを説明できる。 7) 心電図の意味を心臓の構造と機能に基づいて説明できる。（実習・演習授業含む） 8) 血圧の成因と変動要因を説明できる。 9) 血圧測定の原理を理解し血圧を測定できる。（実習・演習授業含む） 10) 腎臓の様々な働きについて説明できる。 11) 泌尿器の構造と尿の生成機構を説明できる。（実習・演習授業含む） 12) 腎と肺が関係するpH調節の仕組みについて説明できる。 13) 男女生殖器の構造、卵子と精子の生成、受精等生殖の仕組みを説明できる。（実習・演習授業含む） 14) 女性性周期におけるホルモンの変化について説明できる。 15) 胚子・胎児の特徴および遺伝について説明できる。（実習・演習授業含む） 16) 成長と老化について説明できる。

授業計画表				
人体A1班				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造1） 口腔、食道、胃、腸の構造（2章）		
	授業内容			

1. 口腔の構造を説明できる。
 2. 食道の構造を説明できる。
 3. 胃の構造を説明できる。
 4. 小腸（十二指腸、空腸、回腸）の構造を説明できる。
 5. 大腸（盲腸、結腸、直腸）の構造を説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

2	年月日（曜日）	令和 7年09月29日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能1） 消化器系の酵素とホルモン（2章）		
	授業内容	1. 消化器系の臓器から分泌される酵素を列挙しそれらの働きについて説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌されるホルモンを列挙しそれらの働きについて説明できる。 3. 栄養素の消化と吸収の過程について概略を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日（曜日）	令和 7年10月06日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造2） 肝臓、膵臓、腹膜の構造（2章）		
	授業内容	1. 肝臓の構造と胆汁の排出経路について説明できる。 2. 膵臓の構造と膵液の排出経路について説明できる。 3. 腹膜と腹部内臓の位置関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年10月06日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能2） 肝臓と胆汁の働き（2章）		
	授業内容	1. 肝臓と胆汁の働きについて説明できる。 2. 胆汁成分の由来について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能3） 栄養素の消化と吸収（2章）		
	授業内容	1. 栄養素の消化と吸収の過程について説明できる。 2. 炭水化物、脂肪、タンパク質の代謝について説明できる。 3. 水・電解質・ビタミンの吸収について説明できる。 4. 基礎代謝量について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造1） 心臓と血管の構造（4章）		
	授業内容	1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血管の種類と構造について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造2） 体循環と肺循環（4章）		
	授業内容	1. 肺循環について説明できる。 2. 体循環の主な動脈、静脈の走行が説明できる。 3. 採血・点滴に使われる静脈の走行・名称をあげることができる。 4. 特別な循環路〔門脈、脳〕を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	4限
	講義室	C402		

担当者	金子			
テーマ	循環器系（機能1） 心臓と血管の働き1（4章）			
授業内容	1. 心筋の自律的収縮機構を説明できる。 2. 心電図測定の概略を説明できる。 3. 心音と心電図の成因を心筋の収縮と弁の開閉との関連で説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
9	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能2） 心臓と血管の働き2（4章）		
	授業内容	1. 心周期について説明できる。 2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造3） 胎児循環とリンパ系（4章）		
	授業内容	1. 胎児循環について説明できる。 2. リンパ節・脾臓・胸腺の構造を説明できる。 3. リンパ管の構造、リンパ管の走行について説明できる。 4. 胸管について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能3） 血圧とその調節（4章）		
	授業内容	1. 血圧の発生機構およびその変動について説明できる。 2. 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。 4. 血圧測定の原理を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	泌尿器系（構造） 腎臓と尿路（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の構造を説明できる。 2. 尿路の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	1限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 心臓と血管の構造を説明できる。 2. 消化器系の中空性器官と実質性器官の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日（曜日）	令和 7年12月01日（月）	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		

テーマ	機能実習：心電図			
授業内容	1. 電極を装着し、記録器に配線し、被験者の心電図を測ることができる。 2. 心電図から何がわかるかを説明できる。 3. 心電図波形の意味を心臓の動きと関連付けて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
16	年月日(曜日)	令和 7年12月01日(月)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系(機能1) 腎臓の様々な働き、尿生成(5章)		
	授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. 老廃物の由来を説明できる。 3. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系(機能2) 尿生成の仕組みとクリアランス(5章)		
	授業内容	1. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 2. クリアランスの定義を述べるができる。 3. クリアランスの意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	体液の調節、電解質と酸塩基平衡(5章)		
	授業内容	1. 腎臓による水分調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による塩分調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造1) 男性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 生殖器の発生を説明できる。 2. 男性生殖器の構造(精巣、精路、支持組織)を説明できる。 3. 骨盤底・会陰の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造2) 女性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 女性生殖器の構造を説明できる。 2. 乳腺の構造を説明できる。 3. 妊娠と胎子・胎児の発育の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能1) 性の分化、男性生殖器の機能(10章)		

授業内容		1. 性の決定と分化について説明できる。 2. 精巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 3. 精子形成について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能2) 女性生殖器官の機能、妊娠と分娩(10章)		
	授業内容	1. 卵巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 2. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 3. 胎児-胎盤単位について説明できる。 4. 妊娠時のホルモン変動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	発生と遺伝、成長と老化(1章、10章)		
	授業内容	1. 受精と胎児の発生を説明できる。 2. 妊娠中の母体の変化を説明できる。 3. 遺伝について説明できる。 4. 成長と老化に伴う組織・臓器の変化を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	3限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習: 血圧の測定原理		
	授業内容	1. 血圧測定の原理を説明できる。 2. 自分および被験者の血圧を測定できる。 3. 血圧測定値に静水圧が与える影響を実験的に示すことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	4限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造実習: 内臓の構造と胎児の成長をみる		
	授業内容	1. 胸部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 2. 腹部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 3. 骨盤内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 4. 胎児を観察し、受精と胎児の成長を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能: 構造系・総括		
	授業内容			

1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（構造系）で学んだことの要点を説明できる。
（予習時間30分、復習時間30分）

30	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・藤原		
	テーマ	人体の構造と機能：機能系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（機能系）で学んだことの要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		

人体A2班

1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造1） 口腔、食道、胃、腸の構造（2章）		
	授業内容	1. 口腔の構造を説明できる。 2. 食道の構造を説明できる。 3. 胃の構造を説明できる。 4. 小腸（十二指腸、空腸、回腸）の構造を説明できる。 5. 大腸（盲腸、結腸、直腸）の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能1） 消化器系の酵素とホルモン（2章）		
	授業内容	1. 消化器系の臓器から分泌される酵素を列挙しそれらの働きについて説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌されるホルモンを列挙しそれらの働きについて説明できる。 3. 栄養素の消化と吸収の過程について概略を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造2） 肝臓、膵臓、腹膜の構造（2章）		
	授業内容	1. 肝臓の構造と胆汁の排出経路について説明できる。 2. 膵臓の構造と膵液の排出経路について説明できる。 3. 腹膜と腹部内臓の位置関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能2） 肝臓と胆汁の働き（2章）		
	授業内容	1. 肝臓と胆汁の働きについて説明できる。 2. 胆汁成分の由来について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能3） 栄養素の消化と吸収（2章）		
	授業内容	1. 栄養素の消化と吸収の過程について説明できる。 2. 炭水化物、脂肪、タンパク質の代謝について説明できる。 3. 水・電解質・ビタミンの吸収について説明できる。 4. 基礎代謝量について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月20日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		

テーマ	循環器系（構造1） 心臓と血管の構造（4章）			
授業内容	1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血管の種類と構造について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
7	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造2） 体循環と肺循環（4章）		
	授業内容	1. 肺循環について説明できる。 2. 体循環の主な動脈、静脈の走行が説明できる。 3. 採血・点滴に使われる静脈の走行・名称をあげることができる。 4. 特別な循環路〔門脈、脳〕を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能1） 心臓と血管の働き1（4章）		
	授業内容	1. 心筋の自律的収縮機構を説明できる。 2. 心電図測定の概略を説明できる。 3. 心音と心電図の成因を心筋の収縮と弁の開閉との関連で説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能2） 心臓と血管の働き2（4章）		
	授業内容	1. 心周期について説明できる。 2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造3） 胎児循環とリンパ系（4章）		
	授業内容	1. 胎児循環について説明できる。 2. リンパ節・脾臓・胸腺の構造を説明できる。 3. リンパ管の構造、リンパ管の走行について説明できる。 4. 胸管について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能3） 血圧とその調節（4章）		
	授業内容	1. 血圧の発生機構およびその変動について説明できる。 2. 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。 4. 血圧測定の原理を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	泌尿器系（構造） 腎臓と尿路（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の構造を説明できる。 2. 尿路の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	1限
	講義室	MM教室		

担当者	山岸・小野			
テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる			
授業内容	1. 心臓と血管の構造を説明できる。 2. 消化器系の中空性器官と実質性器官の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
14	年月日(曜日)	令和 7年11月29日(土)	時限	2限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月06日(土)	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：心電図		
	授業内容	1. 電極を装着し、記録器に配線し、被験者の心電図を測ることができる。 2. 心電図から何がわかるかを説明できる。 3. 心電図波形の意味を心臓の動きと関連付けて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日(曜日)	令和 7年12月06日(土)	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系（機能1） 腎臓の様々な働き、尿生成（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. 老廃物の由来を説明できる。 3. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系（機能2） 尿生成の仕組みとクリアランス（5章）		
	授業内容	1. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 2. クリアランスの定義を述べるができる。 3. クリアランスの意味を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	体液の調節、電解質と酸塩基平衡（5章）		
	授業内容	1. 腎臓による水分調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による塩分調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系（構造1） 男性生殖器（10章）		
	授業内容			

1. 生殖器の発生を説明できる。
 2. 男性生殖器の構造（精巣、精路、支持組織）を説明できる。
 3. 骨盤底・会陰の構造を説明できる。
- （予習時間30分、復習時間30分）

21	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系（構造2） 女性生殖器（10章）		
	授業内容	1. 女性生殖器の構造を説明できる。 2. 乳腺の構造を説明できる。 3. 妊娠と胚子・胎児の発育の概要を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系（機能1） 性の分化、男性生殖器の機能（10章）		
	授業内容	1. 性の決定と分化について説明できる。 2. 精巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 3. 精子形成について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系（機能2） 女性生殖器の機能、妊娠と分娩（10章）		
	授業内容	1. 卵巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 2. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 3. 胎児-胎盤単位について説明できる。 4. 妊娠時のホルモン変動について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
24	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	発生と遺伝、成長と老化（1章、10章）		
	授業内容	1. 受精と胎児の発生を説明できる。 2. 妊娠中の母体の変化を説明できる。 3. 遺伝について説明できる。 4. 成長と老化に伴う組織・臓器の変化を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	1限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：血圧の測定原理		
	授業内容	※A2班の一部は、3-4限に実習をおこなう。 1. 血圧測定の原理を説明できる。 2. 自分および被験者の血圧を測定できる。 3. 血圧測定値に静水圧が与える影響を実験的に示すことができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	2限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		

テーマ	構造実習：内臓の構造と胎児の成長をみる			
授業内容	1. 胸部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 2. 腹部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 3. 骨盤内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 4. 胎児を観察し、受精と胎児の成長を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
28	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能：構造系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（構造系）で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・藤原		
	テーマ	人体の構造と機能：機能系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（機能系）で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

人体B1班

1	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造1） 口腔、食道、胃、腸の構造（2章）		
	授業内容	1. 口腔の構造を説明できる。 2. 食道の構造を説明できる。 3. 胃の構造を説明できる。 4. 小腸（十二指腸、空腸、回腸）の構造を説明できる。 5. 大腸（盲腸、結腸、直腸）の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年09月29日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能1） 消化器系の酵素とホルモン（2章）		
	授業内容	1. 消化器系の臓器から分泌される酵素を列挙しそれらの働きについて説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌されるホルモンを列挙しそれらの働きについて説明できる。 3. 栄養素の消化と吸収の過程について概略を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造2） 肝臓、膵臓、腹膜の構造（2章）		
	授業内容	1. 肝臓の構造と胆汁の排出経路について説明できる。 2. 膵臓の構造と膵液の排出経路について説明できる。 3. 腹膜と腹部内臓の位置関係を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月06日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		

テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能2） 肝臓と胆汁の働き（2章）			
授業内容	1. 肝臓と胆汁の働きについて説明できる。 2. 胆汁成分の由来について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
5	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能3） 栄養素の消化と吸収（2章）		
	授業内容	1. 栄養素の消化と吸収の過程について説明できる。 2. 炭水化物、脂肪、タンパク質の代謝について説明できる。 3. 水・電解質・ビタミンの吸収について説明できる。 4. 基礎代謝量について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造1） 心臓と血管の構造（4章）		
	授業内容	1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血管の種類と構造について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造2） 体循環と肺循環（4章）		
	授業内容	1. 肺循環について説明できる。 2. 体循環の主な動脈、静脈の走行が説明できる。 3. 採血・点滴に使われる静脈の走行・名称をあげることができる。 4. 特別な循環路〔門脈、脳〕を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能1） 心臓と血管の働き1（4章）		
	授業内容	1. 心筋の自律的収縮機構を説明できる。 2. 心電図測定の概略を説明できる。 3. 心音と心電図の成因を心筋の収縮と弁の開閉との関連で説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能2） 心臓と血管の働き2（4章）		
	授業内容	1. 心周期について説明できる。 2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
10	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造3） 胎児循環とリンパ系（4章）		
	授業内容	1. 胎児循環について説明できる。 2. リンパ節・脾臓・胸腺の構造を説明できる。 3. リンパ管の構造、リンパ管の走行について説明できる。 4. 胸管について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	3限
	講義室	C402		

担当者	金子			
テーマ	循環器系（機能3） 血圧とその調節（4章）			
授業内容	1. 血圧の発生機構およびその変動について説明できる。 2. 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。 4. 血圧測定の方法を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
12	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	泌尿器系（構造） 腎臓と尿路（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の構造を説明できる。 2. 尿路の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月17日（月）	時限	3限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：心電図		
	授業内容	1. 電極を装着し、記録器に配線し、被験者の心電図を測ることができる。 2. 心電図から何がわかるかを説明できる。 3. 心電図波形の意味を心臓の動きと関連付けて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月17日（月）	時限	4限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
15	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 心臓と血管の構造を説明できる。 2. 消化器系の中空性器官と実質性器官の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
17	年月日（曜日）	令和 7年12月08日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系（機能1） 腎臓の様々な働き、尿生成（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. 老廃物の由来を説明できる。 3. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
18	年月日（曜日）	令和 7年12月08日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系（機能2） 尿生成の仕組みとクリアランス（5章）		
	授業内容			

1. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。
 2. クリアランスの定義を述べるができる。
 3. クリアランスの意味を説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

19	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	体液の調節、電解質と酸塩基平衡(5章)		
	授業内容	1. 腎臓による水分調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による塩分調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造1) 男性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 生殖器の発生を説明できる。 2. 男性生殖器の構造(精巣、精路、支持組織)を説明できる。 3. 骨盤底・会陰の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造2) 女性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 女性生殖器の構造を説明できる。 2. 乳腺の構造を説明できる。 3. 妊娠と胚子・胎児の発育の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能1) 性の分化、男性生殖器の機能(10章)		
	授業内容	1. 性の決定と分化について説明できる。 2. 精巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 3. 精子形成について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能2) 女性生殖器の機能、妊娠と分娩(10章)		
	授業内容	1. 卵巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 2. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 3. 胎児-胎盤単位について説明できる。 4. 妊娠時のホルモン変動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
24	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	発生と遺伝、成長と老化(1章、10章)		
	授業内容	1. 受精と胎児の発生を説明できる。 2. 妊娠中の母体の変化を説明できる。 3. 遺伝について説明できる。 4. 成長と老化に伴う組織・臓器の変化を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月17日(土)	時限	1限
	講義室	B401		

担当者	金子・藤原・山本			
テーマ	機能実習：血圧の測定原理			
授業内容	※B1班の一部は、1月19日（月）3-4限に実習をおこなう。 1. 血圧測定の原理を説明できる。 2. 自分および被験者の血圧を測定できる。 3. 血圧測定値に静水圧が与える影響を実験的に示すことができる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
26	年月日（曜日）	令和 8年01月17日（土）	時限	2限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
27	年月日（曜日）	令和 8年01月22日（木）	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	人体の構造と機能：構造系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（構造系）で学んだことの要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
28	年月日（曜日）	令和 8年01月22日（木）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・藤原		
	テーマ	人体の構造と機能：機能系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（機能系）で学んだことの要点を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
29	年月日（曜日）	令和 8年01月26日（月）	時限	3限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造実習：内臓の構造と胎児の成長をみる		
	授業内容	1. 胸部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 2. 腹部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 3. 骨盤内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 4. 胎児を観察し、受精と胎児の成長を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
30	年月日（曜日）	令和 8年01月26日（月）	時限	4限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

人体B2班

1	年月日（曜日）	令和 7年09月29日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造1） 口腔、食道、胃、腸の構造（2章）		
	授業内容	1. 口腔の構造を説明できる。 2. 食道の構造を説明できる。 3. 胃の構造を説明できる。 4. 小腸（十二指腸、空腸、回腸）の構造を説明できる。 5. 大腸（盲腸、結腸、直腸）の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日（曜日）	令和 7年09月29日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		

テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能1） 消化器系の酵素とホルモン（2章）			
授業内容	1. 消化器系の臓器から分泌される酵素を列挙しそれらの働きについて説明できる。 2. 消化器系の臓器から分泌されるホルモンを列挙しそれらの働きについて説明できる。 3. 栄養素の消化と吸収の過程について概略を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日（曜日）	令和 7年10月06日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	消化器系と代謝（構造2） 肝臓、膵臓、腹膜の構造（2章）		
	授業内容	1. 肝臓の構造と胆汁の排出経路について説明できる。 2. 膵臓の構造と膵液の排出経路について説明できる。 3. 腹膜と腹部内臓の位置関係を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年10月06日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能2） 肝臓と胆汁の働き（2章）		
	授業内容	1. 肝臓と胆汁の働きについて説明できる。 2. 胆汁成分の由来について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	藤原		
	テーマ	消化器系、栄養と代謝（機能3） 栄養素の消化と吸収（2章）		
	授業内容	1. 栄養素の消化と吸収の過程について説明できる。 2. 炭水化物、脂肪、タンパク質の代謝について説明できる。 3. 水・電解質・ビタミンの吸収について説明できる。 4. 基礎代謝量について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年10月20日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造1） 心臓と血管の構造（4章）		
	授業内容	1. 心臓の構造を説明できる。 2. 血管の種類と構造について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造2） 体循環と肺循環（4章）		
	授業内容	1. 肺循環について説明できる。 2. 体循環の主な動脈、静脈の走行が説明できる。 3. 採血・点滴に使われる静脈の走行・名称をあげることができる。 4. 特別な循環路〔門脈、脳〕を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年10月27日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能1） 心臓と血管の働き1（4章）		
	授業内容	1. 心筋の自律的収縮機構を説明できる。 2. 心電図測定の概略を説明できる。 3. 心音と心電図の成因を心筋の収縮と弁の開閉との関連で説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
9	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	3限
	講義室	C402		

担当者	金子			
テーマ	循環器系（機能2） 心臓と血管の働き2（4章）			
授業内容	1. 心周期について説明できる。 2. 心拍数や心拍出量の調節機構について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
10	年月日（曜日）	令和 7年11月03日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	循環器系（構造3） 胎児循環とリンパ系（4章）		
	授業内容	1. 胎児循環について説明できる。 2. リンパ節・脾臓・胸腺の構造を説明できる。 3. リンパ管の構造、リンパ管の走行について説明できる。 4. 胸管について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	循環器系（機能3） 血圧とその調節（4章）		
	授業内容	1. 血圧の発生機構およびその変動について説明できる。 2. 末梢における血液と細胞間の物質交換を説明できる。 3. 血圧の調節機構を説明できる。 4. 血圧測定の原理を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
12	年月日（曜日）	令和 7年11月10日（月）	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	泌尿器系（構造） 腎臓と尿路（5章）		
	授業内容	1. 腎臓の構造を説明できる。 2. 尿路の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
13	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	3限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造演習：器官・組織・細胞をみる		
	授業内容	1. 心臓と血管の構造を説明できる。 2. 消化器系の中空性器官と実質性器官の構造を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月29日（土）	時限	4限
	講義室	MM教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日（曜日）	令和 7年12月06日（土）	時限	1限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：心電図		
	授業内容	1. 電極を装着し、記録器に配線し、被験者の心電図を測ることができる。 2. 心電図から何がわかるかを説明できる。 3. 心電図波形の意味を心臓の動きと関連付けて説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
16	年月日（曜日）	令和 7年12月06日（土）	時限	2限
	講義室	B205		
	担当者	金子・藤原・山本		

テーマ	"			
授業内容	"			
17	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系(機能1) 腎臓の様々な働き、尿生成(5章)		
	授業内容	1. 腎臓の様々な働きについて説明できる。 2. 老廃物の由来を説明できる。 3. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
18	年月日(曜日)	令和 7年12月08日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	泌尿器系(機能2) 尿生成の仕組みとクリアランス(5章)		
	授業内容	1. 老廃物排泄の仕組みについて説明できる。 2. クリアランスの定義を述べることができる。 3. クリアランスの意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
19	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	体液の調節、電解質と酸塩基平衡(5章)		
	授業内容	1. 腎臓による水分調節の仕組みについて説明できる。 2. 腎臓による塩分調節の仕組みについて説明できる。 3. 腎臓と肺による体液のpH調節の仕組みについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
20	年月日(曜日)	令和 7年12月15日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造1) 男性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 生殖器の発生を説明できる。 2. 男性生殖器の構造(精巣、精路、支持組織)を説明できる。 3. 骨盤底・会陰の構造を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
21	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山岸		
	テーマ	生殖系(構造2) 女性生殖器(10章)		
	授業内容	1. 女性生殖器の構造を説明できる。 2. 乳腺の構造を説明できる。 3. 妊娠と胚子・胎児の発育の概要を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
22	年月日(曜日)	令和 7年12月22日(月)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能1) 性の分化、男性生殖器の機能(10章)		
	授業内容	1. 性の決定と分化について説明できる。 2. 精巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 3. 精子形成について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
23	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	生殖系(機能2) 女性生殖器の機能、妊娠と分娩(10章)		

授業内容	1. 卵巣から分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 2. 女性性周期とホルモンの変動について説明できる。 3. 胎児-胎盤単位について説明できる。 4. 妊娠時のホルモン変動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
24	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子		
	テーマ	発生と遺伝、成長と老化(1章、10章)		
	授業内容	1. 受精と胎児の発生を説明できる。 2. 妊娠中の母体の変化を説明できる。 3. 遺伝について説明できる。 4. 成長と老化に伴う組織・臓器の変化を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
25	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	3限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	機能実習：血圧の測定原理		
	授業内容	1. 血圧測定の原理を説明できる。 2. 自分および被験者の血圧を測定できる。 3. 血圧測定値に静水圧が与える影響を実験的に示すことができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
26	年月日(曜日)	令和 8年01月19日(月)	時限	4限
	講義室	B401		
	担当者	金子・藤原・山本		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
27	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	2限
	講義室	C402		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	人体の構造と機能：構造系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(構造系)で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
28	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	金子・藤原		
	テーマ	人体の構造と機能：機能系・総括		
	授業内容	1. 人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(機能系)で学んだことの要点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
29	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	3限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	構造実習：内臓の構造と胎児の成長をみる		
	授業内容	1. 胸部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 2. 腹部内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 3. 骨盤内臓を同定し、周辺臓器との関係を説明できる。 4. 胎児を観察し、受精と胎児の成長を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
30	年月日(曜日)	令和 8年01月26日(月)	時限	4限
	講義室	医学部解剖学教室		
	担当者	山岸・小野		
	テーマ	"		
	授業内容	"		

評価方法	1. 後期定期試験（多肢選択式および論述式）の成績で評価する。 2. 試験内容は、「人体の構造と機能Ⅲ」全範囲とする。 3. 定期試験不合格者については、後期の追・再試験期間に再試験を行う。ただし、再試験は1回のみとする。
教科書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1 第11版、坂井・岡田・宇賀著、医学書院 2. 2025年版「系統看護学講座」準拠・解剖生理学ワークブック、坂井・岡田・宇賀著、医学書院
参考書	1. トートラ人体解剖生理学 原著11版、トートラ・デリクソン著、佐伯他編訳、丸善出版 2. トートラ人体の構造と機能 第5版、トートラ・デリクソン著、桑木他編訳、丸善出版 3. 看護につなげる形態機能学 第2版、菱沼典子著、メヂカルフレンド社
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 金子 優子 (yukaneko@saitama-med.ac.jp) : 火曜日の4,5限目 藤原 智徳 (tfuj@saitama-med.ac.jp) : 木曜日の3,4限目 山岸 敏之 (toshiya@saitama-med.ac.jp) : 月曜日・火曜日の12時～13時 小野 公嗣 (onok@saitama-med.ac.jp) : 月曜日・火曜日の12時～13時 山本 梓司 (shinji@saitama-med.ac.jp) : 水曜日の12時～13時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員を訪ねて遠慮なく質問すること。授業後には教科書や参考書を確認し、学習内容の見直しを行うこと。 実習や演習の該当部分を予習し、教科書で内容の意味を理解しておくこと。また、実習や演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。レポートは実習・演習終了後、指示された期日までに提出すること。 レポートに対するフィードバック：各実習・演習のレポート提出に対しコメントを付け返却する。

講義名	食物・栄養学Ⅰ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
管理栄養士	◎ 伴場 裕巳	臨床検査学科教員

担当教員	伴場 裕巳
科目の目標	食物を体内に摂り入れたあと、どのようにしてエネルギーを獲得するかについての概要を学ぶ。特に三大栄養素である糖質、脂質、タンパク質の構造と性質を理解する。
学習の具体的な目標	1) 生体の構成成分とその構成元素について説明できる。 2) 体内の化学反応を司る酵素について説明できる。 3) タンパク質の基本的な構造と機能について説明できる。 4) 血漿タンパク質について説明できる。 5) 糖質および脂質の構造と機能について説明できる。 6) 糖・脂質代謝の概要を説明できる。 7) 細胞内のタンパク質の分解とアミノ酸の一般的代謝について説明できる。 8) 核酸の構造と機能について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月16日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	序論、酵素		
	授業内容	1. 生体の構成成分とその構成元素について説明できる。 2. 生体内のエネルギーとは何か説明できる。 3. 代謝とは何か説明できる。 4. 酵素とは何か説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月23日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	タンパク質		
	授業内容	1. タンパク質の構造について説明できる。 2. タンパク質の構成素であるアミノ酸について説明できる。 3. タンパク質の種類と役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年04月30日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	糖質		
	授業内容	1. 糖質の種類と役割について説明できる。 2. 糖質の構造と性質について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年05月07日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	脂質		
	授業内容	1. 脂質とは何か、またその種類と役割について説明できる。 2. リポタンパク質を分類してその役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月14日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	糖代謝と脂質代謝		
	授業内容	1. 糖質代謝について説明できる。 2. 脂質代謝について説明できる。 3. 糖・脂質代謝の関連性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月21日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	アミノ酸代謝		
	授業内容	1. アミノ酸の一般的代謝について説明できる。 2. 尿素回路について説明できる。 3. 代表的なアミノ酸の代謝について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月28日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	核酸		
	授業内容	1. 核酸の基本構造について説明できる。 2. ヌクレオチドの代謝について説明できる。 3. 遺伝子発現の概略を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年06月04日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 生体成分の性質について説明できる。 2. 食物から摂取しなければいけない三大栄養素の意義を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 前期定期試験（正誤問題、多肢選択式、論述式等）の成績で評価する。 2. 試験内容は講義内容全範囲。 3. 定期試験不合格者に対しては追・再試験期間に再試験を行う。 4. 再試験は1回のみ行う。
教科書	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能(2)：臨床生化学 第7版、宮澤 恵二 編集、メディカ出版
参考書	1. 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第5版、田地陽一編、羊土社 2. 系統看護学講座-専門基礎分野 人体の構造と機能[2] 生化学 第14版 畠山 鎮次 著 医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 水曜日の12:10～13:10

	上記時間帯で訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : bam@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員に質問すること。 受講後は、授業の内容が理解できたかどうか、WebClassに挙げられている確認問題で復習すること。 復習した知識が定着したかどうか毎回実施する小テストで確認すること。 小テストに対するフィードバックは解説を示す。 解説を参考に、理解不足の解消に努めること。

講義名	食物・栄養学Ⅱ		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
管理栄養士	◎ 伴場 裕巳	臨床検査学科教員

担当教員	伴場 裕巳
科目の目標	三大栄養素の役割を理解したうえで、生体機能調節因子であるビタミンと無機質の役割を学び、これらを食物として摂取する意義を学ぶ。また、適切な量の食物を摂取することが、疾病の一次予防や疾病の回復に繋がることを学び、栄養と健康との関わりについて理解する。
学習の具体的な目標	1) ビタミンの種類とそれらを含んでいる食品および体内における役割について説明できる。 2) 水と無機質の体内分布と生理的機能、および含まれる食品について説明できる。 3) 日本人の食事摂取基準について説明できる。 4) 栄養状態の評価と栄養の過不足状態について説明できる。 5) 栄養補給法について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月11日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	水溶性ビタミンの役割		
	授業内容	1. 水溶性ビタミンを列挙できる。 2. 水溶性ビタミンの役割について説明できる。 3. 水溶性ビタミンの欠乏症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月18日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	脂溶性ビタミンの役割		
	授業内容	1. 脂溶性ビタミンを列挙できる。 2. 脂溶性ビタミンの役割について説明できる。 3. 脂溶性ビタミンの欠乏症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年06月25日(水)	時限	1限

講義室	C402			
担当者	伴場			
テーマ	水・電解質の役割			
授業内容	1. 水の出納について説明できる。 2. 電解質の調節について説明できる。 3. 酸塩基平衡の調節について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年07月02日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	無機質（ミネラル）の役割		
	授業内容	1. 準多量元素と微量元素を説明できる。 2. 無機質による生体機能調節について説明できる。 3. 無機質の欠乏症と過剰症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年07月09日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	エネルギー代謝		
	授業内容	1. 生命維持に必要なエネルギーについて説明できる。 2. 食事誘発性体熱産生について説明できる。 3. 身体活動について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年07月16日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	食事摂取基準		
	授業内容	1. 日本人の必要なエネルギーおよび栄養素の量について説明できる。 2. 食事バランスガイドについて説明できる。 3. ライフステージごとの栄養について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年07月23日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	栄養評価法		
	授業内容	1. 栄養状態の評価について説明できる。 2. 栄養補給法について説明できる。 3. 栄養と健康維持・増進および疾病治療・予防について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年07月30日(水)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	伴場		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 食事バランスの意義について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 前期定期試験（正誤問題、多肢選択式、論述式等）の成績で評価する。 2. 試験内容は講義内容全範囲。 3. 定期試験不合格者に対しては指定の追・再試験期間に再試験を行う。 4. 再試験は1回のみ行う。
教科書	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち(4)：臨床栄養学 第6版、関戸 啓子 編集、メディカ出版
参考書	1. 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 第5版、田地陽一編、羊土社 2. 楽しくわかる栄養学、中村丁次 著、羊土社 その他、授業中に適宜提示する。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 水曜日の12:10～13:10

	上記時間帯に訪問することが困難な場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : bam@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し、授業中に理解するように努め、疑問点は教員に質問すること。 受講後は、授業の内容が理解できたかどうか、WebClassに挙げられている確認問題で復習すること。 復習した知識が定着したかどうか毎回実施する小テストで確認すること。 小テストに対するフィードバックは解説を示す。 解説を参考に、理解不足の解消に努めること。

講義名	病原微生物学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	5限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 佐藤 正夫	非常勤教員（大学外部）

担当教員	佐藤 正夫
科目の目標	感染症の症候や病態生理を学ぶための基盤として、病原微生物の基礎的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	1) 微生物の分類ができる。 2) 感染の成立と予防について説明できる。 3) 滅菌と消毒について説明できる。 4) 細菌の一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 5) 細菌の病原性について説明できる。 6) ウイルスの一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 7) ウイルスの病原性について説明できる。 8) 真菌の一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 9) 真菌の病原性について説明できる。 10) 原虫の一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 11) 原虫、蠕虫、衛生動物の病原性について説明できる。 12) 感染症の病理学的変化について説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月03日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	総論：微生物の分類と感染対策		
	授業内容	1. 微生物の分類ができる。 2. 感染の成立と予防について説明できる。 3. 滅菌と消毒について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月10日(金)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌1：細菌の一般的性質		
	授業内容			

1. 細菌の一般的性状について説明できる。
 2. 細菌の一般的検査法について説明できる。
 3. 細菌の一般的治療法について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

3	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌2: 細菌の病原性1		
	授業内容	1. グラム陽性通性嫌気性球菌の病原性について説明できる。 2. グラム陰性通性嫌気性桿菌の病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月24日(金)	時限	1限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌3: 細菌の病原性2		
	授業内容	1. 微好気性、グラム陰性らせん菌の病原性について説明できる。 2. グラム陰性好気性桿菌の病原性について説明できる。 3. グラム陰性好気性球菌の病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌4: 細菌の病原性3		
	授業内容	1. グラム陽性好気性桿菌の病原性について説明できる。 2. 通性嫌気性桿菌の病原性について説明できる。 3. 偏性嫌気性菌の病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌5: 細菌の病原性4		
	授業内容	1. マイコバクテリウムの病原性について説明できる。 2. アクチノミセス、ノカルジアの病原性について説明できる。 3. スピロヘータの病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	細菌6: 細菌の病原性5		
	授業内容	1. マイコプラズマの病原性について説明できる。 2. リケッチアの病原性について説明できる。 3. クラミジアの病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	ウイルス1: ウイルスの一般的性質		
	授業内容	1. ウイルスの一般的性状について説明できる。 2. ウイルスの一般的検査法について説明できる。 3. ウイルスの一般的治療法について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	ウイルス2: ウイルスの病原性1		

授業内容		1. ポックスウイルスの病原性について説明できる。 2. ヘルペスウイルスの病原性について説明できる。 3. アデノウイルスの病原性について説明できる。 4. パポウイルスの病原性について説明できる。 5. パルボウイルスの病原性について説明できる。 6. オルソミクソウイルスの病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	ウイルス3: ウイルスの病原性2		
	授業内容	1. パラミクソウイルスの病原性について説明できる。 2. ラブドウイルスの病原性について説明できる。 3. トガウイルスの病原性について説明できる。 4. フラビウイルスの病原性について説明できる。 5. コロナウイルスの病原性について説明できる。 6. アレナウイルスの病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	ウイルス4: ウイルスの病原性3		
	授業内容	1. フィロウイルスの病原性について説明できる。 2. ブニヤウイルスの病原性について説明できる。 3. ビコルナウイルスの病原性について説明できる。 4. レオウイルスの病原性について説明できる。 5. カリシウイルスの病原性について説明できる。 6. レトロウイルスの病原性について説明できる。 7. 肝炎ウイルスの病原性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	真菌、原虫: 真菌、原虫の一般的性質と病原性		
	授業内容	1. 真菌の一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 2. 深部真菌症について説明できる。 3. 表在性真菌症について説明できる。 4. 原虫の一般的性状、検査法、治療法について説明できる。 5. 病原性の原虫症について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	寄生虫(蠕虫)、衛生動物: 寄生虫(蠕虫)、衛生動物の一般的性質と病原性		
	授業内容	1. 寄生虫(蠕虫)の病害について説明できる。 2. 衛生動物の病害について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	感染病理1: 感染症の病理学的変化1		
	授業内容	1. 感染症の病理学的変化について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	5限
	講義室	講堂2F		
	担当者	佐藤		
	テーマ	感染病理2: 感染症の病理学的変化2		
	授業内容			

1. 主な感染症での病理学的変化について説明できる。
(予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 後期試験期間中に試験（マークシート）を行ない、出席状況、授業態度も含めて総合的に判断して評価する。 2. 試験内容は全範囲/60分 3. 不合格者には再試験を行う。
教科書	コンパクト微生物学、小熊恵二他著、南江堂
参考書	病原体・感染・免疫、藤本秀士他著、南山堂
連絡先/オフィスアワー	・授業後に教室にて相談を受け付ける。 ・随時、メールにて質問を受け付ける。 E-mail : satoma@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当部分を予習し、内容の意味を理解しておくこと。また、授業後には教科書やプリントでの確認を怠らないこと。（予習時間30分、復習時間30分）

講義名	免疫学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 小野川 傑	臨床検査学科教員

担当教員	小野川 傑
科目の目標	生体にとって重要な機能を持つ免疫は、感染防御という側面だけでなく、自己の維持に関わる主要な機能を持つ。本講義は、免疫学概論を通して自己と非自己の認識をはじめ、看護実践とのかかわりの中で免疫機構が関与する母子間免疫、免疫不全、アレルギー、輸血や臓器移植などの生体内での事象を中心に扱っていく。
学習の具体的な目標	1) 免疫応答に関与する因子について説明できる。 2) 免疫のもつ特徴について説明できる。 3) 免疫機構による感染防御について説明できる。 4) アレルギー（過敏症）と免疫のかかわりについて説明できる。 5) 輸血と免疫のかかわりについて説明できる。 6) 母子間免疫について説明できる。 上記内容について講義後与える課題に取り組み、より理解を深める。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	自己を維持するシステムとしての免疫		
	授業内容	1. 免疫は体内において何をしているのか説明できる。 2. 免疫系の4つの特徴を説明できる。 3. 免疫系に関与する細胞や器官を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月07日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	免疫学的な「私」：免疫応答の基本となる「自己」		
	授業内容	1. 自然免疫と獲得免疫のそれぞれの特徴を説明できる。 2. HLAについて構造、保有細胞や免疫系とのかかわりについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

3	年月日(曜日)	令和 7年10月14日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	感染症と免疫：細菌もウイルスも同じ防御でいいのだろうか		
	授業内容	1. 免疫グロブリンの役割を説明できる。 2. 細菌感染における防御因子について説明できる。 3. ウイルス感染における防御因子について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月21日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	免疫不全症：免疫系が機能しないと何が起こるか		
	授業内容	1. 免疫不全がどのような問題を招くか説明できる。 2. 免疫不全症の種類を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月28日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	アレルギーと免疫：春になると悩ましい、アクセサリーでかぶれる		
	授業内容	1. 免疫系の過剰反応による障害機序について説明できる。 2. 特にI型アレルギー反応について機序を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月04日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	輸血医療と免疫：なぜ輸血はABO同型の必要があるのか		
	授業内容	1. 輸血における血液型検査の意義を説明できる。 2. 免疫学的機序による輸血副反応について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月11日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	移植医療と免疫：機能しなくなったパーツを入れ替える夢と現実		
	授業内容	1. 移植医療における免疫応答について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	3限
	講義室	C405		
	担当者	小野川		
	テーマ	免疫の発達と老化：母と子の免疫学的攻防		
	授業内容	1. 胎児から乳児期にかけての免疫の発達について説明できる。 2. 母子間不適合による子への影響について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 定期試験期間中に行う筆記試験で評価する。 2. 不合格者については再試験を実施する。		
教科書		毎回講義時にハンドアウトを配布する。		
参考書		医系免疫学 矢田純一著 中外医学社 免疫ペディア 熊ノ郷敦編 羊土社		
連絡先/オフィスアワー		授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 火曜日 12:10-13:10 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にメールにてアポイントメントをとること。 連絡先は学生便覧を確認のこと。		
履修上の注意、履修要件		配布する資料にある「理解度チェック」を活用し、しっかり復習することを心がけてください。		

講義名	薬理学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（人体の構造と機能・疾病の成り立ちと回復の促進）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
医師	◎ 牧野 好倫	医学部教員

担当教員	牧野 好倫
科目の目標	疾病の回復を促進するために薬物療法は重要な役割を果たしている。本科目では薬物が効果を現すメカニズム（作用機序）を理解し、薬物療法を行う際に必要な基礎的な知識を習得する。
学習の具体的な目標	1) 薬物を規制する法令について説明できる。 2) 薬物受容体と用量反応関係を説明できる。 3) 薬物効果に影響を及ぼす要因を説明できる。 4) 薬物の体内動態を説明できる。 5) 薬物の剤形および投与方法を説明できる。 6) 臨床で使用される代表的な薬物の薬理作用、副作用、臨床応用、使用上の注意を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月01日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬理作用（薬物の作用）と薬物受容体		
	授業内容	1. 薬理作用（薬物の作用）の特徴を説明できる。 2. 薬物受容体と薬物の作用（薬理作用）の関連を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬効に影響を与える因子		
	授業内容	1. 薬効に対する年齢および性別の影響を説明できる。 2. 薬効に対する心理的影響を説明できる。 3. 代表的な薬物相互作用を説明できる。 4. 薬物依存について説明できる。 5. 薬効に対する遺伝的要因を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	1限

	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬物の適用法、薬物の体内動態		
	授業内容	1. 薬物の適用法による効果発現の違いを説明できる。 2. 吸収、分布、代謝、排泄について説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 薬物血中濃度モニタリングについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	薬物に関する法令と調剤		
	授業内容	1. 薬物の使用を規制する法令について説明できる。 2. 処方せんの役割について説明できる。 3. 添付文書の意味を説明できる。 4. 主な薬害事件を説明できる。 5. 新薬の開発の手順を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月29日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	自律神経系作用薬1：アドレナリン作用薬、抗アドレナリン作用薬		
	授業内容	1. 自律神経系の役割を説明できる。 2. アドレナリン作動性シナプスとアドレナリン受容体の特徴を説明できる。 3. アドレナリン作用薬の特徴を説明できる。 4. 抗アドレナリン作用薬の特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	自律神経系作用薬2：コリン作用薬、抗コリン作用薬		
	授業内容	1. コリン作動性シナプスとアセチルコリン受容体の特徴を説明できる。 2. コリン作用薬の特徴を説明できる。 3. 抗コリン作用薬の特徴を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月12日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	中枢神経系作用薬1：麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、統合失調症治療薬、抗うつ薬		
	授業内容	1. 代表的な麻酔薬の効果と副作用を説明できる。 2. 催眠薬の効果と副作用を説明できる。 3. 抗不安薬の効果と副作用を説明できる。 4. 統合失調症やうつ病の治療薬の効果と副作用を述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	中枢神経系作用薬2：抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬、麻薬性鎮痛薬、認知症治療薬		
	授業内容	1. 抗てんかん薬の効果と副作用を説明できる。 2. 抗パーキンソン病薬の効果と副作用を説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬の効果と副作用を説明できる。 4. 認知症治療薬の効果と副作用を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		

テーマ	救急カートにおく薬剤、電解質輸液、高カロリー輸液製剤			
授業内容	1. 救急カートに設置する薬剤について説明できる。 2. 電解質輸液について説明できる。 3. 高カロリー輸液製剤について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
10	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	オータコイド、抗アレルギー薬、抗炎症薬、痛風治療薬		
	授業内容	1. 生体機能調節におけるオータコイドの役割を説明できる。 2. 抗アレルギー薬の臨床応用と副作用を説明できる。 3. 抗炎症薬および痛風治療薬の作用機序と使用上の注意を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	強心薬、抗不整脈薬、抗狭心症薬、抗高血圧薬		
	授業内容	1. 強心薬の作用機序と副作用を説明できる。 2. 抗不整脈薬を分類しその作用機序を説明できる。 3. 抗狭心症薬の作用機序と適応症状を説明できる。 4. 高血圧症治療の第一選択薬をあげ、それらの作用機序を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	利尿薬、血液系作用薬、呼吸器系作用薬		
	授業内容	1. 利尿薬の作用機序、副作用および臨床応用を説明できる。 2. 貧血治療薬を分類しその使用上の注意を説明できる。 3. 抗血栓薬の作用機序、臨床応用および使用上の注意を説明できる。 4. 喘息治療薬の作用機序と使用上の注意を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	消化器系作用薬、内分泌系作用薬		
	授業内容	1. 下剤の作用機序と特徴を説明できる。 2. 消化性潰瘍治療薬を分類しその作用機序を説明できる。 3. ホルモン類似薬および抗ホルモン薬の臨床応用を説明できる。 4. 糖尿病治療薬を分類し、その作用機序を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	抗感染薬：抗生物質、合成抗菌薬、抗ウイルス薬、抗真菌薬		
	授業内容	1. 抗生物質および合成抗菌薬の作用機序および副作用を説明できる。 2. 日和見感染症とその治療薬について説明できる。 3. 抗真菌薬の効果と副作用を説明できる。 4. 抗ウイルス薬の効果と副作用を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	1限
	講義室	C401		
	担当者	牧野		
	テーマ	抗悪性腫瘍薬		
	授業内容	1. 抗悪性腫瘍薬の作用機序、臨床応用および副作用を説明できる。 2. 抗悪性腫瘍薬の副作用対策について説明できる。 3. 代表的な免疫関連薬物を挙げる。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 内容は全範囲 多肢選択問題（MCQ）および論述式問題 3. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を行う。
教科書	新訂版 クイックマスター薬理学 第3版、2020、鈴木正彦、サイオ出版
参考書	1. NEW薬理学 7版、2017、田中千賀子他編、南江堂 2. 標準薬理学 8版、2021、飯野正光監、医学書院 3. FLASH薬理学、2018、丸山敬、羊土社 4. 薬がみえる vol 1～4、2016～2021、医療情報科学研究所、メディックメディア 5. マンガでわかる薬物動態学、2021、大谷壽一、オーム社 6. 新訂版パワーアップ問題演習 薬理学 3版、2022、鈴木正彦、サイオ出版
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 牧野 好倫：随時、メールにて質問を受け付ける。 Email: ymakino@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	環境論		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	水曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	選択		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
臨床検査技師	◎ 富永 信子	指定なし

担当教員	富永 信子・柳澤 裕之
科目の目標	健康に影響する環境の創造や改革について理解し、ヒトが快適に過ごすための生活環境とは何かを考える。
学習の具体的な目標	1) 環境に関する用語の定義を正確に述べることができる。 2) 環境問題の発生原因、機序や病態を説明できる。 3) 環境保全とその対策について説明できる。 4) 環境要因による健康影響について説明できる。 5) 環境に関連する法規を列挙し、内容を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年11月19日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	柳澤		
	テーマ	環境医学総論-ヒトと環境		
2	年月日(曜日)	令和 7年11月26日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	地球環境と健康		
3	年月日(曜日)	令和 7年12月03日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者			
	テーマ			

担当者	富永			
テーマ	水と健康			
授業内容	1. 上水道の機構を説明できる。 2. 我が国の浄水法と水質基準について説明できる。 3. 下水処理と下水の水質について説明できる。 4. 水の汚染の原因と汚染対策について説明できる。 5. 環境破壊および健康障害について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年12月10日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	大気と健康		
	授業内容	1. 大気汚染の成因について説明できる。 2. 大気汚染物質とその健康影響について説明できる。 3. 汚染対策について説明できる。 4. 日本と世界の大気汚染エピソードについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年12月17日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	化学物質と健康		
	授業内容	1. 環境ホルモンとダイオキシン類の定義および発生源について説明できる。 2. 環境ホルモンとダイオキシン類のヒトの健康および生態系への影響について説明できる。 3. 環境ホルモンとダイオキシン類に対する行政や研究機関の取り組みと化学物質関連法規について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 8年01月07日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	廃棄物と健康		
	授業内容	1. 一般廃棄物、産業廃棄物、感染性廃棄物について例をあげて説明できる。 2. 医療現場での感染性廃棄物の取り扱いについて理解し、説明できる。 3. 環境リサイクルと3Rについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 8年01月14日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	放射線、住居環境、騒音と健康		
	授業内容	1. 居住環境の健康に及ぼす影響について説明できる。 2. 衣服の健康に及ぼす影響について説明できる。 3. 放射線の健康に及ぼす影響について説明できる。 4. 騒音と振動の健康に及ぼす影響について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 8年01月21日(水)	時限	4限
	講義室	C301		
	担当者	富永		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. まとめ (予習時間30分、復習時間60分)		
評価方法		1. 講義毎の課題提出、出席状況および筆記試験により総合的に評価する。 2. 定期試験期間に多肢選択問題の筆記試験を行う。 3. 不合格者については、定期試験終了後に再試験を行う。		
教科書		1. 配布プリント 2. 公衆衛生がみえる2024-2025. 医療情報科学研究所：メディックメディア		
参考書		1. DVD「水俣病-その20年-」保健医療学部図書館所蔵 2. 国民衛生の動向 2025-2026 一般財団法人 厚生労働統計協会		

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 授業後に教室にて質問を受け付ける。
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。 2. 余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 3. 出席日数不足の学生は定期試験の受験を認めない。 4. 公衆衛生学の試験範囲に含まれる。

講義名	生活と健康		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	金曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
保健師/助産師	◎ 藤村 博恵	看護学科教員

担当教員	藤村 博恵・鳥谷めぐみ・加古 幸子
科目の目標	看護の対象者を生活者として捉え、日常生活の行動と生活環境が人々の健康に影響を及ぼすことを学び、ヘルスプロモーションの理念を踏まえて健康の重要性を理解する。さらに、健康を維持・増進する方法を科学的根拠をもって考察することの必要性を理解したうえで、より健康的な生活をおくるための支援について学習する。また、これらの学習を通して、生活を基盤とした健康支援の必要性を理解する。
学習の具体的な目標	1) 生活の視点から日常生活の行動、食生活、衣生活、活動・運動、睡眠・休息、嗜好、ストレス、労働がどのように健康に影響を及ぼしているか説明できる。 2) 環境要因がどのように健康に影響を及ぼしているか説明できる。 3) 健康のためにどのような日常生活を送ればよいのか説明できる。 4) より健康的な生活を送るための支援について述べることができる。 5) 人々が主体的に健康を志向することの重要性と生活を基盤とした健康支援の必要性を述べることができる。
授業計画表	

1	年月日(曜日)	令和 7年05月23日(金)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	藤村		
	テーマ	生活と健康		
	授業内容	1. 生活および健康の概念を説明できる。 2. 日常生活と健康が密接な関係にあること、生活の視点から、健康に影響する要因を説明できる。 3. 生活を基盤とした健康支援の意義を説明できる。 4. ヘルスプロモーションの理念から、人が主体的に健康を志向することの重要性を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年05月30日(金)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	加古		
	テーマ	食生活および嗜好と健康		
	授業内容			

1. 食生活が健康に及ぼす影響を説明できる。 2. 健康的な食生活への支援の必要性を説明できる。 3. 嗜好が健康に及ぼす影響を説明できる。 4. 喫煙・飲酒・薬物は、健康を害すると認識していても行動変容が困難であることを説明できる。 5. 嗜好による健康障害を予防する支援の必要性を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）				
3	年月日（曜日）	令和 7年06月06日（金）	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	鳥谷		
	テーマ	生活環境と健康		
	授業内容	1. 快適に生活できる環境の要件を説明できる。 2. 地域・社会的環境要因が健康に及ぼす影響を説明できる。 3. 健康的な生活をおくるために、人間は科学や技術を活用して、どのように環境要因を制御し、あるいはそれに適応してきたかを説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
4	年月日（曜日）	令和 7年06月13日（金）	時限	4限
	講義室	C302・C305		
	担当者	鳥谷		
	テーマ	ストレスと健康、労働と健康		
	授業内容	1. ストレスが健康に及ぼす影響を説明できる。 2. こころの健康への支援の必要性を説明できる。 3. 労働が健康に及ぼす影響を説明できる。 4. 労働による健康障害を予防する支援の必要性を説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日（曜日）	令和 7年06月20日（金）	時限	4限
	講義室	C302・C305		
	担当者	藤村		
	テーマ	衣生活・活動・運動・睡眠・休息と健康		
	授業内容	1. 衣生活が健康に及ぼす影響を説明できる。 2. 健康を維持・増進する衣生活について説明できる。 3. 活動・運動および睡眠・休息が健康に及ぼす影響を説明できる。 4. 健康を維持・増進する活動・運動および睡眠・休息について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
6	年月日（曜日）	令和 7年07月04日（金）	時限	4限
	講義室	C302・C305		
	担当者	藤村・鳥谷・加古		
	テーマ	日常生活における健康課題と健康生活への支援（1）		
	授業内容	1. 身近な社会問題や自己の経験の中から、現代の健康生活における課題をあげ、それを取り上げた理由について説明できる。（グループワーク） 2. グループで取り組む課題を決め、その課題の現状、原因、結果、解決策・支援方法を調べるための方策を計画できる。（グループワーク） 3. 計画にしたがって、グループで課題に取り組むことができる。（グループワーク） （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日（曜日）	令和 7年07月18日（金）	時限	4限
	講義室	C302・C305		
	担当者	藤村・鳥谷・加古		
	テーマ	日常生活における健康課題と健康生活への支援（2）		
	授業内容	1. 計画にしたがって、グループで課題に取り組むことができる。（グループワーク） 2. 調べたことをもとに、課題の現状を分析し、健康問題・健康課題と解決策・支援方法について話し合い考察することができる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
8	年月日（曜日）	令和 7年07月25日（金）	時限	4限
	講義室	C302・C305		
	担当者	藤村・鳥谷・加古		
	テーマ	日常生活における健康課題と健康生活への支援（3）		
	授業内容			

1. 取り組んだ課題の現状、健康問題・健康課題、解決策・支援方法について、プレゼンテーション資料を作成することができる。 2. プレゼンテーション資料の作成を通して、生活を基盤とした健康支援の必要性・意義を共有することができる。 3. 現代社会において、人々がより良く生きるために必要なことは何かについて自分の考えを述べることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)	
評価方法	1. レポートを課す。内容、書式の詳細、提出期日は、授業で指示する。また、課題レポート提出に対しコメントを返す。 2. グループワーク（参加態度・作成資料を含む）、レポート、出席状況、授業態度を総合的に評価する。面接授業にて45分以上の遅刻・早退は欠席とする。 3. 不合格者については、レポートの再提出を1回課す。
教科書	新版 生活健康科学 第2版、小田切陽一他、三共出版。
参考書	1. 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 第2版 - 生活習慣病を中心に -、松本千明、医歯薬出版株式会社、2024. 2. 医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編 第2版 - 生活習慣病の予防と治療のために -、松本千明、医歯薬出版株式会社、2024. 3. 公衆衛生マニュアル2025、柳川洋編、南山堂、2025. 4. 公衆衛生がみえる2024-2025、医療情報科学研究所編、メディックメディア、2024.
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【藤村】 火曜日13：10～17：00 上記以外の面接希望者はメールにてアポイントメントをとること。 E-mail：h_fjmr@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	○授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 ○グループワークは、事前に参考文献等を調べて臨み、積極的に話し合いをしましょう。また、限られたグループワークの時間を有効に、協力的な態度で取り組みましょう。

講義名	公衆衛生学		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	木曜日	代表時限	4限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 与五沢 真吾	臨床検査学科教員

担当教員	与五沢真吾・山賀 貴
科目の目標	公衆衛生学・予防医学の概念と方法を理解し、また現状の問題点を把握する。さらに将来医療従事者として公衆衛生の向上、予防医学活動を実践するために必要な知識と国家試験に対応するための十分な知識を身に付ける。
学習の具体的な目標	1) 衛生学・公衆衛生学に関する用語の定義を正確に述べることができる。 2) 我が国の国民衛生の現状を説明できる。 3) 関連する法規を列挙し、その内容を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月02日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	公衆衛生学序論		
	授業内容	1. 公衆衛生学の考え方と目的を説明できる。 2. 主な健康指標の定義、意味について説明できる。 3. 生活と健康の関連について説明できる。 4. 公衆衛生活動の基本と分類について説明できる。 5. 生命倫理と保健医療福祉の倫理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	地域保健と衛生行政		
	授業内容	1. 地域保健・地域医療と医療従事者の役割について説明できる。 2. 地域保健活動と行政の役割について説明できる。 3. 地域における保健・医療・福祉活動の連携について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	4限

	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	人口静態統計		
	授業内容	1. 人口統計のもつ意味、人口静態統計について説明できる。 2. 日本の人口、人口構成・人口ピラミッドの推移、国際比較について説明できる。 3. 国勢調査について説明できる。 4. 日本が抱えている問題点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山賀		
	テーマ	人口動態統計		
	授業内容	1. 人口動態統計について説明できる。 2. 日本の出生、死亡、死産、婚姻、離婚の現状について説明できる。 3. 生命表と寿命について説明できる。 4. 死因統計が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	医療法と医療計画、医療保障制度		
	授業内容	1. 医療法、医療計画、医療体制について説明できる。 2. 医療保障制度について説明できる。 3. 国民医療費とその現状について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	生活習慣病・成人保健		
	授業内容	1. 生活習慣病とメタボリックシンドロームの重要性について説明できる。 2. 健康増進法、健康日本21について説明できる。 3. 特定健康診査・特定保健指導について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	老人保健		
	授業内容	1. 老人の生活と健康の現状と問題点について説明できる。 2. 老人保健法の役割について説明できる。 3. 介護保険制度の現状と問題点について説明できる。 4. 老人福祉対策の現状と問題点について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	母子保健		
	授業内容	1. 母子保健指標の定義・意味を説明できる。 2. 母子保健の現状と動向について説明できる。 3. 母子保健指標から明らかになった現状の問題点について説明できる。 4. 母子保健活動における行政の役割と母子保健対策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	学校保健・精神保健		
	授業内容			

1. 学齢期児童の健康状況について説明できる。
 2. 学校保健の組織・運営について説明できる。
 3. 健康診断をはじめとする学校保健管理について説明できる。
 4. 精神保健の現状と問題点について説明できる。
 5. 精神保健福祉活動における医療従事者と地域の役割について説明できる。
 6. 精神保健の今後の課題について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

10	年月日(曜日)	令和 7年12月04日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	国民生活基礎調査・患者調査・国民栄養基礎調査		
	授業内容	1. 国民生活基礎調査について説明できる。 2. 患者調査について説明できる。 3. 国民栄養基礎調査について説明できる。 4. 日本人の栄養所要量について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月11日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山賀		
	テーマ	食品保健・食中毒・感染症		
	授業内容	1. 食品保健に関する法律や制度について説明できる。 2. 食中毒の現状について説明できる。 3. 感染症法・検疫法・予防接種法による感染症の管理体制について説明できる。 4. 主要感染症の動向について説明できる。 5. 院内感染対策について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月18日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山賀		
	テーマ	国際保健		
	授業内容	1. 国際保健医療協力の仕組みについて説明できる。 2. 国際保健の現状と問題点について説明できる。 3. 国際保健の今後の課題について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月08日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	環境保健		
	授業内容	1. 地球環境の現状と対策について説明できる。 2. 公害について説明できる。 3. 環境基本法を中心とした環境管理体制について説明できる。 4. 廃棄物処理について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月15日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	産業保健		
	授業内容	1. 労基法、安衛法と労働衛生の管理体制について説明できる。 2. 健康保持増進、過重労働、メンタルヘルス対策について説明できる。 3. 労働災害、労災保険について説明できる。 4. 職業性疾病・産業中毒について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月22日(木)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	与五沢		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. 公衆衛生学のまとめを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)		

評価方法	1. 筆記試験、出席状況にて総合的に評価する。 2. 定期試験時に筆記試験を行う。 3. 再試験：有（1回）
教科書	1. 国民衛生の動向（2025/2026）、厚生労働統計協会、厚生労働統計協会 2. 公衆衛生がみえる最新版、医療情報科学研究所編、メディックメディア
参考書	1. 専門基礎分野 公衆衛生 神馬征峰他著、医学書院
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【与五沢】 火曜日 9：00-10：00、16：30-18：00 上記時間帯以外で面接を希望する者は、メールにてアポイントメントをとること。 連絡先：yogosawa@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	看護関係法規		
(副題)	看護の対象としての人間の理解（健康支援と社会保障制度）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	1限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
指定なし	◎ 加藤 巳佐子	非常勤教員（大学外部）

担当教員	加藤巳佐子
科目の目標	看護専門職者として業務を遂行するために必要となる法について基本的な知識を修得する。
学習の具体的な目標	1) 衛生関係法規に関する基本的な概念を説明できる。 2) 保健師助産師看護師法について説明できる。 3) 医療法について説明できる。 4) 移植医療及び業務に関する法律について説明できる。 5) 職務遂行に伴う法的責任について説明できる。 6) 個人情報の保護に関する法律について説明できる。 7) 看護専門職者として働く際に関係のある労働関係法規について説明できる。 8) 看護専門職者が連携・協働する医療及び福祉職者の業務を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月09日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	衛生関係法規に関する基本的な概念		
	授業内容	1. 看護職が法律を学ぶ意義を説明できる。 2. 衛生法規とは何か説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月16日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	保健師助産師看護師法		
	授業内容	1. 保健師助産師看護師法の沿革について説明できる。 2. 保健師助産師看護師法の目的について説明できる。 3. 保健師、助産師、看護師の法律上の定義および免許の要件について説明できる。 4. 保健師、助産師、看護師の法律上の業務について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年10月23日(木)	時限	1限

講義室	C301			
担当者	加藤			
テーマ	医療法			
授業内容	1. 医療法の目的について説明できる。 2. 病院等の定義について説明できる。 3. 病院等の管理、人員配置基準について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
4	年月日(曜日)	令和 7年10月30日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	移植医療に関する法律および薬務法		
	授業内容	1. 移植医療に関する法律について説明できる。 2. 薬務に関する法律について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月06日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	個人情報の保護に関する法律		
	授業内容	1. 個人情報の保護に関する法律の背景について説明できる。 2. 個人情報の定義を説明できる。 3. 個人情報の適切な取扱いについて説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月13日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	職務遂行に伴う法的責任		
	授業内容	1. 医療事故に伴う刑事責任について説明できる。 2. 医療事故に伴う民事責任について説明できる。 3. 医療事故に伴う行政責任について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月20日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	労働関係法規		
	授業内容	1. 労働基準法の目的を説明できる。 2. 労働安全衛生法について説明できる。 3. 看護師等の人材確保の促進に関する法律について説明できる。 4. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律について説明できる。 5. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月27日(木)	時限	1限
	講義室	C301		
	担当者	加藤		
	テーマ	医療福祉関係者の資格法		
	授業内容	1. 看護専門職者が協働する医療職者の業務を説明できる。 2. 看護専門職者が協働する福祉職者の業務を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法	1. 前期定期試験期間に筆記試験を行う(60%)。 2. 授業内の課題レポートも評価対象とする(30%)。 3. 遅刻・欠席等、授業への参加態度を評価に含む(10%)。 4. 不合格者は定期試験終了後に1回再試験を行う。			
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度[4]看護関係法令、森山幹夫著、医学書院			
参考書	1. 池上彰、超訳 日本国憲法、新潮新書、2015、新潮社 2. 日本看護協会、看護法令要覧(最新版)			

連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問、フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 木曜日12:10～13:10 授業終了後、事前にメール等でアポイントメントを取ること。 E-mail : 5656melissa@gmail.com
履修上の注意、履修要件	授業終了後に学習内容の見直しを行うこと。参考書を読む他、図書館等で参考文献の確認を行い学習内容の理解を深めることに心掛けること。

講義名	看護学概論 I		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	2単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・加島 聡美
科目の目標	看護専門職として看護の概念、および看護の本質を追求し、科学的な看護実践の視点を身につけ、看護活動を創造的にすすめられる基盤を学習し、ヘルスケアにおける看護の役割、専門性について学習する。
学習の具体的な目標	1) 看護の概念を理解し、看護ケアの本質について説明ができる。 2) 看護活動の基盤構造と機能について説明ができる。 3) 援助的関係形成の基本原則と関わりとしてのケアリングが説明できる。 4) 健康のとらえ方、および健康水準と看護の関連性について説明ができる。 5) 看護の対象は、さまざまな健康水準にあるすべての人間であることが説明できる。 6) 看護ケアの必要性を、対象が示す反応から導く論理が説明できる。 7) ヘルスケアシステムにおける看護職者の役割について述べるができる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月11日(金)	時限	2限
	講義室	講堂2F		
	担当者	横山		
	テーマ	看護の概念と目的の理解(1)		
	授業内容	1. 看護学概論 I を学ぶ意義について説明できる。 2. 看護とは何かが説明できる。 3. 看護の目的について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	横山		
	テーマ	看護の概念と目的の理解(2)		
	授業内容	1. 看護の成り立ちと看護の概念と定義について説明できる。 2. 看護の歴史と看護の発展について説明できる。 3. 看護専門職としての看護の独自の機能について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
3	年月日(曜日)	令和 7年04月15日(火)	時限	4限

講義室	C402			
担当者	横山			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
4	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	3限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	1. 人間の基本的ニーズの理解 2. 看護の基本原則である安全・安楽・自立について		
	授業内容	1. 人間の基本的ニーズについて説明できる。 2. 人間の日常生活行動について説明できる。 3. 看護の対象の日常生活行動とその援助について説明できる。 4. 看護の対象の基本的ニーズに対応した日常生活行動の援助を行うために必要な視点について説明できる。 5. 看護の基本原則である安全・安楽・自立について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
5	年月日(曜日)	令和 7年04月22日(火)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	看護の対象の理解		
	授業内容	1. 人間は成長発達しつづける存在であることを説明できる。 2. 人間を統合体として、ホリスティックな視点でとらえることの意味が説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月01日(木)	時限	4限
	講義室	C401		
	担当者	横山		
	テーマ	患者の意思決定支援と倫理的看護実践 看護の本質の理解		
	授業内容	1. 患者の意思決定支援について説明できる。 2. 倫理的看護実践について説明できる。 3. 看護の本質を理解し、看護とは何かについての考えを深めることができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山		
	テーマ	看護活動の基盤となる援助的関係について		
	授業内容	1. 援助的関係を支える援助者としてのあり方について説明できる。(ロールプレイ) 2. 援助的関係の形成が、対象の全人的な回復におよぼす影響について説明できる。(ロールプレイ) (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年05月08日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	横山		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
10	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	3限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		

テーマ	1. 健康とは何か 2. 健康の保持・増進と病気の予防 3. チーム医療における看護職の役割(1)			
授業内容	1. 健康とは何かについて説明できる。 2. 健康の保持・増進と病気の予防について説明できる。 3. 保健医療の提供とチーム医療について説明できる。 4. 病院のチーム医療における看護職の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
11	年月日(曜日)	令和 7年05月13日(火)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	加島・横山		
	テーマ	1. 看護における援助的関係形成とケアリングについて 2. チーム医療における看護職の役割(2)		
	授業内容	1. 看護におけるケアリングの意味について説明できる。 2. 援助的関係形成とケアリングについて説明できる。 3. チーム医療における、患者の健康回復を目指すための看護職の役割について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 7年05月20日(火)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	横山		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
14	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	3限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	看護専門職としてのあり方について		
	授業内容	1. 看護の質向上のための看護師のあり方について説明できる。(グループワーク) 2. 目指すべき看護師像を明確にできる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 7年05月27日(火)	時限	4限
	講義室	C402・C405・C406		
	担当者	横山		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 出席状況、授業態度、レポートを総合的に判断して評価する。 2. 評価が合格点に満たなかった場合は、追加課題を提示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[1] 看護学概論、茂野香おる他、医学書院、2025。 2. 看護覚え書―看護であること 看護でないこと 第8版、F. ナイチンゲール 著、湯槇ます・薄井坦子・小玉香津子・田村真・小南吉彦 訳、現代社、2024。 3. 看護の基本となるもの、ヴァージニア・ヘンダーソン、湯槇ます他訳、日本看護協会出版会、2024。
参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問などはオフィスアワーを利用すること。 【横山】 木曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email : yoko_h@saitama-med. ac. jp
履修上の注意、履修要件	1. 授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考書、参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 2. 看護学概論Ⅰは、入学後、最初に学ぶ看護学の専門科目であり、この科目で学んだことは、他の看護学の学習や臨地実習の学習の基礎となる重要な科目である。 3. この授業の開講時期は、看護技術論の授業進捗との関係から、時間割表ではなくシラバスの曜日と時間に

沿って行うので、科目と時間を間違わないように注意し出席すること。

4. 学習資料は、必要に応じて授業中に提示し、また、配付資料を用いて授業を行う。

5. 学習方法として随時、グループワークやロールプレイを予定している。これは、他者の考えに触れ学習がより深められることをねらいとするためである。したがって、授業には、毎回出席し積極的に参加し学んでいく。

6. 課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。課題の内容は評価対象とする。また、各課題のレポートに対し、コメントを返す。

講義名	看護技術論		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1	時間	15.00
代表曜日	木曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/15時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 山崎 美智子	看護学科教員

担当教員	山崎美智子・横山ひろみ・関根由紀子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	人間を対象とする専門技術である看護技術の基本的概念や特徴について学習する。人間の尊厳に基づく看護技術であることの意味を習得する。看護の専門知識に基づき、対象者の安全・安楽・自立を目指した、目的意識的な直接的行為である看護技術の原理・原則を理解する。
学習の具体的な目標	1) 看護技術の特徴を説明できる。 2) 看護技術の基本原則および看護技術の習得プロセスを説明できる。 3) 看護における観察の意義について説明できる。 4) 療養生活の場である入院環境について説明できる。 5) 看護職としての衛生的手洗いの目的と方法が説明できる。 6) 衛生的手洗いについて、原理・原則を踏まえて実施できる。 7) 看護援助に必要な姿勢や動作、ボディメカニクスの意義を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	実習室オリエンテーション① <感染予防> 1. 基本的な手洗い 2. ディスポーザブル手袋の取扱い等		
	授業内容	1. 実習室オリエンテーション 1) 実習室の使用方法について、「実習室使用の手引き」に沿って説明できる。 2) 基礎看護技術に関する自己学習の手続き方法について説明できる。 2. 感染予防 1) 看護にとっての衛生的手洗いの必要性を説明できる。 2) 衛生的手洗いの目的・種類・原則・方法を説明できる。 3) 衛生的手洗いを実施することができる。 4) ディスポーザブル手袋を正しい方法で着脱できる。 5) マスクを正しい方法で着脱できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年04月17日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		

担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
3	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	4限
	講義室	C302・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・矢戸		
	テーマ	実習室オリエンテーション②		
	授業内容	1. 基礎看護技術を学ぶ実習室の設備などを探索し、学習環境について知ることができる。 2. 基礎看護技術の学習で使用する物品や設備を観察することができる。 3. 療養環境で使用するベッドの構造について説明できる。(グループワーク) 4. ベッドの操作の安全性について説明できる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年04月25日(金)	時限	5限
	講義室	C302・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年05月02日(金)	時限	4限
	講義室	C302		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	看護技術とは 看護技術の基本原則と習得のプロセス		
	授業内容	1. 看護技術とは何かを説明できる。 2. 看護技術の特徴について説明できる。 3. 人間の尊厳を大切にしたい看護技術について説明できる。 4. 看護技術の基本原則について説明できる。 5. 看護技術の習得プロセスについて説明できる。 6. 看護技術がもたらす看護援助への発展について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	3限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	看護師のボディメカニクス		
	授業内容	1. よい姿勢の意味について説明できる。 2. ボディメカニクスについて説明できる。 3. ボディメカニクスを活用し、患者に援助を実施する必要性について説明できる。(グループワーク) 4. タッチング技術を活用し、患者に援助を実施する必要性について説明できる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年05月15日(木)	時限	4限
	講義室	C401・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
8	年月日(曜日)	令和 7年05月22日(木)	時限	3限
	講義室	C401		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	看護における観察とは		
	授業内容	1. 看護における観察の意義を説明できる。 2. 看護における観察の手段について説明できる。 3. 観察の基礎となる看護師の感覚について説明できる。 4. 看護の対象者を全人的に観察することの重要性について説明できる。 5. 観察の信頼性と妥当性について説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
評価方法		1. 授業態度(10%)、演習課題・レポート(90%)を総合的に判断して評価する。 2. 評価が合格点に満たなかった場合は追加課題を提示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。		

教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院、2025 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院、2025
参考書	講義資料に示す
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山崎】 木曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email : miyama93@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には教科書の該当ページを予習し、放課後には学習内容の見直しを行うこと。さらに余暇を利用して図書館での参考文献の確認などを行い、学習内容の理解を深めることに心掛けること。 1) この授業の開講時期は、看護学概論の授業進度との関係からシラバスの曜日と時間に沿って行うので、科目と時間を間違わないように注意し出席する。 2) 講義・演習が並行して進行するので、遅刻、早退、欠席をしないように注意する。 3) 演習の場合は授業時に、演習内容、グループ編成、進め方を記した演習計画を配布する。熟読して授業に臨む。 4) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておくこと。教員の指導を必要とする場合は申し出る。 5) 演習記録・課題レポートの提出が提示されている場合は、指定された期日を厳守する。演習記録・課題レポートの内容は評価対象とする。

講義名	基礎看護技術Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	前期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	火曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年前期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 関根 由紀子	看護学科教員

担当教員	関根由紀子・横山ひろみ・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・穴戸 裕子		
科目の目標	看護技術の中心となる生活行動援助技術の原理・原則を学ぶ。特に日常生活行動の基礎となる、活動・休息を充足するための援助技術、健康の保持・増進、療養状態に大きな影響を与える環境を整えるための援助技術を習得する。講義、デモンストレーションおよびグループによる演習を組み合わせ学習を深める。 常に看護の対象を意識して演習することができるように、看護技術を受ける人（対象）と看護技術を行う人（看護者）との関係を考えつつ、それぞれの役割を体験する中で対象の立場に立って行動することを学ぶ。		
学習の具体的な目標	1) 効果的なコミュニケーションの基本技術を説明できる。 2) 安全で快適な療養生活の場になるよう環境を整える意義を説明できる。 3) 安全で快適な療養生活の場を整えるためのベッドメイキングを実施できる。 4) 安全・安楽・自立を考慮し、移動の援助を実施できる。 5) 安全・安楽・自立を考慮し、臥床患者のシーツ交換を実施できる。 6) ボディメカニクスを活用し、援助が実施できる。 7) 患者を尊重した態度で援助が実施できる。		

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	コミュニケーションの基本技術 療養生活環境のあり方と看護師の役割		
	授業内容	1. 看護におけるコミュニケーションの意義を説明できる。 2. 演習中の患者役・看護師役を通して、コミュニケーションを学ぶことの意味を説明できる。 3. 療養環境のあり方と患者に与える影響について説明できる。(グループワーク) 4. 療養生活の環境における看護師の役割を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年06月03日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	"		

授業内容		〃				
3	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	3限		
	講義室	C402・B401・B402				
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸				
	テーマ	生活環境：ベッドメイキング				
	授業内容	1. ベッド周囲の環境を整備する必要性を説明できる。 2. ベッドメイキングの目的とリネンの特徴を説明できる。 3. 効果的なベッドメイキングにするために、リネン類を準備する必要性を説明できる。 4. 作業面・作業域・作業姿勢の確保を行いながらベッドメイキングを実施できる。 5. 患者にとって安全・安楽な場になるようなベッドメイキングを実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
4	年月日(曜日)	令和 7年06月10日(火)	時限	4限		
	講義室	C402・B401・B402				
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸				
	テーマ	〃				
	授業内容	〃				
5	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	3限		
	講義室	C401・B401・B402				
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸				
	テーマ	姿勢と動作：体位変換①				
	授業内容	1. 基本的活動の意義について説明できる。 2. 体位の種類について説明できる。 3. 体位変換の目的・方法・留意点について説明できる。 4. 臥床している対象者の仰臥位から側臥位への体位変換を、安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 5. 臥床している対象者の仰臥位から長座位・端座位および立位への体位変換を、安全・安楽・自立に配慮して、実施できる。 6. 実施者・対象者の両者のボディメカニクスを活用し体位変換を実施できる。 7. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
6	年月日(曜日)	令和 7年06月12日(木)	時限	4限		
	講義室	C401・B401・B402				
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸				
	テーマ	〃				
	授業内容	〃				
7	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	3限		
	講義室	C402・B401・B402				
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸				
	テーマ	生活環境：臥床患者のシーツ交換				
	授業内容	1. リネンを交換する目的を説明できる。 2. 臥床している対象者のシーツ交換の目的・方法・留意点を説明できる。 3. 臥床患者のシーツ交換を、安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
8	年月日(曜日)	令和 7年06月17日(火)	時限	4限		
	講義室	C402・B401・B402				
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・矢戸				
	テーマ	〃				
	授業内容	〃				
9	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	3限		
	講義室	C402・B401・B402				
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸				
	テーマ	姿勢と動作：体位変換②				
	授業内容					

1. 体位保持の意義について説明できる。 2. 体位保持の目的・方法・留意点について説明できる。 3. 臥床している対象者の仰臥位、セミファウラー位、側臥位の体位保持を、安全・安楽・自立に配慮して、実施できる。 4. 実施者・対象者の両者のボディメカニクスを活用し体位変換・体位保持を実施できる。 5. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)				
10	年月日(曜日)	令和 7年06月24日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	看護技術の確認		
	授業内容	1. 既習の看護技術を「安全・安楽・自立」に配慮して実施することができる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年07月01日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・穴戸		
	テーマ	移動動作：移乗・移送(車椅子、ストレッチャー)		
	授業内容	1. 移乗・移送の援助について説明できる。 2. 車椅子への移乗・移送の目的・方法・留意点について説明できる。 3. 車椅子への移乗・移送を対象者の安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. ストレッチャーへの移乗・移送の目的・方法・留意点について説明できる。 5. ストレッチャーへの移乗・移送を対象者の安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 6. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年07月08日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・穴戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日(曜日)	令和 7年07月15日(火)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	休息と睡眠、授業のまとめ		
	授業内容	1. 休息と睡眠の意義を説明することができる。 2. 睡眠の種類を説明できる。 3. 睡眠障害の種類とその要因を説明することができる。 4. 睡眠への援助方法について説明することができる。		
評価方法		1. 前期試験期間に筆記試験を行う。 2. 定期試験(80%)、実技試験(10%)、演習記録、演習課題、演習態度(10%)を総合的に評価する。 3. 基準に満たなかった場合は再試験を1回行う。		
教科書		系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任 和子他著、医学書院 *上記の教科書は、基礎看護技術Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、看護方法演習Ⅰ、Ⅱ、看護学概論Ⅱにおいても使用する。		

参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【関根】 水曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントをとること。 E-mail:sekiney@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。また、各課題のレポート提出に対し、コメントを返す。 1) 講義・演習が並行して進行するので、遅刻・早退・欠席をしないように注意する。やむを得ず欠席等した場合には、教員に申し出て指示を受ける。 2) 授業時に、演習内容、グループ編成、進め方を記した演習計画を配付する。熟読して授業に臨む。 3) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておくこと。教員の指導を希望する場合は、申し出る。 4) 看護技術の習熟には、反復練習が必要であり、積極的に自己学習を行う。 5) 演習中は、対象の安全と安楽を配慮し、危険を防ぎ、対象に不快感を与えないよう、言葉遣いや態度に十分注意する。 6) 演習記録、演習課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。その内容は評価対象とする。 7) グループ毎に演習前の準備や終了時の片づけ、あるいはベッドサイド周囲の整頓は責任を持って行う。

講義名	基礎看護技術Ⅱ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 山崎 美智子	看護学科教員

担当教員	山崎美智子・横山ひろみ・関根由紀子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	対象者の健康状態を観察する目的、観察方法、相手の立場に立った観察の原則を理解し、基本的な観察技術を習得する。人体の構造と機能の基本的事項をふまえ、測定を含む非侵襲的な生理学的観察方法を中心に演習を行う。また、観察結果の意味を考え、身体の状態を総合的に把握するプロセスを学び、必要な援助について考える。 講義、デモンストレーションおよびグループによる演習を組み合わせる学習を深める。常に特定の対象者を意識して演習することができるように、ロールプレイ（患者役、看護者役）を行う。それぞれの役割を体験する中で相手の立場になって行動することを学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 対象者の健康状態を把握する必要性を説明できる。 2) 観察の原則を述べることができる。 3) 基本的な観察方法を説明できる。 4) 基本的な観察方法の相互の関連を説明できる。 5) 基本的な観察方法を実施できる。 6) 観察結果の意味を考え、身体の状態を総合的に観察できる。 7) 観察結果の意味から、必要な援助について考察できる。 8) 対象者の状態に応じた必要な援助技術の方法を説明できる。 9) 対象者の状態に応じた必要な援助技術を実施できる。 10) 対象者の反応をとらえつつ、安全・安楽に配慮して援助を実施できる。 11) 患者を尊重した声かけや援助技術を実施できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	4限
	講義室	C402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	健康状態の把握（ヘルスアセスメント）とは 健康の評価、身体計測、バイタルサイン		
	授業内容	1. 対象者の健康状態を把握すること（ヘルスアセスメント）の意味を説明できる。 2. ヘルスアセスメントの目的・方法・留意点を説明できる。 3. 身体計測の目的・方法・留意点を説明できる。 4. バイタルサインが示す意味を説明できる。 5. バイタルサインの記録の方法について説明できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
2	年月日(曜日)	令和 7年11月18日(火)	時限	5限

講義室	C402			
担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸			
テーマ	脈拍・血圧の観察1			
授業内容	1. 脈拍の観察の目的・方法・留意点を説明できる。 2. 脈拍測定部位の触知について体験する。 3. 血圧の観察の目的・方法・留意点を説明できる。 4. 血圧の観察結果が示す意味を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	脈拍・血圧の観察2		
	授業内容	1. 脈拍の観察の目的・方法・留意点を説明できる。 2. 脈拍触知可能部位の触知ができる。 3. 脈拍測定を安全・安楽に配慮して実施できる。 4. 血圧測定の目的・方法・留意点を説明できる。 5. 上肢の血圧測定を安全・安楽に配慮して実施できる。 6. 血圧の観察結果が示す意味を説明できる。 7. 患者を尊重した態度で実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月21日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	体温の観察 体温調節の援助：電法		
	授業内容	1. 体温の観察の目的・方法・留意点を説明できる。 2. 腋窩の体温を測定できる。 3. 体温の観察結果が示す意味を基準値と比較して説明できる。 4. 電法の目的・方法・適応・留意点を説明できる。(グループワーク) 5. 電法(温電法・冷電法)の安全・安楽に配慮すべき事項が説明できる。 6. 患者を尊重した態度で実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月25日(火)	時限	5限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・宍戸		
	テーマ	呼吸・腹部の観察		
	授業内容	1. 呼吸の観察の目的を説明できる。 2. 呼吸の基本的な観察方法(問診・視診・触診・聴診・打診)を説明できる。 3. 呼吸の基本的な観察方法(視診・聴診)を実施できる。 4. 呼吸の観察が示す意味を説明できる。 5. 腹部の観察の目的を説明できる。 6. 腹部の基本的な観察方法(問診・視診・聴診・触診・打診)を説明できる。 7. 腹部の観察が示す意味を説明できる。 8. 腹部の腸蠕動音を安全・安楽に配慮して聴取できる。 9. 対象者の反応をとらえつつ、安全・安楽に配慮して観察できる。 10. 患者を尊重した態度で実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
8	年月日(曜日)	令和 7年11月28日(金)	時限	4限

講義室	C402・B401・B402			
担当者	加古・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・宍戸			
テーマ	〃			
授業内容	〃			
9	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	体温・脈拍・血圧・呼吸の観察		
	授業内容	1. 体温・脈拍・血圧・呼吸の観察の目的を説明できる。 2. 体温・脈拍・血圧・呼吸の基本的な観察方法を説明できる。 3. 体温・脈拍・血圧・呼吸の観察を安全・安楽に配慮して実施できる。 4. 体温・脈拍・血圧・呼吸の観察が示す意味を説明できる。 5. 対象を尊重した態度で実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
10	年月日(曜日)	令和 7年12月02日(火)	時限	5限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
11	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	呼吸を整える援助：酸素吸入		
	授業内容	1. 酸素吸入の目的・適応を説明できる。 2. 酸素吸入の種類・方法・留意点を説明できる。 3. 鼻カニューレ・酸素マスクを用いた方法を説明できる。 4. 中央配管・酸素ボンベからの酸素吸入の方法を説明できる。 5. 鼻カニューレ・酸素マスクを用いた方法を実施できる。 6. 中央配管・酸素ボンベからの酸素吸入を実施できる。 7. 対象者の反応をとらえつつ、安全・安楽に配慮して援助を実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
12	年月日(曜日)	令和 7年12月05日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	塩見・横山・関根・山崎・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
13	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	2限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	看護技術の確認		
	授業内容	1. 正確な方法で正確なバイタルサインや身体を観察できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
14	年月日(曜日)	令和 7年12月19日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
15	年月日(曜日)	令和 7年12月24日(水)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	山崎・横山・関根・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	身体の総合的観察・状態の把握		
	授業内容			

1. 観察結果の意味を解釈し、身体の状態を総合的に把握できる。
 2. バイタルサインを経時的に把握する必要性を説明できる。
 3. 観察結果を記録に残す必要性について説明できる。
 4. 対象者の健康状態を全人的に把握する意味について説明できる。
- (予習時間30分、復習時間30分)

評価方法	1. 後期定期試験期間に筆記試験を行う。 2. 定期試験（80%）、実技試験（10%）、演習記録、演習課題、演習態度（10%）を総合的に評価する。 3. 基準に満たなかった場合は再試験を1回行う。
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院. 2025 2. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院. 2025
参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【山崎】 火曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail : miyama93@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。 1) 講義・演習が並行して進行するので遅刻、早退、欠席はしないように注意する。やむを得ず欠席した場合は、教員に申し出て指示を受ける。 2) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておくこと。教員の指導を希望する場合は事前に申し出る。 3) 看護技術の習熟には、反復練習が必要である。積極的に自己学習を行う。 4) 演習中は、対象の安全と安楽に配慮し、危険を防ぎ、あわせて対象が不快感をもたないよう言葉遣いや態度に十分注意する。 5) 演習記録、演習課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。その内容は評価対象とする。また、各課題のレポート提出に対し、コメントを返す。 6) グループ毎に演習前の準備や終了時の片付けあるいはベッド周囲の整頓は責任を持って行う。

講義名	基礎看護技術Ⅲ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	水曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 関根 由紀子	看護学科教員

担当教員	関根由紀子・横山ひろみ・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	看護技術の中心となる生活行動援助技術の原理・原則を学ぶ。特に、日常生活を健康的に営む上で欠かすことのできない衣生活や身体の清潔を維持するために必要な科学的根拠に基づいた援助技術を習得する。さらに、援助技術を行うことを通して身体的・心理的・社会的な意義について学習できるよう講義、デモンストラーションおよびグループによる演習を組み合わせ学習を深める。 特に演習では、看護技術を受ける人（対象）と看護技術を行う人（看護者）との関係を考え、それぞれの役割を体験する中で対象の立場に立って行動することを学ぶ。
学習の具体的な目標	1) 看護における衣生活、清潔の援助の意義と看護師の役割を説明できる。 2) 生活行動援助技術である衣生活と清潔への援助に関する原理・原則を説明できる。 3) 健康に関わる生活行動のそれぞれが相互に関連しあっていることが説明できる。 4) 設定された条件下の対象の状態に応じた衣生活・清潔援助技術の方法が説明できる。 5) 衣生活と清潔の生活行動援助技術を、留意点をふまえ、基本的な方法で実施できる。 6) 対象の反応を確認しながら、安全・安楽・自立に配慮して援助が実施できる。 7) 患者のプライバシーに配慮した援助が実施できる。 8) 患者を尊重した態度で援助が実施できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年09月30日(火)	時限	1限
	講義室	C402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	身体の清潔の援助の意義		
	授業内容	1. 看護における日常生活行動の援助の意義について説明できる。 2. 看護における身体の清潔の援助の意義を説明できる。(グループワーク) 3. 身体の清潔の保持の援助の方法について説明できる。 4. 対象者の条件・状態に応じた清潔ケアの選択肢について説明できる。 5. 入浴・シャワー浴に伴う心身の影響を説明できる。 6. 入浴・シャワー浴の援助の目的・方法・留意点を説明できる。 7. 整容の援助の目的・方法・留意点を説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		

担当者	宍戸・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古			
テーマ	看護における衣生活 衣生活の援助：寝衣交換「二部式寝衣」			
授業内容	1. 衣服を用いることの意義を説明できる。 2. 看護における衣生活の援助の意義を説明できる。 3. 療養生活における病衣の特徴、選び方について説明できる。 4. 寝衣交換の目的・方法・留意点を説明できる。 5. 臥床患者の寝衣交換を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 6. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）			
3	年月日(曜日)	令和 7年10月08日(水)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	宍戸・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
4	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	身体の清潔の保持：頭皮頭髮の清潔の意義と方法 臥床患者の洗髪法（ケリーパッド）		
	授業内容	1. 頭皮頭髮の清潔の意義が説明できる。 2. 洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。 3. 洗髪法の種類と特徴を説明できる。 4. 臥床患者の洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。 5. 臥床患者の洗髪を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 6. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
5	年月日(曜日)	令和 7年10月15日(水)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
6	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	2限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	身体の清潔の保持：臥床患者の洗髪法（ケリーパッド）		
	授業内容	1. 頭皮頭髮の清潔の意義を説明できる。 2. 洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。 3. 洗髪法の種類と特徴を説明できる。 4. 臥床患者の洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。 5. 臥床患者の洗髪を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 6. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
7	年月日(曜日)	令和 7年10月17日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
8	年月日(曜日)	令和 7年10月22日(水)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	宍戸・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古		
	テーマ	身体の清潔の保持：部分浴「手浴・足浴」		
	授業内容			

1. 部分浴（手浴・足浴）の意義を説明できる。
2. 部分浴（手浴・足浴）の目的・方法・留意点を説明できる。
3. 臥床患者の足浴を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。
4. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。
（予習時間30分、復習時間30分）

9	年月日（曜日）	令和 7年10月22日（水）	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	宍戸・横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
10	年月日（曜日）	令和 7年10月24日（金）	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	身体の清潔の保持：全身清拭、背部熱布清拭①		
	授業内容	1. 全身清拭、背部熱布清拭の意義を説明できる。 2. 全身清拭、背部熱布清拭の目的、方法、留意点を説明できる。 3. 臥床患者の全身清拭、背部熱布清拭を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
11	年月日（曜日）	令和 7年10月24日（金）	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日（曜日）	令和 7年10月29日（水）	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	身体の清潔の保持：全身清拭、背部熱布清拭②		
	授業内容	〃		
13	年月日（曜日）	令和 7年10月29日（水）	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
14	年月日（曜日）	令和 7年11月12日（水）	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	看護技術の確認		
	授業内容	1. 既習の看護技術を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 （予習時間30分、復習時間30分）		
15	年月日（曜日）	令和 7年11月12日（水）	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		

評価方法	1. 後期試験期間に筆記試験を行う。 2. 定期試験（80%）、実技試験（10%）、演習記録、演習課題、演習態度（10%）を総合的に評価する。 3. 基準に満たなかった場合は再試験を1回行う。
教科書	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院

参考書	講義資料に示す。
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【関根】 木曜日16:30~17:30 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 E-mail: sekiney@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らないこと。また、各課題のレポート提出に対し、コメントを返す。 1) 講義・演習が並行して進行するので、遅刻・早退・欠席をしないように注意する。やむを得ず欠席等した場合には、教員に申し出て指示を受ける。 2) 授業時に、演習内容、グループ編成、進め方を記した演習計画を配布する。 3) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておくこと。教員の指導を希望する場合は、申し出る。 4) 看護技術の習熟には、反復練習が必要であり、積極的に自己学習を行う。 5) 演習中は、対象の安全と安楽を配慮し、危険を防ぎ、対象が不快感をもたないように、言葉遣いや態度に十分注意する。 6) 演習記録、演習課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。その内容は評価対象とする。 7) グループ毎に演習前の準備や終了時の片づけ、あるいはベッドサイド周囲の整頓は責任を持って行う。

講義名	看護方法演習Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（看護専門分野）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	演習
基準単位数	1	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	3限
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/30時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員		
職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	看護の対象の日常生活行動の状態を理解し、その人にとって必要なケアを考え、適切な援助方法を学ぶ。事例（ペーパーペーシエント）への日常生活行動の援助を通して、根拠に基づき判断した援助技術を習得する。また、対象との関係を大切にしたい看護者としての倫理的な姿勢・行動とは何かを学ぶ。基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの科目で学習した知識や看護技術を、事例において統合し、対象に応じた看護実践であることの重要性を学ぶ。
学習の具体的な目標	1) シミュレーション学習を通して、対象(事例)の健康状態から基本的ニーズに基づく対象の日常生活行動の状態を説明できる。 2) 対象にとっての日常生活行動の意味を説明できる。 3) 対象に必要な日常生活行動の援助を考え、根拠に基づき判断した援助の方法を説明できる。 4) 基本的な方法をふまえ、対象に必要な援助を、安全・安楽・自立を考慮しながら実施できる。 5) 行った看護援助から、患者の反応と変化をとらえ、その看護援助の意味を説明できる。 6) 対象を尊重した態度で接することができる。 7) 対象と関係性を築くことの重要性を説明できる。

授業計画表				
1	年月日(曜日)	令和 7年10月31日(金)	時限	3限
	講義室	C402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・宍戸		
	テーマ	科目について 対象への日常生活行動の援助		
	授業内容	1. 看護方法演習Ⅰの科目の目標および学習方法を説明できる。 2. シミュレーション学習を通して、対象の日常生活行動を理解することの重要性を説明できる。 3. 対象(事例)の日常生活行動と、その状態に応じた援助について説明できる。 4. 対象の状態に応じた安全・安楽・自立に配慮した援助の必要性について説明できる。 5. 看護援助を実施するために、対象と関係を築くことの意味を説明できる。 6. 看護者としての倫理的な姿勢・行動とは何かを説明できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
2	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・宍戸		

テーマ	対象に必要な看護援助の実施(1) 洗髪			
授業内容	1. 洗髪台で行う洗髪の特徴を説明できる。 2. 洗髪台で行う洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。(グループワーク) 3. 対象(事例)の状態に応じた洗髪を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)			
3	年月日(曜日)	令和 7年11月05日(水)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
4	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
5	年月日(曜日)	令和 7年11月07日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・穴戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
6	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	対象に必要な看護援助の実施(2) 足浴、整容・手浴		
	授業内容	1. 座位で行う足浴の特徴を説明できる。 2. 座位で行う足浴の目的・方法・留意点を説明できる。(グループワーク) 3. 対象(事例)に応じた足浴を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 4. 手浴の意義を説明できる。 5. 手浴の目的・方法・留意点を説明できる。(グループワーク) 6. 対象(事例)の状態に応じた手浴を安全・安楽・自立に配慮して実施できる。 7. 整容の目的・方法・留意点を説明できる。 8. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
7	年月日(曜日)	令和 7年11月14日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	関根・横山・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	"		
	授業内容	"		
8	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		
	テーマ	看護者としての基本的姿勢 実習における挨拶、援助の説明		
	授業内容	1. 対象(事例)との出会いの場を大切にし、自己を対象に伝える姿勢の重要性を説明できる。(グループワーク) 2. 学習者として礼節をわきまえた態度の重要性を説明できる。(グループワーク) 3. 対象者の状況に合わせた援助の説明ができる。(ロールプレイ) 4. 対象とのかかわりの場面から、相互の関係を振り返ることができる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
9	年月日(曜日)	令和 7年12月12日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・穴戸		

テーマ	〃			
授業内容	〃			
10	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	3限
	講義室	C402・C405・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	模擬患者参加型演習：バイタルサインの測定		
	授業内容	1. 初めて受け持ち患者にバイタルサイン測定を実施する場面を経験し、患者と状況に合わせたコミュニケーションをとることができる。(グループワーク) 2. 正確にバイタルサイン測定を実施することができる。(ロールプレイ) 3. 観察結果の意味を理解し、身体の状態を総合的に把握(判断)できる。 4. 対象とのかかわりの場面から、相互の関係を振り返ることができる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
11	年月日(曜日)	令和 8年01月09日(金)	時限	4限
	講義室	C402・C405・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
12	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	対象に必要な看護援助の実施(4) バイタルサインの測定・移動		
	授業内容	1. 対象に看護援助を実施するために観察する必要性を説明できる。 2. 対象(事例)の観察結果の意味を解釈し、身体の状態を総合的に把握(判断)できる。(グループワーク) 3. 対象(事例)の状態を観察しながら、安全・安楽・自立に配慮して援助が実施できる。 4. 患者を尊重した態度で援助が実施できる。 (予習時間30分、復習時間30分)		
13	年月日(曜日)	令和 8年01月16日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	鳥海・横山・関根・山崎・塩見・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
14	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	3限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	まとめ		
	授業内容	1. シミュレーション学習を通して、対象の状態に合わせて、安全・安楽・自立をふまえて、援助を行うことの必要性について説明できる。(グループワーク) 2. 行った援助を振り返り、看護としての意味付けを考えることができる。(グループワーク) (予習時間30分、復習時間30分)		
15	年月日(曜日)	令和 8年01月23日(金)	時限	4限
	講義室	C402・B401・B402		
	担当者	横山・関根・山崎・塩見・鳥海・加古・矢戸		
	テーマ	〃		
	授業内容	〃		
評価方法	授業態度(10%)、レポート(90%)を総合的に判断して評価する。 評価が合格点に満たなかった場合は、追加課題を提示し再評価する。なお、再評価は1回のみとする。			
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ、茂野香おる他著、医学書院、2025 2. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ、任和子他著、医学書院、2025			
参考書	講義資料に示す			
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問・フィードバックなどはオフィスアワーを利用すること。 【横山】			

	火曜日の16時30分から17時30分 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email : yoko_h@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	授業前日には演習資料の該当部分を予習し、教科書で演習内容の意味を理解しておくこと。また、演習後にはレポート作成のための文献検索や教科書での確認を怠らない。 1) 講義・演習が並行して進行するので遅刻、早退、欠席はしないように注意する。やむを得ず欠席した場合は、教員に申し出て指示を受ける。 2) 演習時、時間不足で体験できなかった内容は、必ず自己学習で補足しておく。 3) 演習中は、患者役（学生）の安全と安楽に配慮し、あわせて対象に不快感を与えないよう、言葉遣いや態度に十分注意する。 4) 演習記録、演習課題の提出が指示されている場合は、指定された期日を厳守する。その内容は評価対象とする。また、各課題のレポートに対し、コメントを返す。 5) グループ毎に演習前の準備や終了時の片付けあるいはベッド周囲の整頓は責任を持って行う。

講義名	基礎看護学実習Ⅰ		
(副題)	看護専門職者に必要な基本的知識、技術、態度の修得（臨地実習）		
開講責任部署	看護学科		
講義開講時期	後期	講義区分	実習
基準単位数	1	時間	45.00
代表曜日		代表時限	
校地	日高キャンパス		
単位数	1単位/45時間		
必修・選択	必修		
配当年次	1年後期		

担当教員

職種	氏名	所属
看護師	◎ 横山 ひろみ	看護学科教員

担当教員	横山ひろみ・関根由紀子・山崎美智子・塩見 直子・鳥海美穂子・加古 幸子・宍戸 裕子
科目の目標	基礎看護学学習への理解を深めるために、臨床において、入院している患者の日常生活を知るとともに、看護師と行動をとることを通して、看護師の活動の場と役割、およびヘルスケアチームとの連携について学習する。
学習の具体的な目標	詳細は別途配布する「実習要項」による。
授業計画表	
詳細は別途配布する「実習要項」による。 実習期間：2026年2月21日～2月27日 実習場所：埼玉医科大学国際医療センター 事前に学内で実習オリエンテーションを行う。	
評価方法	実習状況・態度、記録物を総合的に評価する。
教科書	看護学概論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護方法演習Ⅰで使用した教科書
参考書	看護学概論Ⅰ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護方法演習Ⅰで使用したテキスト
連絡先/オフィスアワー	授業および課題等に対する質問などはオフィスアワーを利用すること。 【横山】 火曜日から金曜日の15時から16時 上記時間帯に訪問することが難しい場合は、事前にアポイントメントをとること。 Email: yoko_h@saitama-med.ac.jp
履修上の注意、履修要件	1) 看護学概論Ⅰ、看護技術論、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護方法演習Ⅰを履修し、単位認定資格を有すること。 2) 実習内容について、予習、復習し実習に臨むこと。 3) 遅刻、早退、欠席をしないように注意すること。 4) 実習記録、課題に対してフィードバックを行う。 (予習時間30分、復習時間30分)